

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/1(水)の時系列メモ> (情報班 ■)

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F ■)トピックスとして、昨日、3号機の炉注水量を $1\text{m}^3/\text{h}$ 減少させて $12.5\text{m}^3/\text{h}$ にて注水を行っています。1日経過して温度・パラメータが安定しているため、本日10時にさらに $1\text{m}^3/\text{h}$ 絞りたい。

(1F 発電)1号機は、昨日20:30にFDW系流量を $1\text{m}^3/\text{h}$ さげて $5\text{m}^3/\text{h}$ で注水を行っています。圧力・温度とも安定しており、RPV底部ヘッド上部 93°C 、SRV排気で 105°C と安定しています。

2号機は給水系の $5\text{m}^3/\text{h}$ で炉注水を継続しており、パラメータは安定しています。昨日18:11にSFP冷却装置をインサービスしましたが、蒸発によりスキマーの水位が低下したため、5:06に一旦停止し、プールに補給した後に7:06に再起動しました。温度はインサービスした時点で 68°C 、今朝8時で 61.8°C であり、順調に冷却されています。

3号機は、昨日10:19以降FDW系を $12.5\text{m}^3/\text{h}$ として注水を行っており、温度・圧力とも安定しています。本日10時にさらに $1\text{m}^3/\text{h}$ 減少させる予定です。

5、6号機重油タンク周りの油漏れについては、オイルフェンスを設置しており、海洋への流出はありません。漏れのあった配管周りの養生を本日実施する予定です。6号機タービン建屋滞留水の移送は、ホース手直しのため、本日は実施しません。

(1F 復旧)3号機炉注水量の調整を10時から実施する予定です。2号機SFP循環冷却装置を今朝停止させましたが、プールからの蒸発、温度低下による体積縮小によるもので、システムに問題があるわけではありません。

(雨により)水位の上昇が見られていたが、1号機R/Bは低下傾向になり、昨日17時でOP4865、本日7時でOP4859です。一方Rw/Bは35mm上昇しています。1号機からRw/Bに流れ込み、2号機に流れ込んでいると思われます。タービン建屋は水位変化なし。2号機は33~34mmの上昇です。3号機は昨晩に比べ13~15mm上昇しています。4号機は16mmの上昇です。

1、2号機中操のエアコンについて、前回設置できなかったものを再設置します。2、3号機の貫通立坑配管の閉止管の取り付け作業を実施します。

4円盤の電源盤止水工事でシール充填を行います。本日予定していたゼオライト海水除染装置の運転確認は、元電源の不具合により中止します。

3号機SFPへの注水をヒドラジン注入と併せて行います。3号機H/WからCSTへの移送は準備を進めており、本日は屋外配管の設置を行います。

5、6号機滞留水の移送はありません。重油タンク周りの養生を実施します。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

滞留水浄化装置の作業は継続します。

(1F 土木) 無人重機によるガラ撤去、飛散防止剤散布、海域流出防止の作業を引き続き継続します。昨日、酸素ポンペを破損させましたが、本日は現場の状況を確認した後に実施します。

(1F 建築) 1号機 R/B カバーリングのため物場場の準備作業を行います。2号機 R/B 周りの飛散防止剤散布、3号機 R/B 建屋内のガラ撤去、4号機プール下補強の足場整備、滞留水遮蔽壁の設置と運転員休憩所の遮蔽壁の設置を行います。

(本店武黒) 雨水の流入が落ち着いてきましたが、2号機に1号機の水が流れ込んでいると思われるので、監視強化と移送先について至急詰める必要がある。綿密に連絡を取って対処していきたいと思います。

安全第一をお願いします。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F ■■■) 現場工事にてけが人が二人発生しました。明日、安全推進連絡会の定例会がありますので、基本動作遵守のお願いをします。

3号機炉注水量を本日10時過ぎに $1\text{m}^3/\text{h}$ 減少させ、 $11.5\text{m}^3/\text{h}$ で注入しています。温度パラメータは安定しています。監視を継続します。

2, 3日前雨の影響でタービン建屋滞留水の水位が徐々に上がっており、厳しい状況となっています。滞留水移送の再開を本店と調整します。

(1F 発電) 1号機は、昨日20:30にFDW系の流量を $1\text{m}^3/\text{h}$ 下げて $5\text{m}^3/\text{h}$ で炉注水を継続しています。圧力温度は安定しており、RPV底部ヘッド上部の温度は 94°C です。

2号機は給水系の $5\text{m}^3/\text{h}$ で炉注水を継続しており、パラメータは安定しています。5/31にSFP冷却装置がインサービスし、プール水温度は 68°C から本日17時の時点で 49°C まで冷却されています。

3号機は、本日10:10から給水系の流量を $1\text{m}^3/\text{h}$ 下げて $11.5\text{m}^3/\text{h}$ で炉注水を継続しており、パラメータは安定しています。代表点の温度は 132.6°C で緩やかに上昇しているが、ほぼ安定しています。

5, 6号機は冷温停止中で、パラメータに変化はありません。

(1F 復旧) 3号機SFPへの注水を14:34から15:54まで約40t、ヒドラジン注入も併せて行いました。

2号機タービン建屋の水位は今朝7時から25mm上昇、トレンチは26mm上昇しています。3号機タービン建屋は11mm上昇、トレンチは13mm上昇して

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

います。4号機タービン建屋は 12mm 上昇しています。

6号機タービン建屋滞留水の移送は、本日は実施していないが、明日14時から再開する予定で、24時間態勢で行います。

(1F 土木)無人重機によるガラ撤去、飛散防止剤散布、汚染水の海域流出防止のピット閉塞の作業を終了しました。

(1F 建築)1号機 R/B カバーリングのための物揚場準備作業、2号機 R/B 周りの飛散防止剤散布を実施しました。明日は2号機タービン建屋周りで実施します。3号機 R/B 内のガラ撤去、4号機プール下補強工事を実施しました。明日は1号機 R/B 大物搬入口西側のガラ撤去を実施する予定です。

(1F 排水移送チーム)2, 3号機タービン建屋の水位上昇について、2号機地下が6/3午後、3号機が6/4午前中に 1800 に到達する見込みです。

3号機はできるだけ復水器に入れたいので、明日の午後から3号機復水器から CST に移送します。1800 という形に実施したいと考えていますので、本店と相談したいと考えています。

(1F 保安)初めて構内全体のサーベイを実施した。二人一組3班で 1.5～4.0 時間かかり、被ばく線量全体で 14.58mSv の被ばく量で、一人平均 2.5 mSv、最大約 5mSv となっています。定期的に構内のサーベイという声があるが、被ばくもあるので、今後も従来通り作業前サーベイの結果を順次更新することとしたい。

(本店復旧)水位の状況について、2号機は降雨の名残か上昇率が予想よりも高い。R/B の水位が下がっているので、R/B の水が流れ込んでいると思われる。

3号機は雨の時から寝ており、予想カーブに近い。

今後の対応について、本日11時の水位をスタートポイントしても上昇しており、2, 3号機とも復水器への移送を考えている。3号機は CST の容量が 2500t あり、復水器は 3000t 容量のうち 2000t 入っている。放射能は低いので、復水器の水を屋外の CST に移送し、タービンの床の水をから復水器に入れる。

2号機は、復水器の空きが 800t あるのでタービン建屋の水を復水器に入れる。

シミュレーション上では、6/5朝に 3800 に到達すると予想されるが、予想カーブよりも高いので、6/3頃移送する。3号機は6/4朝から空いた分 2000t 移送する。2号機は 800t 移送した後に、プロセス主建屋の地下1階に 1500t 移送する。これまでは地下2階に移送していたが、地下1階は貫通部がないため漏れがない。2号機は 800+1500t、3号機は 2000～2500t の移送を計画しています。サイトと保安院と調整を行って移送を実施します。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

2号機はカーブがきつくなっているため、6/20に OP4000 に到達、3号機は6/21に到達すると予測される。水位上昇の状況を見ながら移送の要否を検討する。

HTI 建屋の状況について、本日11時で逆転し、通路側が高くなっている。建屋の水位は上昇に転じている。通路側から地下水が押し込まれていると考えられ、若干の上昇が見られる。放射能は今のところ問題ない。

(立地業務部■■■■)IAEA 調査団が25日に来日し、26、27日とサイトを調査しました。前後で技術的ディスカッションを行い、本日調査団の報告サマ리를官邸に報告しました。報告書サマ里的内容を数点紹介した(サマリ参照)。サマリは公開されていますが、報告書は6月末の閣僚級会議の後に公開される。事実とそぐわないものがあればコメントできる状況ですので、保安院を通してIAEAと調整していきます。

(本店武黒)サマリは3ページですので、よく読んでください。

若干人身災害が発生しているため安全第一をお願いします。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/2(水)の時系列メモ>(情報班)

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F)昨日午前中に3号機の原子炉への注水量を $1\text{m}^3/\text{h}$ 絞って24時間経過しているが、温度等パラメータは安定的に推移している。

2号機のSFP循環冷却装置は順調に運転している。

本日午後、3号機H/WからCSTへ移送を開始する。

(1F 発電)1号機は、5月31日20:30にFDW系流量を $1\text{m}^3/\text{h}$ 上げて $5\text{m}^3/\text{h}$ で注水を行っている。圧力・温度とも安定しており、RPV 底部ヘッド上部 95°C と安定している。

2号機はFDW系で流量 $5\text{m}^3/\text{h}$ で炉注水を継続しており、パラメータは安定している。5月31日からSFP循環冷却装置をインサービスし、温度はインサービスした時点で 68°C 、現在 42°C であり、順調に冷却されている。

3号機は、FDW系で流量 $11.5\text{m}^3/\text{h}$ として注水を行っており、RPV 底部ヘッド上部温度は 137.4°C である。

5、6号機は冷温停止しており、パラメータの変動はない。

(1F 復旧)タービントレンチの水位について、2号機は昨日17時から約14時間経過した時点で3cmほど上昇、3号機13mm上昇、4号機14mm上昇している。

本日、14時過ぎに3号機H/WからCSTに移送する。また、午前中に2号機の移送ラインのフラッシングをする予定。

6号機の滞留水の移送は14時から24時間かけて、仮設タンクに移送する。

(1F 土木)無人重機によるガラ撤去を4号機R/B南及び旧事務本館南側で実施する。また、ヤード周辺の飛散防止剤散布、海域流出防止として2号機立て坑の閉塞を実施する。立て坑の閉塞は本日で終了する予定。

(1F 建築)1号機 R/B カバーリング準備、3号機 R/B 建屋内のガラ撤去、4号機プール下補強の足場整備、滞留水遮蔽壁の設置と運転員休憩所の仕上げを実施する。

(1F 保安班)正門に設置していた可搬型モニタリングポスト一台が故障していた。復旧までに時間がかかるため、西門のモニターを移動し測定を開始する。

(1F キリン)本日、建屋の外からの放水予定はなし。4号機は5月30日から6月3日までガラ撤去を実施しており、放水をしていなかったが、昨日の12時頃で水位は燃料頂部から4.5m程度である。水位については、本日も測定するが、明日からキリンの放水を開始し、明日明後日で満水にする。

(本店復旧班)昨日、汚染水処理装置関連の報告徴収を昨日20時に受領

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

した。6月8日までに、タービン建屋の滞留水を受け入れる高レベルの貯蔵設備、処理装置の構造、処理装置から発生する廃棄物の貯蔵管理について報告指示があった。

また、昨日、3号機高濃度の放射性物質の指示事項で、汚染水の保管計画について報告を予定していたが、3号機の炉心注水量を低下させていることや、1、2号機では降雨の影響が出ているので、プラント状態が静定していないため、報告の遅延ということで保安院に報告をした。

(本店保安班)発電所周辺のγ線量測定を1日2回実施してきたが、ほぼ値が静定してきているので、文部科学省と調整して1日1回とする。そのため、本日から20～30km圏内のγ線量測定は1日1回とする。

()ライブカメラで福島第一の状況をHP通じて流している。タヌキ等写っているとツイッターで話題になった。これから話題になる可能性がある。

(海江田大臣)昨日、IAEA調査団の暫定報告があり、現地でがんばっていることを正しく評価してくれた。原子炉の安定に尽力を頂いたことを感謝している。献身的な努力を無にしないために政治をがんばりたい。

(細野)昨日、IAEA報告書のサマリーが手渡された。その中で今回の調査で関係者の皆様から最大限の情報提供を頂いたと表現がある。協力に対して政府を代表して心から感謝する。一番調査団が強調していたのは、現場の作業員の献身的な努力が素晴らしいという点であった。それについては、団長からも付け加えられてる。日本の政府の一員として感謝する。本日政局が動くが、原子力発電所の問題を乗り越えていきたいと考えている。不快な思いをさせたこともあるが、問題を乗り越える思いはかわらないのでお願いしたい。

(武黒)力を合わせて安定化をしていきたい。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(本店武黒)1Fでは雨が降っているようだが、その状況も含め報告をお願いします。

(1F)現在のところ雨はやんでいる。ライブカメラでは水滴がついているが、降ったり止んだりしている状況。プラントパラメータは安定して推移している。12:50より3号機 T/B の対流水を CST 移送しているが、各建屋もと水位が OP3800 に近づいている。新たな移送先について検討していった。

(1F 発電)1号機は、5m³/h で炉心注水を行っている。圧力・温度とも安定している。

2号機は5m³/h で炉心注水を行っており、パラメータは安定している。SFP 温

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

度は17時現在で38℃となっている。

3号機は、FDW 系から 11.5m³/h で炉心注水を行っており、RPV 底部ヘッド上部温度は141℃程度である。緩やかに上昇しているが、安定していると考えているので継続監視していく。

5、6号機は冷温停止しており、パラメータの変動はない。

(1F 復旧)T/B、トレンチの水位について、1号機 T/B は OP4920 で変わっていないが、R/B は 38mm 程度低下しており、R/W は 21mm 上昇している。2号機 T/B トレンチは 24~27mm 上昇で OP3700 を超えた。3号機は 19mm 上昇し T/B、トレンチともに OP3700 を超えている。H/W から CST への移送を12:50から開始した。

カバーリング工事に伴い、明日、炉注水のルート変更を行う。2号機、3号機最長で15分程度注水を止める。明日13時以降に実施する。

6号機T/B地下の滞留水の移送は14時から24時間かけて実施中。明日も引き続き実施する。

(1F 土木)無人重機によるガラ撤去、飛散防止剤散布、立坑閉塞作業は計画通り実施した。

(1F 建築)1号機 R/B カバーリング準備、3号機 R/B 建屋内のガラ撤去、4号機プール下補強の支柱組立用の足場整備、滞留水遮蔽壁の設置と運転員休憩所の仕上げを実施した。建屋への飛散防止剤散布は2号機T/Bを実施し、明日は3号機T/Bを実施予定。

(1F キリン)本日、建屋の外からの放水は実施しなかった。キリン無人化 PJ の関連として、無線中継局やカメラの設置を実施した。明日14:30~4号機に210t注水予定。

(1F 排水チーム)2号機については、明日水位がOP3800に到達予定であることから明日の午後には2号機立坑からH/Wへの移送を開始することについて本店と相談したい。3号機、4日の午前中にはOP3800に到達予定。H/W から CST への移送は出来るだけ実施したいためあと3日ほどかかる。その間の移送先について本店と相談しながら実施したい。

(1F 吉田)2号機H/Wからの移送については、なるべく CST に送りたいと考えているが、OP3800を超えるのはある意味緊急事態と考えているので、プロセス建屋への移送も含めて本店と相談しながら進めていきたい。

(本店武黒)気をつけなくてはいけないことと思うので、タイミングよく、相談して進めること。

(本店復旧班)水位上昇について、2号機については上昇率が高い上昇。1号機の R/B から流れ込んできている状況。この傾向がまだ続く可能性があると考えている。3号機については若干寝てきたが、予想の傾きとほぼ同じ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

傾きになってきた。2号機については傾きが大きいので、1Fの言うように、2号機のH/Wへの移送を実施するのを進めてもらえればと思う。3号機はOP3800に達するのが明日、明後日であり、H/W→CSTへの移送はあと3日かかることから、その間の1日程度についてプロセス建屋に移送するかオペレーションについてはサイトと相談したい。

(本店武黒) 3号機の件は1日程度でまとめてください。

(本店復旧班) HTI建屋の状況について、通路の水位は下がり、HTIの水位があがっているため、通路からHTIへ流入しているものと考えられる。放射能濃度については変化無し。

(本店復旧班) 水処理装置の設置工事の進行状況について、AREVAの沈降装置については設置が完了している。セシウム除去装置(キュリオン装置)については、設置が完了している。配管の溶接も完了している。圧力容器等の貯蔵の仮置きピットについても装置を設置している。処理水の受けタンクも屋外に設置完了している。淡水化装置の制御室を屋外に設置しているが、最終的には作業員がマスク無しで滞在できるように考えている。各大型機器の設置、配管のつなぎ混みが終了し最終仕上げを行っている段階であり、終了後に単体での試運転、SPT水を使用した全体試験を行う。これらの状況が進捗したら再度報告したい。

(本店武黒) 重量なものなのでよろしく願います。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/3(金)の時系列メモ> (情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F [REDACTED]) 1, 2 号機は安定しています。3 号機は 6/1 に炉注水量を 11.5m³/h に絞りました。着目している RPV 底部ヘッド上部の温度は若干上昇傾向ではありますが、144℃程度で推移しています。もう少し様子を見ていきます。

本日の作業について、高レベル水の移送の関係ですが、3 号機 H/W から CST への移送準備をしています。2 号機は水位上昇が高いため、本日夕方立坑から H/W に移送を行う予定です。

工事関係では、1 号機 R/B に線量調査のためにロボットが入ります。

2, 3 号機は、午後に給水ルート付け替えのため、15 分程度炉注水が停止しますのでご承知置きください。6 号機は建屋内の移送を行っていますが、24 時間態勢でできるようになりました。水位の変動を見ていきます。

(1F 発電) 1号機は、FDW 系から 5m³/h で炉注水を行っている。圧力・温度とも安定しており、RPV 底部ヘッド上部で 96℃、SRV 排気で 116℃程度です。

2号機は FDW 系で流量 5m³/h で炉注水を継続しており、パラメータは安定している。冷却系がインサースビスされているプール水の温度は 35℃くらいで安定しています。

3号機は、FDW 系で流量 11.5m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッド上部温度は 144℃程度で緩やかに上昇ですが、安定の範疇です。監視を継続していきます。

2, 3号機は 13 時頃から炉注水を短時間停止して、配管ルートの変更を行います。FDW 系、FP 系からのバックアップを用意しており、工事の進捗、温度の推移の監視を行います。

5, 6号機は冷温停止中で、原子炉・プールとも冷却しており、パラメータの変動はありません。

(1F 復旧)タービン建屋トレンチの水位について、1 号機は変化なし。2 号機は昨日 17 時から 30mm 程度上昇、3 号機は 10mm ちょっと上昇、4 号機は 23mm 上昇しています。

作業関係では、1 号機に仮設の原子炉圧力計を設置します。

5, 6 号機タービン建屋地下水の移送は、昨日 14 時から連続運転しています。タービングループにて 10 時と 16 時に現場のレベル計を確認することになっていたが、移送水の累計の記載の方法は今後 24 時間の記載になりますので、サイト本店の情報班と記載方法を検討して記載方法を考えたいと思います。

(1F)地震がありました。震度 2 福島県沖震源のため津波に注意してください。

(1F 所長)ヤードも含めて津波の注意喚起をするようにしてください。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(1F 土木) 無人重機によるガラ撤去を旧事務本館南、4号機 R/B 南側にて実施します。飛散防止剤散布は、南護岸、展望台、ヤード周辺にて実施します。汚染水海域流出防止としてピット閉塞を継続していますが、南防波堤の取水路海域内のトウカボウシコウ(?聞き取れず)を回収する必要があるため、1から4号機取水口の撤去の準備工事を本日から本格的に行います。

(1F 建築) 1号機カバーリングのための物揚げ場の準備作業を実施します。1号機大物搬入口脇のガラ撤去、3号機ハッチ下のガラ撤去を引き続き実施します。4号機プールした補強工事のため足場を組み立てます。アレバの滞留水処理関係では、プロセス建屋の遮蔽壁設置と運転員休憩所の内装工事を行います。3号機タービン建屋付近での飛散防止剤散布を実施します。

(1F キリンチーム) 本日、4号機 SFP に 14 時 30 分から 210t の注水をヒドラジンの注入とあわせて実施します。

(1F 水移送チーム) 夕方に 2号機立坑から H/W に 600t から 800t の移送を予定しています。2号機は水位上昇が継続しているので、プロセス建屋への 2台運転での移送の準備を行います。3号機は H/W から CST への移送を 2系統で継続しています。3号機タービン建屋地下から H/W への移送を準備しています。

(1F []) プロセス建屋のアレバの水処理の工事が本日完了するため、5日から海水による水張りテスト他、試運転に入ります。

(1F 所長) 津波の心配はありません。

(1F 発電) 地震後の炉注水の変化はありません。変動があれば連絡します

(本店復旧 []) 高濃度汚染水の移送について保安院に報告しました。

(本店復旧 []) 昨日のフォローのようなものになりますが、昨日示した予想と実績のプロットについて、2号機の実績は予想よりも上にある。1号機 R/B の水位が下がっており、タービン建屋側に寄与していると思われる。実績の傾きは 60mm/日、計画は 30mm/日です。タービン建屋と原子炉建屋の水位差が 1m 弱有り、今の変化率だと 8 日間くらい続くと思われる。

本日夕方、2号機タービン建屋から H/W に移送を開始します。3号機は 6/5 から H/W に移送する予定です。

2号機にて 60mm/日の水位上昇が 8 日間続くと、従来の評価よりも厳しくなり、OP4000 に達するのは 6/14、3号機従来と変わらず 6/24 です。

3号機の滞留水をプロセス建屋に送ろうかと言う話があったが、2号機が厳しいため、3号機は 6/5 から H/W に送る。他の物理的なバッファがあるが、サイト保安院と連携していきます。

(1F 所長) 6/15 の水処理までどういう事態があるか分からないので、いろんな手がすぐに打てるように、保安院への説明もあると思いますが、お願いします。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(本店武黒)いずれにしても、いろんな方策の相互の理解が必要です。現場での実現性もあわせて共有してください。

(細野補佐官)不信任案の決議は否決され、いろいろな意味での懸念は今の時点ではなくなっていますので、引き続き海江田大臣ともお願いします。

(本店武黒)作業について安全第一で取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F ■■■) 1から3号機のパラメータは安定しています。

2号機の立坑滞留水の H/W への移送は18:39から開始しています。

1号機 R/B のカバーリングへの干渉を回避するため、2、3号機ラインの切替えを昼過ぎに行い、15分から20分間炉注を停止しました。パラメータに変動はありません。明日は1号機について行う予定です。

1号機 R/B1 階に線量測定のためロボットが入りました。

1号機仮設の原子炉圧力計を設置しました。指示値から水頭圧を引いて0.022MPaでした。

(1F 発電) 1号機は、FDW系から5m³/hで炉注水を継続しており、圧力・温度とも安定しており、RPV底部ヘッド上部が96℃、SRV排気で110℃程度です。

2号機はFDW系で流量5m³/hで炉注水を継続しており、パラメータは安定しています。プール水の温度は34℃でほぼ安定しています。

3号機は、FDW系で流量11.5m³/hで炉注水を継続しており、RPV底部ヘッド上部が140℃で、若干上昇傾向がありますが、安定しています。この流量を保って監視していきます。

5、6号機は冷温停止中で、安定しています。

(1F 復旧) 滞留水関係について、3号機コンデンサからCSTに移送を行っています。2号機立坑からH/Wに移送しており、明日の9時まで行う予定です。

水位については、1号機は変化なし、2号機は20mm程度上昇、3号機は10mm弱上昇、4号機前日から比べると上昇の傾向変化なく、現場確認に行ったが異常はなかった。

明日、1号機原子炉注入ラインのルート変更のため、いったん消防ポンプへの切替えと高台のポンプへの切替えを行います。午前1回午後1回10分程度停止します。

注水系の注入口の設置は明日で完了します。

滞留水処理施設の配管敷設関係の工事を行います。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

6号機タービン建屋滞留水の移送を昨日 14時から連続で行っています。不具合はありません。タンク水位が確認できるのは明日以降となります。本店サイト情報班で(記録の?)すりあわせを行います。

(1F 土木)無人化、飛散防止剤散布を計画通り実施しました。汚染水海域流出防止関係で、ピットの閉塞と1から4号機のカーテンウォールの撤去を計画通り実施しました。

(1F 建築)1号機 R/B カバーリングのための物揚場の砂利敷き、1号機 R/B 大物搬入口の無線重機によるガラ撤去を本日から実施しました。3号機 R/B ハッチ下のガラ撤去・破碎、4号機プール下の足場組立、プロセス建屋の遮蔽壁設置と休憩所の内装工事を実施しました。飛散防止剤散布は3号機タービン建屋に 4800m² 実施しました。明日は4号機タービン建屋 7200m² に実施します。

(1F キリンチーム)4号機 SFP への放水は14:35から継続しています。

明日も4号機にて14:30から満水まで持つて行く予定です。

(1F ■■■)本日1号機 R/B 南側の線量の高いエリアにロボットを入れて線量と周囲の状況の調査を行いました。大物搬入口前のガラ撤去および雨により線量が下がっていることが期待されたが、悪い結果が出た。大物搬入口から HCU は以前より若干下がっているが、部分的に 100mSv/h を超える。タービン建屋に近い南側エアロックは依然として極めて線量が高い。床ドレンファンネルにダストや細かい粉が溜まっている。このエリアはジェット水で洗浄することを考えたが、床ドレンファンネルが流れない。このエリアには機器ファンネル(計装ラックのドレンが流れる)と配管床貫通部(AC系の配管が地下から貫通している)がある。機器ファンネルを上から見ると水滴が動いており、熱い水が定常的に流れているように見えます。配管貫通部のスリーブから蒸気が上がっています。(動画表示)。スリーブの下はトラス室で蒸気が上がっている原因は分かりません。

(本店武黒)新しい知見が得られました。蒸気の件は今後どう対応するか検討する必要があります。復旧班にてお願いします。

(本店復旧■■■)タービン建屋水位の状況について、今朝示した今後の移送シミュレーションをプロットしました(書画説明)。2号機は18:39に移送が始まったが、60mm/dayの実績にのっています。1日ちよつとH/Wに移送した後、日曜日の朝プロセス建屋地下1階への移送を行う予定です。3号機は6/5からH/Wに移送するため、現在H/WからCSTに移送している。

HTI 建屋の傾向に変化はありません。通路側は寝ており、建屋側は上昇しています。放射能の傾向に変化はありません。

今後、なるべく早く何をどこに移送するか報告します。

(本店武黒)引き続き詰めてください。

(本店復旧土木)港湾工事について、南護岸と5、6号機テトラポットに被害を受

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

けたため、こちらに杭を打ち、テラポットを置く(書画にて説明)。本日から船を使って開始しています。1から4号機のカーテンウォールの撤去を実施します。5、6号機のテラポットは2Fの港湾を利用します。今後梅雨対策として高分子の土嚢と普通の土嚢を200体ほど用意します。

(本店保安)サンプリングを継続するので、工事によって干渉しないか相談させていただきます。

(本店長期冷却チーム)2号機 R/B 環境改善の方向性について紹介します。目的はR/B内に入り、工事可能とするためです。近いところで、6月中旬にRPV・PCV関連の工事があります。PCVのN₂封入の工事もあります。7月から原子炉冷却システムの工事とトラス室調査の工事があります。

環境改善の実施方法について、ステップ1として、5/31からSFP循環冷却システムが稼働していますが、プールからの蒸気を止めて湿度を下げる。明日、建屋内のダストと湿度を調査し、線量の評価・環境への影響評価を行い、局排が必要かどうか判断する。

局排が必要ならば、4日間の工事で山側の廃棄物処理施設に設置し、ダストを低減させます。ダストの舞い上がりを防ぐために風量を制限する。建屋の中の空気を循環させる。関係各所に連絡してエアロックを開きます。

(本店武黒)ダストが出たら報告してください。() 了解しました。

(本店復旧)1号機仮設原子炉圧力計を設置した事を紹介します。金曜日に原子炉圧力計が徐々に上がってきたが、炉注ポンプ吐出圧からの推定では下がっている。A系の指示値が信頼できないため、スター3で報告しました。放置しておくのは良くないので、12時半に仮設ラックを設置しました。原子炉建屋1階にてこの写真のように設置しました(書画説明)。遮蔽を二重に施して被ばくをしないようにしました。実際に水張りを行ったのはQ'dで、遮蔽の取り付けは当社社員がやりました。測定結果は22kPaで、炉注ポンプ吐出圧からの推定値の128kPaより低く、PCV圧力程度しかなかった。

明日から仮設の値を正とします。マークの解析に使って行きます。震災直後のマークの解析については、まだ指示値が信頼できると思われるため解析には影響ないと考えます。

(本店武黒)最後のところは大事なポイントなので、しっかり検証してください。

(本店保安)本日18時に、1Fの当社社員の被ばく状況についてプレスしました。5/28に2名が甲状腺によう素がたまり被ばくしていると公表しましたが、放医研にて評価中です。先週放医研にてWBC・バイオアッセイを行い、厚労省に報告しています。Aさんが210mSvから580mSv、Bさんが200mSvから570mSvと評価されました。バンドがありますが、どの日にどれだけよう素を吸入したかによって変わっています。放医研での聞き取り調査とバイオアッセイにより評価しま

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

す。

厚労省部長からは、250mSv を超えたことは遺憾ですと伝えられた。別途事実関係を調査し、被ばく管理について真剣に取り組みます。

(本店武黒)特に被ばく管理は気をつける必要があります。

(OFC 田島政務官)おとといから着任しています。本日初めて参加しました。今後ともよろしく願います。

(本店武黒)よろしく願います。今後も業務を継続される方は安全第一着実な業務実施に努めてください。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/4(土)の時系列メモ> (情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F [REDACTED]) 3号機の RPV 底部ヘッド上部の温度は 145℃近辺で安定しており、若干下がってきている。推移を監視していきます。

高レベル水の水位の傾向は変化ありません。2号機立坑から H/W に移送しており、水位は低下している。

本日の工事について、1号機炉注水ルートの変更のため、2段階10分程度炉注水を停止します。10時と13時頃を予定してします。

1号機 FDW の注水ラインを設置する工事の1期分が終了する予定です。

高レベル水処理装置について、本日から純水を張ったリークテストを行います。

東芝、アレバ、日立の施設をチェックする

今朝方1時に地震がありました。浜通り震度5弱、楢葉で震度4。6号機水平 35.9 ガル、垂直 19.8 ガルで、プラント・注水関係に異常はありません。本日、一時立ち(大熊、浪江)入りがありますので、朝のパトロールで念のために確認します。

(1F 発電) 1号機は、FDW 系から 5m³/h で炉注水を行っている。圧力・温度とも安定しており、RPV 底部ヘッド上部で 97℃、SRV で 110℃です。

2号機は FDW 系で流量 5m³/h で炉注水を継続しており、FPC の冷却により、昨日 23時で 34℃、今朝8時にて 33℃で安定しています。

3号機は、FDW 系で流量 11.5m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッド上部の温度は8時現在で 140℃です。昨日の 144～5℃をピークに若干下がってほぼ安定している。継続して監視します。

5、6号機は冷温停止で、安定しています。

(1F 復旧) 2号機立坑から H/W への移送を行っており、本日9時に停止よていです。3号機は H/W から CST への移送を継続しています。

水位関係は、1号機変化なし。2号機は 35mm 前後低下しています。コンデンサへの移送の関係です。3号機は 13mm 上昇しています。4号機は 14mm 上昇しています。傾向に変化はありません。

1号機給水系への注水ルートの変更のため、停止を2回、10時と13時に実施します。それぞれ消防ポンプへの切替と高台ポンプへの切替です。

5、6号機で、MP1～4の電源を仮設から本設に切り替えます。10時半から30分程度です。バッテリーがあるのでデータの欠落はありません。

RCW ポンプの運転確認を行います。

6号機タービン建屋地下滞留水の移送を連続して実施しています。地震時も問題ありませんでした。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(1F 土木) ガラ撤去は3、4開閉所にて実施します。飛散防止剤散布は通常通り実施します。1～4号機のカーテンウォールの撤去については、起重機船は波が高くできないので、リークチェックのみ行います。

(1F 建築) 1号機 R/B カバーリングの作業で物揚場の砂利敷き、3、4号機のガラ撤去、4号機プール下補強の支柱組み立ての足場設置、プロセス建屋の遮蔽壁の設置、運転員休憩所の内装工事、4号機タービンの飛散防止剤散布を実施します。

(1F キリンチーム) 4号機 SFP への注水を14時30分から満水までおこないます。ヒドラジン注入も併せて行います。

本日午後から3号機タービン建屋から H/W へのリークチェックを行います。

(本店武黒) 霧がかかっているように見えるが作業に問題ないか？

(1F ■■■) 今朝、一時立ち入り関係の確認の時にはいい天気でしたが、その後霧が出てきました。濃霧注意報出ているので注意したいと思います。

(本店復旧) 1号機 R/B のロボットによるサーベイでは、南東の線量が以前よりも高く、湯気が出ていた。そのフロアの下はトラス室で S/C が収まっていて、数千 m^3 の水がある。格納容器から蒸気が漏れていることはすでに確認できており、その蒸気が貫通部から出てきている。以前入ったときよりも線量が上がっている。この状態が変わっている(書画にて説明)。以前注水量を増やしたときは水の漏れだしが多く、水のレベルが上がった。今はその逆が起きている。いずれ水のレベルが上がると、この状態は止まるかもしれない。あとは蓋をするという方法もあるけれども、ロボットを使うためできない。今後も監視を継続していきます。本日、会見で報告します。

(本店武黒) PCV がどうなっているか、全体の冷却に向けた今後の課題となるので どのように対応できるか検討してください。

(1F ■■■) 線量・アクセスアビリティ等、本店と調整しながら進めていきたい。

(本店武黒) 人が行ける状況ではないので、メーカーの力を借りながら進めていってください。

今日もいろいろな作業が予定されていますので、安全第一で着実に進めるようお願いします。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F ■■■) プラントのパラメータについては、1から3号機は安定しています。

滞留水の作業関係では、2号機立坑から H/W への移送を12時頃停止しています。夕方18:39より、2号機立坑から集中ラドプロセス建屋に移送を開始してい

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

ます。

原子炉カバーリング工事との干渉を回避するため、1号機炉注のライン切替を午前午後それぞれ1回実施しました。炉注停止時間は合計で18分、パラメータに変動はありません。

3号機 R/B 裏側に高線量のガラが見つかりました。

環境改善チームが2号機 R/B1階のダスト・湿度測定を行いました。速報では湿度は99%以上で前回と変わらない。

(1F 発電) 1号機は、FDW 系から $5\text{m}^3/\text{h}$ で炉注水を継続しています。温度・圧力とも安定しており、RPV 底部ヘッド上部温度は 98°C 、SRV は 112°C 程度です。炉注水ポンプの切替を行いました、変化はありません。

2号機は FDW 系から流量 $5\text{m}^3/\text{h}$ で炉注水を継続しており、パラメータは安定しています。SFP の温度は17時の時点で 33°C であり、昨日からほぼ一定です。

3号機は、FDW 系から流量 $11.3\text{m}^3/\text{h}$ で炉注水を継続しており、RPV 底部ヘッド上部の温度は17時の時点で 144.7°C であり、若干の上昇はあるが安定しています。監視を継続します。

5、6号機は冷温停止中で、変化はありません。

(1F 復旧) 滞留水の水位について、1号機は変化なし。2号機タービン建屋は 41mm 上昇、トレンチは 38mm 上昇しています。立坑から H/W への移送を停止したためと思われます。3号機はそれぞれ 10mm 上昇、4号機は 15mm 上昇しています。

明日、1号機 SFP に10時から30tの注水を FPC ラインから行う予定です。

滞留水処理設備設置の作業を引き続き行います。

5、6号機では、MP1から4の電源の仮設から本設への切替を10:51に完了しました。

5号機 RCW ポンプ A から C の運転確認を実施しました。原子炉建屋内のライン確認も行い、異常はありませんでした。

6号機タービン建屋滞留水を連続移送しており、問題ありません。6/5にタンク弁の切替、タービン建屋地下に沈んでいるポンプの位置を変更するため、14時から17時に停止する予定です。

(1F 土木) ガラ撤去は、3、4号開閉所前と旧事務本館前を実施しました。飛散防止剤散布を継続しており、ガラ撤去も含め明日も同じ場所を実施します。

1から4号機ピットについては、本日4号機を閉塞し、明日2号機を実施する予定です。1から4号機カーテンウォールについては、本日は波が高いため中止しました。明日は、波の状況を見て実施するか判断します。

(1F 建築) 飛散防止剤散布は4号機タービン建屋にて実施しました。明日はなしの予定です。4号機プール下補強工事で足場の組み立てを実施しました。ガラ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

撤去は3号機 R/B 内部、1号機 R/B 大物搬入口周りを継続して行っています。カバーリング準備工事として物揚場の砂利敷きを継続しています。集中ラドプロセス建屋の遮蔽壁打設を本日も行っています。焼工建屋の地下の壁の閉止作業のため型枠を設置します。このため5/26から続けていた連絡トレンチ内の水位測定は、本日までとなります。

(1F 保安) 50mSv/h 以上のところにカラーコーンを置く作業をしていたところ、3号機 R/B の前に 950mSv/h のガスを発見しました。場所は道と3号機 R/B の間にあり、小さなコンクリート片です。注意表示としてカラーコーンを設置します。

(本店武黒) 回収予定時期はどうなっていますか？

(1F 保安) ガラプロと相談して決定しようとしています。

(1F キリンチーム) 4号機 SFP への注水を継続中で、満水まで持って行きます。明日は外部からの注水はありません。

(本店復旧) タービン水位の状況について、2号機の H/W へ移送は、ポンプの容量が大きかったため昼で終わった。移送量は当初予定していたよりもちょっと多いくらいとなりました。タービン建屋の水位は少し上昇傾向が出ると思われます。ポンプで吸ったところ以外が安定することによると思われます。

今後の予定は、プロセス建屋地下1階の貫通部の下に約 1500t を2台のポンプで2日半くらい移送します。水位の上限が決まっているので、途中でポンプを1台として、6/7日くらいまで移送する予定です。

3号機はほぼ予定の線に乗っている。6/5夕方から3号機 H/W へ移送する。H/W から CST へ送っている状況を見てからとなります。3号機の H/W への移送は、12t/h のポンプ1台で1週間くらいを予定しています。ポンプの量ももっと出ると思うので、3、4日で線は寝てくると思われるが、結果としてまた上がってくるので仕上がりは予想のところにくると思う。

HTI 建屋の水位傾向に変化ありません。建屋の水位は1日 2cm の上昇で、通路側の上昇は寝ている。放射能の傾向は変化なし。

(本店武黒) 移送が再開されているが、次の次の手も含めて精力的に検討が必要です。

2号機 R/B 内の湿度が下がっていない。ダストの結果もこれからだと思いが、今後どういう想定で進めていきますか？

(本店復旧) 2号機 R/B 内の状況は5/26の結果と変わっていない。プールの冷却が進んでおり、オペフロの除湿は進んでいるが、1階までは進んでいないと思われる。ダストは分析が明日までかかる。前面マスクの基準と照らし合わせて局排を入れるか検討する。

(本店武黒) 本日、熱中症が2回ありました。発電所でも気をつけていると思いますが、Jビレッジで大変お世話になっていますが、まだまだ長いので、相互に連

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

携して気をつけていきたい。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/5(日)の時系列メモ> (情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F [REDACTED])パラメータについて、1, 2号機は安定しています。3号機のRPV底部ヘッド上部の温度は145°Cで安定しており、目立った動きはない。

高レベル汚染水の移送について、2号機は昨日18:39より立坑からプロセス建屋への移送を行っており、水位の上昇は止っている。3; 4号機の水位は傾向に変化ありません。本日、ライン構成が間に合えば、3号機タービンからH/Wへの移送を開始できる。

5, 6号機は海水系の復旧作業を急いでいます。5号機RCWポンプはライン構成上問題ないことが確認できたので、後はインサースできれば系統が活きます。

5号機仮設のRHRSポンプがトリップして炉心温度が上がった事がありました。信頼性を高めたい、多少冷却能力を高めたいと言うことで、2台化を進めてきました。来週にはインサースできます。

カーテンウォールについては、本日、船が入港できるので工事ができます。

3号機の850mSv/hガラについては、早ければ本回収します。

本日は大熊と浪江の一時帰宅があると言うことで、プラントパラメータは速やかに報告します。

(1F発電)1号機は、FDW系から5m³/hで炉注水を行っている。圧力・温度とも安定しており、RPV底部ヘッド上部で98°C、SRV排気で112°Cです。

2号機はFDW系から流量5m³/hで炉注水を継続しており、安定しています。FPCは8時の時点で32°Cであり、ほぼ安定しています。

3号機は、FDW系から流量11.5m³/hで炉注水を行っており、RPV底部ヘッド上部の温度は8時の時点で148.6°Cで少し上昇しているが安定している。この注水量を保って監視していきます。

5, 6号機は冷温停止で安定しています。

(1F復旧)滞留水関係で、2号機立坑からプロセス建屋への移送を行っています。3号機タービン建屋から復水器への移送は準備ができ次第行います。夕方くらいになる見込みです。

水位については、1, 2号機は変化なし。2号機は移送を行っているためです。

3, 4号機は10mmちよつとの上昇です。

1号機SFPに10時から30m³の注水の予定です。3号機SFPに13時からFPCを通じて45m³の注水の予定です。

滞留水処理設備の工事を継続しています。水張り・リークチェック関係を実施します。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

5, 6号機関係で、5号機仮設 RHRS ポンプ 2台化の工事を6/8の9時から16時の約7時間実施します。実質ポンプを止めるのは9時から13時の4時間です。仮設 RHRS ポンプの信頼性を高めるため1台追加します。6/3の炉水・プール水の温度に7時間の変化を加えると、炉水で55℃、プール水で43~44℃となり、温度上昇には問題ないという評価です。日本中のポンプメーカーにあたっては予備がありません。本店復旧・資材班も協力して欲しい。

6号機タービン建屋地下滞留水の移送の一時中断があります。本日の14時から17時に移送を停止します。タービン地下に沈めてある吸込みポンプの位置変更のためです。

(1F 土木) 飛散防止剤散布は計画通り実施します。ピット閉塞はトラッシュピットを行います。ガラ撤去は3, 4号開閉所にて行います。高線量のガラ撤去も行います。カーテンウォールの撤去工事ですが、船の方が入港できましたので工事に取りかかっています。

(1F 建築) 1号機 R/B 大物搬入口周り、3号機 R/B 内のガラ撤去を行います。焼工建屋地下の開口部閉止作業を実施します。物揚場のカバーリング準備のための砂利敷きを実施します。本日は、飛散防止剤散布はありません。

(1F キリンチーム) 昨日、4号機 SFP への注水は満水まで実施しました。本日はありません。

(本店武黒) 5号機の RHRS ポンプの手配に手間取っている事について、復旧班・資材班は情報を共有していますか？

(本店復旧) 詳細は把握していないので確認します。

(本店武黒) 2台化の準備をしているが、それ以降の予備がないということか？

(1F) その通りです。2回ポンプが壊れており、心許ないので準備しておきたい。

(本店資材) 情報交換を行います。

(本店武黒) 大事なことなので、本店側でも迅速に対応するようにお願いします。

これから汚染水・滞留水の移送だけでなく、処理の設備のインサービスにより活動が加速するので、明日以降この場で適宜紹介してください。

いろいろな作業が多くあり、2000人近い協力企業の方がいます。引き続き安全第一でよろしくお願いします。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F ■■■) 1~3号機の温度・パラメータは安定しており、特に問題ありません。滞留水の移送について、2号機立坑からプロセス建屋への移送を継続中です。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

18:26より3号機タービン建屋からH/Wへの移送を開始しています。

本日の作業にて、淡水化装置のケーブル布設を行っていた作業員二人が脱水症状のため病院に搬送されました。1時間半程度の作業ですが、全面マスク、タイベックの装備でこの気温のためと思われます。協力企業へはきめ細やかな管理をお願いしている。来週、免震棟前に休憩所ができ、運用を開始します。クールベストを500着用意します。さらに、ダストの低い高台等では、半面マスクを使用することを考えています。今月半ばを目途に様々な熱中症対策を考えていきます。

(1F発電)1号機は、FDW系から5m³/hで炉注水を行っており、圧力・温度は安定しています。RPV底部ヘッド上部の温度は99℃、SRV排気で110℃程度です。

2号機は、FDW系から流量5m³/hで炉注水を継続しており、パラメータは安定しています。SFPの温度は32℃で一定しています。

3号機は、FDW系から流量11.3m³/hで炉注水を行っており、代表点のRPV底部ヘッド上部の温度は149.2℃で、緩やか上昇傾向ではあるが安定しています。

5、6号機は冷温停止中で、パラメータに変動はありません。

(1F復旧)集中ラドへの移送について、2号機立坑からプロセス建屋への移送を継続中です。水位関係は、1号機タービン建屋・トレンチは変化なし。2号機タービン建屋は1mm低下、トレンチは3mm低下。3、4号機は10mm程度上昇しています。

SFPへの注水は、1号機に15m³、3号機に60m³注水しました。

6号機タービン建屋滞留水の移送を、14:00から14:45まで停止しました。その後は異常なく移送しています。

(1F土木)飛散防止散布を継続しています。ピット閉塞は、トラッシュピットの閉塞を継続しています。ガラ撤去は旧事務本館前、3、4号開閉所前を実施しました。高線量のガラを明日、コンテナに収納して運搬します。カーテンウォールの撤去は、波が安定して船が入ってきたので実施しました。明日も実施します。

(1F建築)ガラの撤去は1号機R/B周辺、3号機R/B建屋内を実施しました。4号機プールした補強の足場組立を継続しています。焼工建屋とサイトバンク地下開口部の閉止のためのコンクリート打設を明日実施します。飛散防止剤は6/7から再開予定です。カバーリング準備のための物揚場砂利敷きを継続しています。

(1Fキリンチーム)本日、外部からの注水はありません。昨日満水まで持って行った4号機の水位を確認したところ、燃料ラック上6mから6m25cmの間の目盛りまであり、問題ありません。明日は、4号機SFPに16時から100tの注水、ヒド

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

ラジンもあわせて行う予定です。

(本店武黒)脱水症状が 2 人発生した。半面マスクの運用等、装備の改善が重要となります。正門のダストは 2F と大差ないので、半面マスク以外にもっと良い装備がないか、保安班の方で、作業環境の改善を精力的に詰めてください。

(本店保安)了解しました。マスクについては、電動ファン付き等の涼しいものを検討しています。

(本店) 5 号機 RHRS ポンプの予備機について、5, 6 号機でポンプが 2 台ずつあります。予備品が 5, 6 号機のところに 2 台あります。急いで調達したので淡水仕様の中古品です。このため現場は予備品を早く手配したいと言うことです。既に 5 月に発注をしているが、海用のポンプは 7 月下旬の納期です。さらに追加発注をかけ、予備ポンプ 8 台と言うことで段取りをしています。他に同様のスペックで調達できないか資材班で検討してもらっています。

(本店資材)他のメーカーでも同様の製品がないか調査していきます。

(1F)協力ありがとうございます。

(本店復旧) 2 号機は昨晚からプロセス建屋への移送を開始して、ほぼシミュレーションと同じになっている。3 号機は本日 18:26 から H/W への移送を開始した。引くのと入るのがバランスしてほぼ平衡状態です。2 号機は 6/7、3 号機は 6/12 という状況です。2 号機のケース 2 での受入について、保安院との調整を行っています。

HTI 建屋の水位について、通路側の閉止を行ったために、昨日から水位の確認ができない状態です。HTI 建屋から水位計を垂らす事も検討しています。

建屋の水位は上昇中です。サブドレンの水位は横ばいまたはやや下がり気味です。放射能濃度は有意な上昇は見られていません。継続して監視していきます。

(本店復旧) 1 号機は 6 月 3 日に R/B 南側にロボットが入りました。機器ファンネルそばの床貫通部のスリーブから蒸気が見られた。どこから来ているのか推定の域は出ない。以前原子炉注水量を増やした時、ベント管と S/C の真空破壊弁が水没した時に漏れい量が増えたことから、このあたりから漏れいしていると考えられる。流量を減らして水位が下がったため、気相部になって蒸気がもれていると考えられる。床の下に梁があり、その間に蒸気ももれているので、横に広がらず、貫通部からもれている。これを確認するためには、もう一度注水量を増やして気相部をなくしてやれば蒸気は止むと思われます。なかなかできないと思いますが、機会があれば実施してみます。

(本店復旧) 2 号機 R/B 内のダスト分析の結果と今後の対応方針について紹介します。ダストは 5/26 に比べて半分くらいの数字となっているが、温度・湿度はほとんど変わっていない。このことから、燃料プールは非常に冷えてオペ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

ロの環境改善は進んでいるが、1階の雰囲気までは改善されていない。ダスト分析は誤差の範囲です。

今後の考え方について、5/31からプールを冷やしているけれども全面マスクでは入域できない。ダストを下げるか湿度を下げる方法がある。ダストを下げるためには局排を使う事が考えられるが、1号機での実績から、巻き上げで一時的にダストが上昇すること、床・壁からよう素が発生して低減しないことが分かっている。よう素濃度は3日間運転しても余り減少しなかった。よって、今後は建屋内の環境改善は湿度を下げることによって行い、全面マスクで入れるようにする。エアロックを開くが、局排は運転しない。湿度が下がることによってダストが上がる可能性があるが、それにそなえて局排の設置を行う。6/6以降、関係各所への説明、報告徴収の対応を行い、6/11にエアロックを開く計画としている。

(NISA)エアロックを開放すると言うことで、外部への影響を評価する必要がありますので、報告徴収を行いたい。局排を使用しないとと言うことで、1号機とは対応が違う事になりますが、具体的な理由と外部への影響を報告するようお願いいたします。

(本店武黒)具体的な手順やどのように対応するかよく説明して、関係各所への連絡をお願いします。サイトも緊密に連絡を取ってください。

気温・湿度の問題もあり、熱中症対策を続けていく必要があります。Jビレッジの方も対応をお願いします。作業環境の改善、熱中症対策をお願いします。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/6(月)の時系列メモ> (情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F [REDACTED]) 3号機の RPV 下部ヘッド上部温度は145℃～150℃で静定した。2号機 SFP の温度は32℃で安定している。高レベル水は、2号機縦坑からプロセス建屋への移送を継続している。

850mSv/h のガラは昨日回収した。今日午前中にコンテナに詰める作業をする。カーテンウォールの作業は予定通り実施している。水処理建屋(建屋ではなく、高レベル水の処理装置のことだと思われる)の水張り L/T を進めている。

立地4町で一時的帰宅があるため、OFC と情報共有している。

昨日、2名脱水症状があった。今日のほうが温度が高くなるため出来るだけ防ぐ努力はしている。2600人程度作業をしている。

(1F 発電班) 1号機は、FDW 系から 5m³/h で炉注水を行っている。パラメータ安定しており、RPV 底部ヘッド上部で 99℃である。

2号機は FDW 系から流量 5m³/h で炉注水を継続しており、安定しています。SFP の温度は 32℃であり、一昨日、昨日と比べ変化はない。

3号機は、FDW 系から流量 11.5m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッド上部の温度は145.3℃で安定している。

5、6号機は継続して滞留水の移送を実施している。

(1F 復旧班) 2号機 T/B からプロセス建屋への移送は継続している。3号機タービン地下から H/W への移送は継続している。プロセス建屋の水位は昨日17時から117mm上昇している。HTI 建屋の水位は10mm上昇している。1号機の水位は変化なし、2号機 T/B 水位は3mm低下、トレンチ水位は4mm低下、3799mmである。3号機 T/B 水位は18mm 低下、トレンチ水位は 10mm 低下、4号機 T/B 水位は 9mm 上昇している。

6号機 T/B 滞留水の再移送を14:45から実施した。今のところ問題なし。

(1F 土木班) 飛散防止剤散布は継続して展望台に実施している。4号機ピット閉塞はトランシュピットを行います。ガラ撤去は事務建屋前を実施する。カーテンウォールについては、起重機船が入港したため撤去工事を実施する。

(1F 建築班) 1号機 R/B 大物搬入口周り、3号機 R/B 内のガラ撤去を行います。4号機 SFP 下部の補強工事について、明日から鉄骨の設置を行うため、本日は足場組立を実施する。サイトバンカと焼工建屋の地下の開口閉止部のコンクリート打設を実施する。飛散防止剤の散布は明日から実施する。物揚場のカバーリング準備のため、砂利敷きを実施する。

(1F キリンチーム) 4号機 SFP への外部注水を16時から19時で約100t実施する。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(1F 滞留水チーム) 2号機縦坑からプロセス建屋、3号機 T/B から H/W への移送を実施している。水位上昇カーブを確認して、最終的な収容時間を考えたい。2号機からプロセス建屋への移送は当初60時間を想定していたが、上昇率が低いので見直しが必要と考えている。

(1F 水処理チーム) (資料で説明) 現場の進捗について説明する。T/B の滞留水に油がある場合があるため油を分離する装置を設置する。また、放射性物質の除去、セシウムの除去、塩分の除去をする装置という構成である。沈殿装置への薬液注入装置の設置が終わったので水張り L/T を行っている。上流沈殿装置はライン構成を確認しており、確認が出来次第、海水を張りながら漏えいチェックを行っていく。セシウムの処理装置も設置は終わっているので水を張って漏えい確認をする。上流沈殿装置のタンク類や心臓部である分離装置が入ってくるので配管接続を確認して、上流から海水を張り、漏えい確認をしていく。設備単体の健全性の確認が出来次第、系統で総合的に制御できることを確認していく。

(武黒) 熱中症対策について、本店保安班検討すること。サイトでは休憩時間の確保や水分補給などの対応をお願いしたい。

(武黒) 水処理装置は最後の詰めとなったので、連携をよくして対応を強化すること。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(1F) 1～3号機温度等パラメータは安定している。

4号機SFPへ外部注水を実施した。

滞留水だが、昨日夕方から弱い雨が降っていたが、雨の影響はほとんど無いようである。

今日は晴天で温度が高かったが、熱中症の発生はなかった。作業時間を細かく区切って作業をしている効果が出ているものと考えている。半面マスクの運用を早めに検討したい。

明日、当社社員2名の過剰な被ばくに対する福島労働局の立入がある。

(1F 発電班) 1号機は、FDW 系から $5\text{m}^3/\text{h}$ で炉注水を行っている。圧力/温度は安定しており、RPV 底部ヘッド上部で 99°C である。

2号機は FDW 系から流量 $5\text{m}^3/\text{h}$ で炉注水を継続しており、プラントパラメータは安定しています。SFP の温度は 32°C であり、安定している。

3号機は、FDW 系から流量 $11.5\text{m}^3/\text{h}$ で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッド上部の温度は 143.7°C で若干低下傾向を示している。

5、6号機は冷温停止中であり、RHRで非常時熱負荷とSHCを切り替えている。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

また、継続して滞留水の移送を実施している。

6号機の水位は5月中旬まで2m程であったが、滞留水移送をやっており1m程になった。M/C6Cの部屋の排水は100m³/day以上あったが、現在約10l(単位不明)を切っている。

(1F 復旧班) 2号機 T/B からプロセス建屋への移送は継続している。3号機タービン地下から H/W への移送は継続している。プロセス建屋の水位は76mm上昇している。HTI 建屋の水位は7mm上昇している。1号機の水位は変化なし、2号機 T/B 水位は1mm上昇、トレンチ水位は1mm低下。3号機 T/B 水位は9mm 低下、トレンチ水位は6mm 低下、4号機 T/B 水位は13mm 減少している。

2号機は明日 R/B に環境改善のため、空調設備を導入する。

6号機 T/B 滞留水の移送を明日も24時間継続して実施する。

5号機の仮設RHRSポンプ2台化について工事を実施しており、6月8日にT/Rを実施する予定。

(1F 土木班) 飛散防止剤散布は継続して実施している。4号機ピット閉塞はトッシュピットを実施している。ガラ撤去について、今日は事務本館前と3、4号機開閉所で実施しており、明日は3号機T/B東側と事務本館にて実施する。カーテンウォール撤去作業については今日は海上作業を実施しており、明日は海上作業はなく陸上作業のみである。

(1F 建築班) ガラ撤去について、1号機 R/B 大物搬入口周りは継続で実施しており、3号機 R/B ハッチ開口は明日完了する予定。4号機 SFP 下部の補強工事は、明日から鉄骨支柱の搬送組立がはじまる。サイトバンカと焼工建屋の地下の開口閉止部のコンクリート打設が無事終了している。飛散防止剤の散布は明後日から再開する。物揚場のカバーリング準備のため、砂利敷きを継続して実施している。

(1F キリンチーム) 4号機 SFP への外部注水を15:56から18:35にて約90t実施した。明日の注水作業はない。

(本店復旧班) (資料で説明) 滞留水について説明する。

2号機は、一昨日からプロセス建屋への移送を開始しているが、予想に比べて水位が思ったほど下がっていない。それは、ポンプの容量が想定した程出ないものと考えている。予想カーブでは2台運転で途中で1台にする予定であったが、2台でそのまま運転するように考えている。結果的には想定と同じようになると考えられる。当初6月7日夜完了予定であったが、6月8、9日までかかる予定である。

それ以降の移送計画について、ベースとしている1号機R/B水位が下降しており、それにより2号機T/Bの水位上昇に繋がっていると推定している。1日約60mm下降している。最終的には6月24日頃にOP4000になる予定。1号機H

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

／Wへの移送を先に出来ないか検討している。

3号機は昨日からH/Wへの移送を開始しているが、ポンプ容量は出ていると思われるが、予想水位の方が上である。今後のやり方は、しばらく様子を見てHTIへ移送することを検討している。

1号機R/B水位は60mm/dayで下がってきて、昨日今日でペースが鈍ってきた。もう少し様子を見たいと考えている。

HTI水位の状況変化はない。明日、水位計を設置する。

(武黒)注意すべき局面にきている。今後も注意してケアすること。

(本店復旧班)2号機R/B内の環境改善を昨日報告したが、追加説明をする。現在、セシウムに関して全面マスクで入れる状況ではない。そのため、セシウムの基準を見直せないか保安班と相談している。今後全面マスクで入れるようになるまで環境改善を検討していく。

(本店保安班)(新マスクについて実物を説明)湿分90%まで使用が可能である。 10^{-1} のオーダーで使用が可能である。

(武黒)使用感はどうか？

(本店保安班)呼吸が楽である。

(武黒)重いか？

(本店保安班)重い。

(武黒)実際の現場の使用状況を考えること。

(本店保安班)現在、Jビレッジに50個弱配備しており、300個調達した。値段が5倍程高い。

(本店復旧班)局所排風機で通常の全面マスクで作業が出来るようにしていきたい。

(1F吉田)局所排風機でどこまでできるのか？

(本店復旧班)机上の評価上は1/10程度まで下がると評価されている。

(1F吉田)今までの想定が甘いから、きちんと評価すること。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/7(火)の時系列メモ> (情報班)

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 吉田) 全体会議終わった後、けが人が出た。配管の漏えい確認の作業に従事していた人でキュリオンの通訳をしていた人であった。当初、つまづいて肋骨が折れているという状況であったが、いわき共立病院に運んだところ、内臓までいっているとのことで手術をした。かなり重傷に近い状況である。管理を徹底していく。

午後、250mSv/h 超えの調査のため、福島労働局が3名来所するので、対応をしたい。

3号機炉内温度について、トレンドを見てみると若干上昇気味である。早めに処理できるようであれば注水量を増やす等検討をしていく。

(1F 発電班) 1号機は、FDW 系から 5m³/h で炉注水を行っている。パラメータ安定しており、RPV 底部ヘッド上部で 99℃である。

2号機は FDW 系から流量 5m³/h で炉注水を継続しており、安定しています。SFP の温度は 32℃で一定状態である。

3号機は、FDW 系から流量 11.5m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッド上部の温度は 149.3℃で若干変動している。若干上昇傾向が見られる。

5号機は、仮設 RHRS ポンプの2台化準備作業を進めている。

6号機は継続して滞留水の移送を実施している。

(1F 復旧班) 2号機 T/B からプロセス建屋への移送は継続している。3号機タービン地下から H/W への移送は継続している。1号機 R/B 水位は 11mm の下降、R/wB 水位は 3mm の下降、2号機 T/B 及びトレンチ水位は 4～6mm 下降、3号機 T/B 及びトレンチ水位は 8～10mm 下降、4号機 T/B 水位は 10mm 下降している。

2号機 R/B 環境改善工事として、局所排風機の設置を T/B 松の廊下で実施する。

5号機 RHRS ポンプ2台化工事として、明日 T/R を実施する。

6号機 T/B 地下からの滞留水移送は24時間実施する。明日は、午後からタンク水位調整のため24時間作業は停止する。

(1F 土木班) 飛散防止剤散布及び4号機ピット閉塞について継続で実施する。ガラ撤去は3号機 T/B 東側は新規で実施し、旧事務建屋前は継続で実施する。カーテンウォール撤去作業については、本日海上作業はなし。

(1F 建築班) 3号機 R/B1階ハッチ周りのガラ撤去は本日終了予定。4号機 SFP 下部の補強工事について、鉄骨の組み立てをする。1週間程度で完了する予定である。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(1F キリンチーム)本日は注水予定なし。4号機の水温監視データについて情報共有をしていく。昨日18:45の時点で87~89℃である。

(1F 滞留水チーム)1号機 H/W へ水位計を設置する。

(1F 水処理チーム)(資料で説明)全体の水の流れについて説明する。油分離装置→セシウム除去装置→沈降分離装置で放射性物質の除去→塩分除去装置で塩分を取るという構成である。それぞれの設備ごとに処理水タンクとポンプが設置されており、上流側から水張り T/R を実施している。沈降分離装置の水張り T/R を本日実施する。また、薬液注入装置についても水張り T/R を本日実施する。淡水化装置も水張り通水確認をしていく。

(武黒)水処理設備は工事が詰めの段階である。安全第一で作業を行うことが重要であるので、TBM や STAR を心がけて実施していくこと。

(細野)災害対策本部として IABA に提出する報告書を政府として決定する。報告書は包括的なものとなっており、検証作業そのものも大きな作業となる。現場の作業を進めていかなければならないため、現場に支障を出さないようにしたいと考えている。

~全体会議終了~

~全体会議~

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 吉田)昨日夕刻に発生した傷病者(脇腹を痛めた方)が ICU から一般病棟に移りました。経過観察中。現場は暑くなっており、対策が必要。

本日熱中症になった方は、症状は軽症でドリンク剤を飲んで体調が回復したので、自宅へ帰宅した。

排水移送作業は順調に進み、T/B 水位は全て低下した。

(1F 発電班)1号機は、FDW 系から 5m³/h で炉注水を行っている。パラメータ安定しており、RPV 底部ヘッド上部で100℃である。

2号機は FDW 系から流量 5m³/h で炉注水を継続しており、パラメータ安定しています。

3号機は、FDW 系から流量 11.5m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッド上部の温度は17時時点で151.9℃と若干上昇傾向が見られる。

5号機は、原子炉とSFPの冷却を交互に実施した。

6号機は継続して滞留水の移送を実施した。(40m³/h連続移送)

(1F 復旧班)1号機H/W水位計を設置した。前回より2m上昇しており、明日H/W→CSTへの移送準備を開始します。2号機 T/B からプロセス建屋への移送は継続している。3号機タービン地下から H/W への移送は継続している。1号機 R/B 水位は今朝 8 時より 9mm の下降、2号機 T/B 及びトレンチ水位は3

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

mm下降、3号機 T/B 及びトレンチ水位は7mm 下降、4号機 T/B 水位は1mm 下降している。

2号機局所排風機の設置等その他作業は継続して実施した。

滞留水処理装置設置工事において、処理水戻りとSLCホウ酸水を炉内に注入できるように丘の上炉注ポンプ付近にヘッダーの取り付け作業を明日実施する。

この作業に伴い、炉注ポンプの停止はない。本日、熱中症に関する協力企業との打ち合わせを実施したが、直後に熱中症が発生したのは残念。

5号機RHRSポンプ2台化工事として、明日午後T/Rを実施する。それに伴い、午前中にP/Cの入れ替えを実施する。ポンプを4時間停止予定。詳細は明日報告する。

6号機 T/B 地下からの滞留水については、タンクが満杯に近づいている。明日は、流量を絞っていき、一旦18時頃移送を停止する。停止に合わせ、水面の油の状況、水の流入状況の確認を行う。

HPCS D/G水位は上昇傾向で明日20cmを超える見通し。明日、20m³移送する予定。

(1F 土木班) 飛散防止剤散布は予定通り実施した。また、2号機立坑閉塞が完了し立坑閉塞作業は全て完了。4号機トラッシュピット閉塞については今後も継続して実施する。ガラ撤去は3号機 T/B 東側は実施し、コンテナ10個計293個となった。カーテンウォール撤去作業については、明日も海上作業はなし。

(1F 建築班) 明日1号機R/Bの飛散防止剤の散布を再開する。3号機R/B1階ハッチ周りのガラ撤去は本日終了。明日1号機R/Bの飛散防止剤の散布を再開する。

(1F キリンチーム) 本日は注水は実施しなかった。4号機の水温監視データについては16時20分時点で83℃であった。

明日、4号機においてキリンによる放水を予定。16時から20時の予定で140tまたはスキマーサージタンク水位上昇を確認した時点で放水を終了する。

(1F 滞留水チーム) (書画で資料説明) 2号機水位の傾向は変わらず。若干低下傾向。PM/B水位は明日床面に到達するものと予測。サブドレン、放射能レベルに変化なし。

(原子力復旧班) 千葉工業大学、東北大学、NEDO製作のロボットの引渡式に出席した。このロボットは階段の上り下りが可能である特長がある。このロボットの映像は明日以降公開する。

(武黒フェロー) ロボットの使い道は考えているのか？

(原子力復旧班) R/B の水位測定や汚染水の採取、超音波で建屋状況を観る、などの用途を考えている。

(2F) 本日4号機S/B屋上から主排気筒にわたる空調ダクトに穴があることを確

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

認した。主排気筒モニタの指示は変動なし。外部リークによる汚染状況を確認中。

(武黒フェロー)現場写真などあとで紹介してほしい。

(1F吉田)TBS によるインタビューの件、関係各所に迷惑をかけ申し訳ない。

(武黒フェロー)これから継続して作業を行う方、気をつけて行って下さい。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/8(水)の時系列メモ>(情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 吉田)昨夜と変わらない。5号機RHRS2台化工事により、一時的にRHRポンプ停止した。今日中に2台化する。

(1F 発電班)1号機は、FDW系から5m³/hで炉注水を行っている。パラメータは安定しており、RPV 底部ヘッド上部で99.4℃である。SRV 排気側温度は、112.5℃である。

2号機はFDW系から流量5m³/hで炉注水を継続しており、安定している。RPV 底部ヘッド丈夫温度は107.6℃である。

3号機は、FDW系から流量11.5m³/hで炉注水を行っており、RPV 底部ヘッド上部の温度は148.1℃で、全体の温度も安定している。

5号機は、仮設 RHRS ポンプの2台化工事を実施する。8:46、RHRポンプSHCを停止した。9時(9:00, 9:02, 9:05か不明)、RHRSポンプを停止した。1台目のT/Rは13時、2台目のT/Rは16時実施する予定である。

6号機は継続して滞留水の移送を実施している。

(1F 復旧班)2号機 T/B からプロセス建屋への移送は継続している。3号機タービン地下からH/Wへの移送は継続している。2号機 T/B 及びトレンチ水位は5～6mm下降、3号機 T/B 及びトレンチ水位は9～11mm下降、1号機 R/B 水位は7mmの下降であり1号機R/Bの水位は若干ながら鈍ってきている、4号機 T/B 水位は21mm下降している。

1号機H/WからCSTへ移送する準備を開始する。

ホウ酸を炉内に注入できるよう、注入ヘッダーの丘の上のポンプ近郊に設置する工事を実施する。ただし、炉注停止はない。

2, 3号機ゼオライト海水処理装置の電源受電を本日実施する。

5号機RHRSポンプ2台化工事として、P/C入替、ケーブル引き回しの作業をこれから実施する。1台目のT/Rは13時、2台目のT/Rは16時に実施する予定である。

6号機 T/B 地下からの滞留水移送は継続中であるが、タンクの満水が近づいていることと、チャコール詰まり気味であることから、30m³/h まで絞って18時に停止する予定。また、水面油分の吸着剤処理を実施する。明日からタンクの状況を確認し、断続的に移送することを検討している。

6号機HPCSD/G室の水位が20cmを超えそうなので、6号機R/wBへ約20m³水を移送する。

(1F 土木班)ガラ撤去、飛散防止剤散布及び2, 4号機ピット閉塞について継続で実施する。双葉線の鉄塔が倒れて河川を閉塞しているため、本日より仮排水

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・ 個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・ 時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

のための準備を開始する。

(1F 建築班) 1号機 R/B1階のガラ撤去、4号機 SFP 下部の補強工事について継続で実施する。

(1F キリンチーム) 4号機のSFPへ16時から20時まで140t注入もしくはスキマ一サージタンクが反応するまで注入する。

(1F 滞留水チーム) 3号機 T/B 建屋地下からH/Wへ移送しているが、明日午前中に規定値に達する予定。そのため、お昼前に停止する予定。その後の移送については本店と相談し判断したい。

2号機からの移送はプロセス建屋の水位が予想より少ない。本来であれば1号機のH/Wへ移送するラインについて高線量配管の影響を考え付設する予定であったが、OP4200mm に達してから実施するように延期している。

(1F 水処理チーム) 昨日まで資料にあるように沈降分離装置まで海水を張った。本日以降下流側のタンク関係に水を張っていく。セシウム除去装置の水張り対応は継続して実施しているが、電気計装の制御盤と全体で制御する制御室との連携を取りながら、入出力関係のチェックを実施していく。

海水を除去する淡水化装置及び塩分を除去する装置についても海水張り、T/Rを昨日実施した。今後、インターロック試験等実施していく。

(1F 保安班) (資料で説明) 半面マスクの適用に向けて、モニタリングを進めている。実施地点について資料に示す。現在まで、3回実施しており、その結果を資料に示す。もう少しモニタリングが必要であると考えている。来週月曜日あたりから野鳥の森での作業にて試運用を開始したい。

(小森) ゴーグルは必須か？

(1F 保安班) 必須であると考えている。

(本店保安班) メガネは駄目である。必ずゴーグルを着用のこと。

(本店保安班) (資料で説明) MPのグラフについて、線が重なっていて良く分からない状態であったが、原因はドットが大きく判別ができなかったためであったため、ドットを小さくして8カ所について明確に見えるようにした。

(1F 吉田) 今の資料は1Fには届いていない。

(本店保安班) 確認する。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 吉田 所長) 特記事項としては、P/C2C がトリップしたが、現時点では主要な電源は復旧した。5号機のRHRの2系列化は、予定通り作業終了して信頼性向上している。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

環境改善として、旧事務本館のコミュニケーションホールが使用可能になり、免震重要等の奥座敷ができた。まあ、明日から2Fのシャワーも使えるようになる。

(1F 発電班) 1号機、本日14:20頃に発生した停電の影響で、1、2号の主要計器、照明、MP、PHS 電源が使用不可となり、N2 ガス供給ラインのバルブが閉まった影響で注入を一時停止。原因を除去し18時には主要負荷復旧。

1号機は、FDW 系から5m³/hで炉注水を行っている。パラメータは安定しており、RPV 底部ヘッド上部で99℃である。SRV 排気側温度は、114℃である。

2号機はFDW 系から流量5m³/hで炉注水を継続しており、安定している。RPV 底部ヘッド上部温度は106℃、使用済燃料プールで32℃である。

3号機は、FDW 系から流量11.5m³/hで炉注水を行っており、RPV 底部ヘッド上部の温度は149℃で、全体の温度も安定している。

5号機は、仮設 RHRS ポンプを1台増設して2台で運転開始。プール冷却順調。

6号機は滞留水の移送を継続。

(1F 復旧班) 水位関係について、2号機の水移送停止にともない、変化があります。今朝より、2号のT/B6ミリ上昇で3760、立坑15ミリ上昇で3799。移送再開したのでまた低下すると思えます。関連して1号機R/Bも今朝より3ミリ上昇し、4506となっております。

3号機 H/W 移送継続しており、今朝方より7ミリ下降、T/B で3761。4号機は3773で今朝方から変化なし。3号タービンのH/W移送は明日停止予定。サイトバンカーと焼工建屋の止水処理は完了、滞留水の処理水及びボロン水の注入ヘッド取り付け完了。2、3号機の海水ゼオライト処理装置の電源予定通り受電。明日、3号機R/B内の調査、1FR/Bの一階に入りチェック。その他は継続。

5号機 RHRS2台化完了。6号機 HPCW への移送を行い、明日は実施しない予定です。

(1F 復旧班) 停電の原因について説明します(書画)。

調査を実施したところ、電源を供給している大熊線2L から引いている仮設1、2号メタクラBからP/C2Cに受けて480Vで給電している設備が停止した。原因としては、もともと使用していない本設 M/C2C がタービン地下1階にあって、そのメタクラから P/C2C へトリップ信号を誤出力していた。湿気が高いことから短絡(地絡)が発生していたものと考えている。現在処置(リフト)を完了し、17:32に復旧。P/C4Dが類似の設備として使用しているが、現状でリフトされトリップ信号がいかなくなっているため同様の事象は派生していない。

(1F 土木) 地下汚染水の設備ですが、RO 濃縮水タンク(120m³)本日より発電所に入ってきている。飛散防止、ガラ撤去継続。ピットの閉塞について、明日3、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

4号機の13, 14番ピットの閉塞を行います。カーテンウォール作業ですが、先日設置した5, 6側のオイルフェンスを移動します。

(1F 建築)飛散防止剤の散布について、明日は残りの1号機の建屋、3号機の建屋を実施する予定です。その他の作業については継続作業を実施する(キリンチーム)4号機については16:12~実施している。スキマ上昇まで継続、注水後温度測定を行う。明日の予定はない。

(1F 保安班)今朝ほど、反面マスクの運用開始に向けた運用について説明した、本日、野鳥の森近辺を担当する日立さんと相談し、来週から運用する方向。詳細は今後本店と詰めたい。

(本店■■■■)運用範囲においても、作業環境によっては半面マスク駄目な状況もあるので、その点を心がけて欲しい。

(1F 保安班)具体的な運用方法については、本店とも相談させてもらいたい。

(小森)本日発生した停電については、同じようなものは既にないとのことだが、今後、重要な機器の電源信頼性確保は地道にやってほしい。よく本店、サイト連携して。

(本店■■■■)本店、サイトと連携して進めていきたい。

(本店■■■■)滞留水移送について。2号機ですが、移送停止に伴いやや上昇しました。ポンプ停止した後も地下水の影響もあるかもしれないので注意深くみていく。

今後の予定については、受け入れ側でプロセス建屋の地下1階の貫通部下までを考えているが、もともとのシミュレーションでは一旦ポンプを止めて、1号機のH/Wのホースの移設を行うことを考えていたものの、移設が間に合わなそうな状況であるので、そのまま建屋の貫通部の上のレベルまで移送を行い、その後1号のH/Wに移送することで考えている。プロセス建屋のレベルについてはまだ想定のレベルには達していないので、もう数日移送できるものと考えている。当初6/13とみていたが、6/15、16位になりそう。R/Bの水位は下がり傾向になっている。

3号機については、傾向は変わらないが、シミュレーション結果よりは1.5cm程度多い量になっている。HTIについて傾向変化ないが、通路側の○○...。放射能、サブドレン水位、特に傾向に変化なし。

(本店長期冷却チーム)本日11:30に報告徴収をNISAより受領している。内容は2号機の作業改善について。期日は6/15まで。報告の内容は4点。(1)換気に関する作業計画、(2)放射性物質の放出量と周辺への影響評価、(3)放射線の放出の低減とモニタリング方法、(4)工事における作業員の被曝提言方法。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

3号機については明日、建屋に入って調査を行う。調査目的は今後の水位計の校正、N2の配管接続箇所の確認など。

(Jビレッジ) 明日午後、3号機南側に入城します。内容は、南側の線量とスミアをとりたい、ガンマカメラによる放射線源の特定、作業エリアのビデオ撮影です。大物搬入口から、RHR付近を通り、南側のエアロックまで。ダストカ所、スミア7カ所できたらと思っている。今回、東芝さんと一緒に入る予定。計画線量は5mSvの予定。

(本店小森) 装備はどういったもの？

(Jビレッジ) 防護スーツ、タイベック、制圧マスクにて対応する。

(本店) 東北電力による東京電力線について、明日、富岡変電所において修理工事10:00～10:20である。東京電力線は予備線なので、停電等の影響はない。修理の内容はEVTの交換である、これにより2回線になること、再開路機能が付くことで信頼性が向上する。

(2F) 本日開閉所の近くにある防災地下タンクの内部点検のために水抜きを行った。当該タンクには、地震の際に変圧器の油が入り、水に混じった油はそのままにしてあったが、情報共有ができてなく、今回そのまま抜いてしまった。その結果放水口付近に油が広がっている。夜間のため、どこまで広がっているかはわからないが、オイルフェンス、油吸着マット等で処理を速やかに行っているの、それほど広がっていないと思う。

(本店小森) 公表の観点でなにかアクションがあるか？

(2F) 不適合の区分3といことで不適合管理委員会にかかり公表される。

(本店) 消防には連絡しているか？

(2F) 高起動変圧器で漏れている際に、消防の確認を得ている。

(本店小森) とどまっていないということで問題はないか。

(2F) 本件は、電気事業法の電気関係報告規則第4条、公害防止等に関する届出が必要な事象と考えるので、区分3位が該当かなと考えている。

(本店小森) いずれにせよ、報告関係遅滞なく。

(本店小森) 継続作業をされる場合は安全に留意して実施してほしい。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/9(木)の時系列メモ> (情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 吉田)人身関係ですが、昨日の建築関係の作業で、作業の方が発電所では問題なかったが、帰宅してから夜調子が悪くなり病院で診察を受けたようです。その結果、軽い脳梗塞であることがわかりました。本日 MRI を実施する予定です。既往症はよく分からない状況が、既往症があるようです。本日も暑くなりそうなので、熱中症対策、特に作業時間の管理をよろしく願います。

(1F 発電班)先日1、2号で停電があったが復電後は安定運転している。

1号機は、FDW 系から $5\text{m}^3/\text{h}$ で注水中。2号機も FDW 系から流量 $5\text{m}^3/\text{h}$ で注水中です。ともにプラントパラメータは安定しております。

3号機は、FDW 系から流量 $11.5\text{m}^3/\text{h}$ で注水中です。こちらもパラメータは安定しております。RPV 底部ヘッド上部の温度は 150°C で、上昇傾向もほぼさちっている状況です。

5号機は、仮設 RHRS ポンプの2台化工事を実施しましたが、思ったほど冷却の改善はみられないが、1台故障時も冷却が維持できるという点で信頼性を確保していると考えます。また、6号機については滞留水移送も予定通り実施します。

(1F 復旧班)1～4号機ですが、排水関連で移送を実施しています。

2号機トレンチ水位は昨晚に比べ、12mm 下降して、OP3787です。タービン建屋水位は7mm 下降してOP3753です。3号機トレンチ水位は昨晚より8mm 下降して、OP3779、タービン建屋水位は9mm 下降して、OP3752です。関連して1号の原子炉建屋水位は昨晚より8mm 下降して、OP4498という状況です。

3号機の移送関係でH/Wへの移送は夕方にH/Wが満杯となり停止する予定です。

その他、1～4号の作業ですが、23号のゼオライト処理装置は昨日受電が終わりまして、本日試運転を実施する予定です。

3号機のR/Bで1階の調査を行うということで、本日出城するので放射線量に注意しながら実施したいと思います。

56号の方ですが、6号機T/B滞留水移送は本日も実施するというので、さきほど9時に移送ポンプを起動しております。

その他、新しい作業として、5号機DGSWポンプ(C)の点検、56号の炉注代替ラインのカプラーの取り付け作業を実施する予定です。

その他は継続作業となっております。

(1F 土木班)汚染水の処理、飛散防止剤の散布、ピット閉塞、ガラ撤去は継続で実施します。さきほど吉田所長からお話のありました体調を崩された方の詳細

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

をお知らせします。昨日23時過ぎにいわき共立病院の方に入りまして、CTによる診察の結果、医師から軽い脳梗塞と診断されました。暑い中での脱水症状等が原因になっている可能性がある。本日、MRIによる精密検査を予定しているということで、その後の経過が分かりましたら報告いたします。

既往症につきましては、本人からの話で糖尿病があると伺っております。撤去、飛散防止剤散布及び2, 4号機ピット閉塞について継続で実施する。双葉線の鉄塔が倒れて河川を閉塞しているため、本日より仮排水のための準備を開始する。

(1F 建築班)基本的に継続作業です。1号機カバーリングに伴う準備工事で物揚場からの・・・(聞き取れず)。R/B1階のガラ撤去、昨日から実施している R/B 廻りの飛散防止剤を午前中に終わらし、午後から3号R/Bの作業を開始します。4号機 SFP 下部の補強、支柱の搬入・組み立てを実施します。

(キリンチーム)昨日の4号機SFP注水実績ですが、キリンを用いて16:12~19:41で約120t注水しています。注水後のプール水温度19:50で86~89℃となっています。本日の注水の計画はありません。4号機の今後の注水に関してですが、本日から注水しない日が4日、2日かけて注水して満水にしていくという6日のサイクルで注水していきたいと考えております。

(滞留水処理チーム)(書画による説明)

各処理装置水張りし、L/Tを行っております。

凝集沈殿装置は全体の水張りが完了し、本日から循環運転して機能を確認していきます。それからセシウム吸着装置については、インターロックは継続。

淡水装置については、全体システムとの警報・インターロック試験等を実施していきます。

(1F ■■■) 発電所の進入路が地震でダメージをうけており、電柱等がかなり傾いている。その状態が悪化しており、今後の大型車両の通行に支障がでてきそうである。その内容について報告するとともに関係箇所との調整をお願いします。

(1F 土木)6号線発電所に向かうと東北電力夫沢線の電柱が傾いています。周辺の地盤も1m近く沈下しています。痛んでいる電柱周辺の電線・電柱何カ所かが少しダメージを受けております。なお、信号機につきましても傾いている状況です。今後大物搬入の際、危険な状態である。雨期等も考慮すると更なる影響の悪化が予想されます。電柱等の移設などの処置を実施するのが望ましいです。

(1F ■■■) 恐縮ですが電柱の方は東北電力の所有物、信号機は警察の所有物であるので本店の方で対応をお願いしたい。

(本店武黒)相手がいろいろあるが、配電・総務が窓口になるか、どのように調整するか後で相談するのでよろしくをお願いします。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

今後本店の方で調整し、発電所に連絡します。

(原子力復旧班)報告徴収の件、昨日2件報告実施。

まず移送関係ですが、集中RW/B、PM/B地下一階の止水工事をうった部分以上に移送することで報告書を提出。もう一件は昨晚処理設備関連の報告徴収に対する報告書の提出を行っています。この後、保安院の評価を行いまして、指示等ができることになるかと思えます。

それからもう一点、処理装置側の今の報告等がありましたが、これから放射性物質を含んだ水の試運転を開始しますが、明日からアレバ、キュリオン、それを組み合わせた総合試験を始め1週間程度で行います。本日の定時記者会見で公表することになっております。

(2F) 昨晚の海への油漏れに関して、(書画で説明)

34号放水口から0.5m³放出したと想定しております。

油吸着シートを入れたり、オイルフェンスを二重に張っておりまして、現在目視で見える限りでは、外部には流出していない。消防・海上保安庁・水産庁・県の環境課には昨夜のうちに連絡しております。本日も朝8時半から消防の方に来ていただいて、現場を確認していただいているところです。

今後、原因究明、再発防止を検討・実施していく。

オイルの除去をしっかりと実施していきます。

(本店 武黒)今後の状況の推移については、適宜報告をお願いします。

対策がまとまったら報告してください。

(本店 武黒)熱中症のリスクが高いので、作業・体調管理をよろしく願います。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00 (1F吉田所長)特記事項 3号機のR/Bに入域し、線量など測定した。後ほど説明してもらう。本日は幸い熱中症の発生はなかった。通勤途中に具合が悪くなった人がいましたが。

(1F発電班)1号FDW系から5m³/hで注水中、炉圧、温度安定。代表点で99℃。2号も同じくFDW系から5m³/hで注水中。パラメータに変化なし。代表点106℃、SFP水の温度も32℃で安定。

3号FDW系から11.5m³/hで注水中。底部152℃で安定。このまま様子を見る4号は特になし。5,6号も特になし。滞留水の移送を実施した。

(1F復旧班)3号T/BからH/Wへ2000m³移送を実施。予定より早く10:44に終了。T/Bの水位が若干上昇。3号SFPへ注水(ヒドラジン含む)を13:42～15:31で実施。2号3号の電線管等の止水対策のうち電気関係は本日

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

終了。土木関係が残っているが明日実施する。

6号機の滞留水の移送は18時で停止している。明日は移送なし。

(土木)汚染水処理設備設置でタンクを継続で搬入している。飛散防止、がら撤去は継続で実施している。ピットの閉塞は4号の NO. 19を明日実施。護岸部の傷んでる部分も実施します。カーテンウォールの撤去作業ですが明日は海上作業はなし。

(建築)本日の作業は予定通り終了。明日の飛散防止剤散布は1, 2タービン間2号の R/B の南北外壁を実施予定。滞留水関係で工作建屋のトレンチ台の止水を実施していましたが、明日追加の堰の打設を実施する予定。

(キリンチーム) SFP への外部注水は本日なし。4号機の SFP 温度は87℃～88℃(16時のデータ)。明日も注水の予定なし。

(復旧班)(書画・ビデオにて説明)本日、3号機 R/B へ11:47～12:14で東芝と合同チームで入城した。線量、ダスト測定、スミヤを実施。5mSv 計画線量であったが、5.88～7.96mSvで計画線量をオーバーした。汚染がひどく全員全面汚染となった。

(武黒フェロー)スミヤやダストの結果はいつわかりますか。

(復旧班)ダストは明日結果がでる。スミヤは線量が高すぎてデータがでないかもしれない。

(●●さん)(滞留水について書画にて説明)2号のグラフについて先々わからないため、線をひき直した。プロセス建屋に移送を続けて、今の予定では6/16 17まで続けられる。このシミュレーションはR/Bの影響を受け続けるものとなっている。

3号機はH/W への移送終わったが、やや高めとなっている。リバウンドもいまのところない。今後2号と3号を分配してHTIへ移送していくが、この辺の傾向を見て進めていく。

海水循環浄化装置について

(●●さん) 2号と3号の取水口の間設置。昨日受電して、今日通水している。中にゼオライトが三段になって入っている。60m³/h. で運転。今日サンプリングして明日効果を確認。報告徴収は昨日報告して先ほど受領了解された。

(配電復旧班) 進入路の電柱や信号の処理について関係者と調整した。信号についてはOFCが福島県警と調整し、その場で処理してよいと回答を得た。電柱は東北電力、NTTと方法を協議していく。

(武黒フェロー)3号立ち入りのサーベイ結果は纏まったら報告してください。

これから作業のある方はご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/10(金)の時系列メモ>(情報班 ■■■)

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 所長)ミドリムシの作業をしていた大成建設の方が広野の宿舎で意識がなくなっていた。Jビレッジに運び、ヘリでいわきに運ぶ。

3号機炉内温度が急に150℃から130℃近辺になった。一方、フランジ部の温度は20℃くらい上がった。

(1F 発電)1号機は、FDW系から5m³/hで注水を継続。圧力温度は安定している。RPV底部ヘッド温度は99℃。SRV排気側温度は112℃である。

2号機は、FDW系から流量5m³/hで注水を継続。温度は安定している。SPF温度も32℃で安定している。

3号機は、FDW系から流量11.5m³/hで注水を継続。RPV底部ヘッド上部温度は昨日17時過ぎの時点で152℃から130℃程度に2時間程度かかって下がった。同じエレベーションの温度については120℃前後である。温度推移を継続して監視していく。

6号機については建屋内部の滞留水の移送は、タンク入口フィルター交換のため、本日実施しない予定。

(1F 復旧)昨日、(3号機)T/BからH/Wへの移送が終了したので、水位は上昇している。昨晚から1時間1mm程度の上昇率である。2号機T/B及びトレンチ水位は下降傾向である。4号機も3号機と同様に水位上昇している。

6号機滞留水移送については、チャコールフィルター交換、ポンプ位置調整のため、本日は実施しない。明日については、タンクのレベルが高いので、時間を区切って移送する予定。

(1F 土木)本日朝、大成建設の方が体調不良となった。

タンク関係は、青色のタンクの搬入設置を実施する。

プリコートは厚生棟付近に散布する。

ガラ撤去は3号機CST周りにて行う

残りのピットについて閉塞を実施する。

護岸部分のコンクリート打設を実施する。

(1F 建築班)作業は継続だが、1号機のカバーリング工事、走行路の整理、1号機R/B大物搬入口周辺のガラ撤去、4号機SFP下部の補強工事、プロセス建屋閉塞、高温焼却建屋壁の解体、1、2号機T/B及び2号機R/B南北外壁面への飛散防止剤散布を実施する。

(1F キリンチーム)注水予定はなし。

(1F 滞留水処理チーム)(資料で説明)沈降分離装置への海水水張を完了した。海水を循環させながら継続して設備を確認していく。セシウム除去装置は水

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

張りを行なったので、本日はスキッドという箱状のもの6個それぞれにセシウム除去装置が4個あり、それにポンプが付いているので、そのポンプを起動して水を通して機器の健全性を確認していく。制御室の中のインターロック試験を実施する。

(2F所長)3000tの海水を放水することで心配かけたが、経緯についてユニット所長の[]から説明する。

(2F []) (資料で説明)津波によって建屋内に浸水した海水について、1Fからのホールアウトと建屋内に残っていた放射能が混ざっていたことによるものと考えられる、放射能が確認された。濃度としては、平均的には2000~7000Bq/lである。仮設の処理装置について3月始めから検討し、3月末に放出を判断し、4月から設置にかかり、5月から試験を実施していた。検出限界値に処理ができることを確認した。放水口に流していくので、希釈効果を期待すると0.2Bq/l程度になると思う。通常建屋内の水の処理は常設の処理装置にて検出限界以下で希釈効果を期待して放出することを実施している。今回の件は、それに準じる形で計画を建てていた。(結果的にあきらめた)敷地内のどこかに保管して検討していく。

(武黒)各方面の理解を受けて進めることを精力的に取り組む必要がある。

(OFC政務官)前回1Fにて高濃度の滞留水の扱いに困って、低濃度の滞留水を捨てたことがあるが、濃度は今の資料のグラフでどこに位置するか？

(2F)2Fでは出していない。(OFCの質問の意図は1Fとの比較)

(本店 []) $10^2 \sim 10^3$ Bq/l程度である。

(OFC政務官)前回と同じようなことをやろうとしているとネットで言われているからグラフで言え。

(2F)10Bq/l以下であり、海水の希釈効果によって0.1Bq/l以下になると考えている。

(OFC政務官)(1Fの件は)前は時間がなかったからそのまま捨てたと言うことか？

(1F吉田)そうだ。

(武黒)作業者の体調管理、健康管理について本店側も発電所と連携して元請会社への協力依頼など進めていく必要がある。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00 プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 所長)本日の傷病者の検査の結果、異常は無かったが、意識がありません。入院を継続して治療します。本日の熱中症はありませんでした。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

3号機の代表点の温度は朝下がったが、150℃まで上がりまた下がった。物理的な振る舞いか計器の問題か検討します。

4号機については、事故後初めて4階に入城しました。顧問が先頭に立って入りましたが、もう帰りましたのでさんが後ほど説明します。

(1F 発電)1号機は、FDW 系から5m³/h で注水を継続しており、圧力・温度は安定しています。

2号機は、FDW 系から流量5m³/h で注水を継続しており、パラメータは安定しています。SFP の温度は31℃で安定しています。

3号機は、FDW 系から流量11.5m³/h で注水を継続しています。6/9 17時のRPV 底部ヘッド上部温度は152℃から130℃程度に低下し、本日12時から15時に145℃程度まで戻りました。17時現在は120℃程度です。同じエレベーションの温度は120℃前後であり、底部全体では安定していると考えられます。監視を継続していきます。

5. 6号機は冷温停止中で安定しています。

(1F 復旧)2号機立坑から集中ラドへの移送は継続しています。2号機タービン建屋の水位は6mm 下降し、OP3733mm です。立坑はOP3761mm です。3号機はH/W 移送停止のため上昇に転じ、タービン建屋は10mm 上昇しOP3792mm、立坑は11mm 上昇しOP3805mm です。4号機は8mm 上昇し、OP3777mm です。1号機は2号機の下降と共に4mm 下降し、OP4493mm です。

本日、1, 2号機電動コンプレッサの追設を行いました。明日午前中に2号機R/B 局排のテストランを行い、調子よければ午後にインサービスします。炉注水監視カメラの架台交換を実施するため、1時間弱動作不能となります。作業中に以上があれば発電班に連絡する体制を整えます。

6号機タービン建屋地下水の移送はありません。チャコールフィルタの交換が完了しました。明日10時から15時の5時間、仮設タンクに移送を行う予定です。その他は継続しています。

(1F 土木)いわき共立病院でMRI 等を実施したところ、脳出血や髄膜炎はありませんでした。意識障害で寝ています。6/8に宿舎にて気分が悪くなった人は、6/9のMRI の結果、脳幹梗塞で2週間の入院を行います。手術は不要で薬とその後のリハビリで療養します。

明日の予定は、クリコート散布を体育館周りにて実施します。ガラ撤去は本日6箱撤去しました。明日の予定はありません。1, 2号機のカーテンウォールの撤去は、起重機船にて作業を行いますので土砂が舞い上がる可能性があるので監視を行います。ピット閉塞と護岸工事は予定通り終了しました。

(1F 建築)飛散防止剤散布は1, 2号機タービンの間、2号機 R/B 北側の3000m² を実施しました。残りの4号機は6/17以降で工程を調整中です。1号

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

機 R/B カバーリングの準備工事、ガラ撤去、4号機プール下の工事は本日分完了しました。明日も継続します。3号機 R/B 大物搬入口奥のガラ撤去を再開する予定です。滞留水関係では、トレンチのコンクリート打設(?)を完了していません。明日はプロセス建屋の開口部の型枠の組み立て、工作建屋で解体作業を予定しています。

6/11に馬淵内閣補佐官が1F・2Fを視察します。1Fへは13:20から15:00に激励と1, 4号機周りの視察に入られます。

(1F キリンチーム)本日の SFP への外部注水はありません。明日もありません。公表している4号機プール水温は83°Cから84°Cです。

(滞留水チーム)セシウム吸着装置のポンプを動かしてのテストを予定していたが、箱(スキッド)6個をつないでいるホースの継ぎ手ににじみがありました。また、スキッド操作バルブのグランドからリークがありました。これは昨日水張した濾過水が、耐圧試験にてにじみが確認されたものです。これから補修を行います。

(1F ■■■)4号機 R/B4階の調査結果を紹介します。4号機 SFP への内部注水、代替冷却の可能性を探るため、■■■顧問と共に4号機を調査しました。14時から30分間調査に入りました。券田気線量 0.2~0.3mSv/h とあまり高くありません。被ばくは30分で 0.1mSv 程度です。南側から北側を撮った写真を示します(書画にて説明)。爆風の影響を受けたような跡は見られたが、高熱の影響の跡は見られなかった。FPC の配管、非常時熱負荷モードの RHR 配管がどうなっているか調査しました。さらなる調査が必要です。

(1F ■■■)3号機 R/B のガンマカメラ、ダストサンプリングの結果を紹介します。ガンマカメラによる3号機 R/B 大物搬入口の入ったところを書画にて説明。ダストサンプリングについては、大物搬入口のデータで、ヨウ素 131 が 1.5×10^{-4} で、全面マスクの限度が 1×10^{-2} なので大丈夫です。セシウム 134 が 7.2×10^{-3} で全面マスク限度が 2×10^{-2} でこちらも満足しています。セシウム 137 で 10^{-3} オーダーです。

R/B 南側の計装ラック前のヨウ素は 10^{-4} 、セシウムは 10^{-2} で 2×10^{-2} の全面マスクを満足しています。セシウム 137 は 3×10^{-2} 以下です。3号機 R/B は、線量は高いがダストは全面マスクで満足します。

(1F 所長)3号機 R/B への入域について、線量が高いので 5mSv 以上とらないように注意したが全部 5mSv を超えた。全般的に本店の調査は線量にルーズなので、しっかりやってください。

(本店復旧■■■)計画が甘く、管理がルーズなので、しっかりやっています。

(本店復旧■■■)2号機タービン建屋の水位は、若干予想よりも寝てきたように見える。R/B の水位がサチっている影響が出ていると思われる。3号機は H/W への移送が終わり上昇しており、若干シミュレーションよりも高い。シミュレーショ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

ン上は HTI 建屋に送ることになっているが、HTI 建屋は最後のバッファなので、2, 3号機の水位を見極めて、プロセス建屋に送ることをサイトと検討していきます。HTI 建屋の水位の傾向に変化はなく、放射能も変化ありません。

(本店保安) 5/30日の被ばく線量が高い2人について、バンドを持った内部取り込みを紹介しましたが、本日、放医研での2回目の WBC を行い、線量が確定しました。前提条件は3/11~12に取り込んだという一番保守的な条件としております。

昨日 JAEA から甲状腺のヨウ素が高いと言われた人について、本日放医研で健康診断・WBC を行いました。現在高めの方は3名で2名は緊急時限度を大幅に超えた。6/13に WBC の中間報告3000人のデータをとりまとめて報告する予定です。

(本店小森) 放医研のデータについて、夕方、厚労省に行き、安全衛生部長から何点か指示をいただいた。WBC を3ヶ月に1回、線量の確定を迅速に行うこと、作業管理をしっかりと行うこと等何点かご指摘をいただき、メモ書きを作ります。アクションが必要なものは発電所とも相談して対応を行います。熱中症は本日ありませんでしたが、熱中症の社長宛に文書について念押しされました。

(本店厚生) 厚労省の関連で、熱中症対策の徹底とその報告の要請を受けています。また、緊急作業や協力会社への指導も受けました。昨夜、熱中症予防対策について厚労省と調整しました。たとえば、14時から17時の時間帯は、いくつかの前提で行うこととしている。事故収束に向けた作業等やむを得ない場合は、万全を期した対策を行うこととしている。今後は6/24までに基本計画と工程表を提出する予定です。労務人事部健康安全グループが窓口で、立地業務部と発電所と内容を調整した上で行いたい。産業医台で協力会社にどのようなサポートができるか話し合った。

(本店武黒) 重要な取り組みとなるので、関係各所と連携して行ってください。

(本店■■■■) 本日のプレスにて、熱中症対策としていろいろやっていることを紹介しました(書画にて説明)。休憩所を計画的に増やしている。計画では8カ所760名、最終的には6月末に14カ所1230名分の休憩所を作る計画です。このうち、5, 6号機サービス建屋1階および旧緊対室(昨日オープン)は免震棟からそのままの格好で行ける。免震棟の向かいのプレハブや東芝さん設置の休憩所もあります。1期分の免震棟前の休憩所に廊下がつながります。靴箱、冷蔵庫、局排を配置します。免震棟の混雑を解消できると思われます。東芝さんの休憩所は米国製のドームテントを使用しています。

(本店■■■■) 服装関係では、クールベストを防災安全部から発注しており、企業は既に導入しています。冷蔵庫を購入して設置している。いろいろあるが順次カタログを取り寄せ検討します。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(本店■■■■)プレス発表にありましたが、2Fの協力を得て2段ベッドを設置しました。6/8日にはシャワールームが30近く設置され、運用を開始している。吉田所長も浴び初めをしました。

(本店武黒)是非活用してください。

(本店環境評価チーム)6/11午後に2号機上部のダストサンプリングのため無人ヘリが飛ぶ予定です。天候によっては12日に変更します。

(福島事務所)本日、福島労働局から250mSv超え2名の是正勧告と報告の指示を受けたことを連絡します。5/30の女性社員被ばく、線量計を全員に付けることの是正勧告について、本日報告しています。

(2F)馬淵内閣補佐官が、明日11時から1時間程度視察と激励に来られます。

(1F■■■■)確認ですが、明日天候荒れ模様ですが、一次帰宅のスケジュールに影響はありますか？

(OFC)予定通りです。午前中雨ですが昼から上がる天気予報となっています。

(本店武黒)業務継続 安全第一でお願いします。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/11(土)の時系列メモ>(情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 所長) 本日の天候は霧雨程度、午後からは雨は上がるようですので、水位に影響するものではない。プラントについては、3号機RPV代表点温度が130～140℃でふらつきが見られる。8時時点で141℃となっている。しばらく推移を監視する。

2号機ではR/B局所排風機による環境改善を行う。

(1F 発電) 1号機は、FDW系から5m³/hで注水を継続。パラメータは安定している。RPV底部ヘッド温度は99℃。SRV排気側温度は112℃である。

2号機は、FDW系から流量5m³/hで注水を継続。パラメータは安定している。S PF温度も31℃で安定している。

3号機は、FDW系から流量11.5m³/hで注水を継続。RPV底部ヘッド上部温度は一昨日150℃から130℃に低下したことをお伝えしたが、昨日12時頃150に上昇し、その後130に低下している。昨日21時には130℃から145℃までステップ状に上昇した。今朝8時健在は141℃で安定。今後計器の健全性も含め検討が必要である。

56号機は冷温停止中、パラメータは安定している。

(1F 復旧) 2号機からプロセス建屋への移動は継続実施。各水位の昨晚からの変化量は、1号機は変化なし。2号機はT/Bが8mm低下、トレンチは11mm低下。3号機はT/Bが13mm上昇、トレンチは12mm上昇した。T/BはOP3 817となった。4号機はT/Bで16mm上昇した。

2号機では局所排風機のT/R、午後からインサービスする予定。

共通的なところで、1～3号機R/B注水監視用カメラの架台を交換するというところで、一時監視不能となる。ポンプは運転中であり問題ない。

56号機ですが、6号機滞留水移送は10時～15時で約200m³を移送する予定しています。

(1F 土木) 本日は、青色のタンクの搬入設置、飛散防止剤は雨が上がったなら野鳥の森周辺に散布する。ガラ撤去関係は、本日実施しません。本日からカーテンウォール撤去関係で海上作業を実施しますが、波の方は問題ないですが、霧のため視界が悪く、出航を見合わせておまして、8:45に船が2Fを出航したとの連絡がはいっています。

昨日宿舎の方で具合が悪くなり磐城共立病院に搬送された方の診断書が出ており、病名は現段階で意識障害の原因は不明とのこと。入院にて経過観察を要しますということです。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(1F 建築班) 飛散防止剤散布は予定なし。1号機のカバーリング工事、ガラ撤去、4号機SFP下部の補強工事などを継続実施する。3号機大物搬入口奥のガラ撤去を行います。また、馬淵内閣総理大臣補佐官が来所されるということで1～4号機周辺をご案内する予定です。

(1F キリンチーム) 注水予定はなし。

(1F 滞留水処理チーム) (資料で説明) 3号機トレンチ水位がOP3817mmに上昇したことを受け、本日午後か明日午前中に移送することを本店と協議したい。サイトとしては本日午後を希望する。

(滞留水処理チーム) 昨日、セシウム吸着装置通水確認をしたところ、フレキシブルチューブの数カ所で漏えいが確認された。漏えい箇所はパテ埋め補修を行い淡水による漏えい箇所の処理状況確認を実施している。また、バルブの試験操作中、制御盤からのインタフェース試験において、いくつか回路の手直しが必要であることが分かった。

(武黒フェロー) 夕方、手直し状況など進捗状況の報告をお願いします。

(原子力復旧班) (書画による説明)

局所排風機を廃棄物処理建屋に2台設置、風量は1000m³/h。

建屋全体を循環させる。ダストサンプラを設置しダスト評価を実施する。1号機のようにダストの舞い上がりがないようにする。今後のスケジュールとしては、6/11 午前にテストランを行い、2重扉開放、ドアストッパーの設置、正午から局所排風機を運転する予定。ダストサンプリングは、運転10分後に初期データを採取し、その後は測定間隔を上げながらデータを採取していく。(1号機の実績から運転後2日後にはダストが安定) 安定後、ダスト評価を行い保安院、関係各所に説明しプレス後に山側の非常用エアロックの開放を行う。今の予定ではプレスを6/17に予定しており、その日の夕方以降に非常用エアロックを開放予定。

(1F 所長) 計画線量をオーバーすることがないように注意して作業にあたってほしい。

(■■■■部長) アメリカの原子力学会より日本の原子力学会を經由して、現場作業に当たっている方に367万円の寄付をいただきました。趣旨に鑑み、休憩所の冷蔵庫や飲み物に充てることを考えています。

(OFC) 2号機局排の件で、二重扉開放については各所で関心をもたれ、いろいろと影響することが考えられることからスケジュールありきではなく、関係各所のご理解を得る必要がある。また、一時帰宅と重ならないような配慮も必要と考える。

(武黒フェロー) 本部とOFCの連携を密にして対応してください。

(海江田大臣) 馬淵総理補佐官一行が福島第一におじゃまします。作業にさし

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

わからない程度で対応をお願いします。

(武黒フェロー)湿度が高いので熱中症予防など健康管理、作業安全管理に注意して作業にあってください。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 所長)トピックス。3号機、RPV底部ヘッド上部温度、本日は140℃前後で安定。2号機局所排風機を12:42よりインサービス。モニタリング変化なし。

15:30から3号機T/Bからプロセス建屋移送、明日まで実施。架台工事12:52終了。馬淵総理補佐官が来所。13:20から15時まで視察と激励。

(1F発電)1号機は、FDW系から5m³/hで注水を継続。パラメータは安定している。RPV底部ヘッド温度は100℃。SRV排気側温度は110℃である。

2号機は、FDW系から流量5m³/hで注水を継続。パラメータは安定している。S PF温度も32℃で安定している。

3号機は、FDW系から流量11.5m³/hで注水を継続。RPV底部ヘッド上部温度は6月9日以降、130から145に上昇していたが、昨日23時以降140程度で安定。現在141℃。監視カメラ架台変更、水位変化なし。

56号機は冷温停止中、パラメータは安定している。

(1F復旧)2号機からプロセス建屋への移動は継続実施。3号タービンからしゅう明日18時くらいまでの予定。各水位の昨晚からの変化量は、1号機は変化なし。

2号機はT/Bが6mm低下、トレンチは7mm低下。3号機はT/Bが4mm上昇、トレンチは7mm上昇したが、現在、プロセス建屋へ移送しているため減少傾向。

4号機はT/Bで7mm上昇。

1号代替冷却装置作業の継続。2号ダストサンプリングを今後実施。4号でも代替冷却装置設置に向けた調査を行います。

56号機ですが、6号機滞留水移送は10時～15時で約200m³を移送しました。明日は、30m³/hでトータル150する予定しています。

(1F土木)青色タンク搬入、設置作業を継続。ガラ撤去は明日3、4号開閉所周辺。カーテン撤去、クリコート作業は明日休み。

(1F建築)1号機のカバーリング準備作業、大物搬入口付近のガラ撤去、明日も継続。本日から再開した3号機建屋内部のガラ撤去継続。4号機SFP下部の補強工事、支柱の搬入、組立を実施し本日までで50% 6月末完了までオンスケ。明日休みで月曜日から再開。高温焼却建屋の内部の撤去準備ですが、明日休

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

み、月曜再開。工作建屋、トレンチの追加の堰の設置ですが、本日まで解体作業完了。

(1F キリンチーム)注水はなし。明日もなし。4号機プール温度は本日16時で84°Cから85°C。

(本店滞留水処理チーム)(書画で説明)2号機の状況については、当初より60ミリで水位上昇をシュミレーションしているが、リアクター側の水位が安定しており、2号機側に流れ込む流量が減ってきている。よって、60ミリの想定は厳し目のので、これより見直す必要がある。引き続きしばらく様子みる。

3号機の状況について、本日15時過ぎにプロセス建屋への移送を再開したが、この目的は、2号機と3号機の管理OP3850を同じ時期に迎えるように調整している。ポンプ一台、一日あたり19ミリで移送。シュミレーションとほぼ同じ状況です。監視強化している、集中ラドの高温消却建屋のサブドレン水と建屋の水位ですが、だんだん数値が近づいてきている。バランスがとれつつある状況。サブドレン水位と放射線下がり傾向。引き続き監視強化します。

また、朝、水処理チームから説明があったとおり、セシウム吸着機器の水漏れがあった件、フレキシブルホースの接続部(カップリング)でにじみを発見し、箇所としては十数カ所。類似箇所数十カ所を含めた箇所についてパテで埋める作業を実施。制御プログラムのチェックも継続しているが、一部プログラムにバグが見つかり、現在修正作業を行っている。キュリオソ、他関係者総出でとりかかっており、頑張っって今晚中に作業。作業の進捗に併せ、行程見直しを行う。

(2号環境改善:) (書画にて説明)2号機の局排機を12:42よりインサービスしている。被爆線量は社員2名2時間の作業で計画線量1ミリに対し、0.9と0.8程度。線量については、北のエアロック付近で15ミリ、南側17、タービンまつの廊下で0.2~0.5。今後の行程について、山側エアロックの解放を17日の夕方まで考えていたが、関係各所(保安員、OFC、Jビレッジ、警察庁)と調整した結果、十分丁寧にやるべきということで、説明期間を4日間みて、19日の夕方以降に解放することで調整を進めております。

(本店保安班)発電所における一時立ち入りのルール、申請書様式を定めました。6/8以降、作業証がないと現場に入れない運用しておりまして、一時立ち入りの方は作業証がないということで別の様式を定めました。対象は当社社員、契約関係のある方で、目的は視察、打ち合わせ予定があること、計画線量が0.1を超えないこととしております。0.1ミリを超える場合は従事者登録して入っていただくこととなります。申請書は保安班に置いておきますので、事前にJビレッジに送って申請してください。なお、炉規制法以外の違う法体系で入られる方は計画線量を決めておりませんので、それぞれの状況で対応して欲しい。例えば、事故調等での立ち入りなど0.1ミリを超えることが予想される。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(本店■■■)作業の延期のお知らせ。2号機の上部に出ている湯気の空気をサンプリングするため無人ヘリをとばすことを計画しているが、事前の流量計の作動不良が見つかったため、明日の作業は延期。明日、開発責任者を現地に派遣して今後の対応を検討。対策整った後、再開したい。ご迷惑をおかけします。(Jビレッジ)無人ヘリ(Tホーク)ですが、明日、県警の要請を受け、20km圏内の南側沿岸部を7～11時で飛行するとのことです。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/12(日)の時系列メモ>(情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 所長)本日の天候は晴天、暑いので熱中症対策に気をつける必要がある。プラントについてはトピックスなし。

(1F 発電)1号機は、FDW系から5m³/hで注水を継続。パラメータは安定している。RPV底部ヘッド温度は100℃。SRV排気側温度は110℃である。

2号機は、FDW系から流量5m³/hで注水を継続。パラメータは安定している。S PF温度は31℃。

3号機は、FDW系から流量11.5m³/hで注水を継続。RPV底部ヘッド上部温度は一昨日150℃から140℃で変動していたが、今は140℃付近で安定。現在は140.6℃。

56号機は冷温停止中、パラメータは安定している。

共通事項として、本日5時に震度4の地震があったが、炉注水を含めてパラメータに変動はない。

(1F 復旧)2号機からプロセス建屋への移動は継続実施。3号機T/B地下からプロセス建屋への移送も継続し、今日の夕方に移送を停止する予定です。

各水位の昨晚からの変化量は、1号機は変化なし。2号機はT/B、トレンチが10mm下降、3号機はT/Bについては、14mm下降、トレンチは9mm下降でOPと言うとOP+3815mmとなっている。4号機は、T/Bが5mm下降した。

作業は、1号機SFP代替冷却設備設置作業のうちモジュール地組みです。2号機に関しては、R/B建屋環境改善対策のうちダストサンプリング関係、1号機と同じく4号機SFP代替冷却の現場調査。

56号機ですが、6号機T/B地下滞留水移送は10時～15時で30m³/hで合計150m³移送予定。

(1F 土木)本日は、タンクの設置を継続。ガレキ撤去関係は、3、4号開閉所付近。カーテンウォールとクリコートは本日休工。

電柱の傾きについて、信号柱については警察と相談し撤去することとした。電柱は写真にて確認した結果、復旧にて対応することとした。なお、作業は配電部にて対応する。

(1F 建築班)1号機のカバーリングに伴う走行路の整備、3号機R/B内でガラ撤去。4号機SFP下部の補強工事、プロセス建屋、HTI建屋の作業は休工。

(1F キリンチーム)本日は外部からの注水予定はなし。

(1F 滞留水処理チーム)先ほど報告したとおり、3号機T/B地下からプロセス建屋への移送は17時頃に停止予定。

昨日、セシウム吸着装置の線路確認を行っており、ねじ込み部でリークがあった

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

件について、本日ポンプの起動確認を実施する。(書画で説明)ヤードで貯蔵タンク、処理水タンクの設置をする。外循環系を形成する。プロセス建屋から SPFへそこから丘の上の淡水化装置へ移送し、ヤードにあるタンクに導き、炉注水ポンプへ導く。貯水タンクは 3000t 以上あり、バフアタンクは設置製造・建築中。今日は炉内注入装置への繋ぎ込み作業を実施し、一部エアを切るためのベントを行う予定。ヤードでは、廃液のうち淡水以外の水を貯蔵するタンクを設置中。

(武黒フェロー) 電柱関係の作業については、配電部さんよろしくお願い致します。水処理関係は、本店のバックアップチームがスタンバイしているため、後で対応をお願い致します。

(本店復旧班) (書画による説明) 2号機のダストについて、昨日より局排を動かして、I-131、Cs-134、Cs-137 を測定している。全面マスクの基準を $10^{-1}\text{Bq}/\text{cm}^3$ に示している。昨日 12:42 に起動し、初期値として 13:00~13:10 と念のため 13:20~13:30 という2つの初期データを測定した。16時から4時間インターバルを置き 20時、0時に測定しているが、今のところ I-131、Cs-134、Cs-137 は横ばい状態で、局排の効果がでていないとは言えないが、全体的に低い値で、全面マスクの基準を下回っている。ちなみに、6月4日にデータを測定しているが、バッテリー式のダストサンプラで測定したデータ ($10^{-1}\text{Bq}/\text{cm}^3$ に近い値) を書画に示しているが、今回の測定データは、 $10^{-2}\text{Bq}/\text{cm}^3$ でここまで下がっている。今はまだ考察しきれませんが、今後も継続して測定を行っていく予定。

(本店) 2回目以降の測定ポイントは?

(本店復旧班) 北側のエアハウス、この場所からエアを引いてダストを測定している。

(本店) ということは、フィルターの出口でとっているということですか?

(本店復旧班) フィルターの出口というよりも戻りからエアをとっている。建屋内のエアを引き込む方で測定している。

まだ、12時間程度の測定であるため、しばらく傾向監視します。

(武黒フェロー) 暑いので熱中症対策を十分に、作業安全管理に注意して作業にあたってください。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F所長) プラントは特記事項なし。3号機、代表点RPV底部ヘッド上部温度は 140°C 前後で安定状態が続いている。移送については、2号機からプロセス建

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

屋は継続、3号機からプロセス建屋は17:01に移送停止。

(1F発電)1号機は、FDW系から5m³/hで注水を継続。温度、圧力は安定している。

2号機は、FDW系から流量5m³/hで注水を継続。パラメータは安定している。

3号機は、FDW系から流量11.5m³/hで注水を継続。代表点RPV底部ヘッド上部温度は、現在140.6℃で安定。

56号機は冷温停止中、パラメータは安定している。

(1F復旧)滞留水の移送は、3号機T/B地下からプロセス建屋への移送を17:01に停止した。各建屋水位の昨夜からの変化量は、1号機は変化なし。今朝7時より、2号機は、T/Bが7mm下降、トレンチは8mm下降。3号機はT/Bが7mm下降、トレンチは5mm下降。4号機はT/Bが3mm下降。

1号機SFP代替冷却装置作業の地組みを継続。2号R/B環境改善の局排の関係でダストサンプリングを実施。3号機は、SFP代替冷却装置の設置でケーブル布設と変圧器の搬入を予定。

3号機のSFP注水については、明日FPCのラインから9:30~11:30で注水予定。

原子炉の注水ライン、ポリエチレン化への交換について、配管の布設が完了したので、水張り、リークチェックをして、明後日インサービスする予定。

56号機のトピックスは、6号機滞留水移送を10時~15時で、約150m³移送した。増設タンクもそろそろ満杯に近づいているので、検討が必要。明日は流量を絞って、10:00~16:00で120m³移送予定。

(1F土木)本日休工したクリコート散布は野鳥の森を実施する。ガラ撤去は3,4号開閉所周辺を継続。海上作業の1~6号機のカーテンウォールの撤去を明日実施する。2号機角落とし設置を明日実施する。

(1F建築)1号機のカバーリング準備作業は、物揚場にてクローラクレーンの組み立てを実施する。1号、3号のガラ撤去は継続。4号機SFP下の補強は、明日支柱の組み立てを実施する。滞留水関係では、明日プロセス建屋で開口部のコンクリート打設、HTI建屋で間仕切りの撤去を実施する。

(1Fキリンチーム)本日の注水はなし。明日は4号機SFPへ16:00~21:00で150tヒドランを含む。明後日も、13日、14日で満水にする。4号機プール水温は、16:00現在で87℃。

(1F保安班)半面マスクの運用について、明日から野鳥の森での日立の作業に適用する。ゴーグルはJ-ビレッジで手配するので、物流が円滑に進めば、6/20を目処に本格運用する。

(1F所長)滞留水処理チームは全員現場にいたので、明朝報告する。

(本店) (書画で説明)2,3号機の移送について、青のプロットが水位で、赤の

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

線が予想。1号 R/B の水位が止まって、2号機は減少している。3号機の移送は12日で1日いそうして、12mm 低下は予想通り。高温焼却建屋は大きな変化はない。水の移送については、水処理と併せて検討する。

(本店武黒) 今後検討が必要。6号機は仮設タンクが満杯に近づいているので、6号機とまとめて、明日報告をよろしく。

(本店■■■■) 今日はキュリオンのテストを延期している。昨晚からトラブルがあり、昨日、No.2 の流量が出なかった。今日確認して流したら、流量がとれた。原因は弁の開け忘れ。明日は流量調整して確認する。低レベルの STP(B)の水を使用して試験する。アレパ側装置の進捗を見ながらどちらをやるかを検討する。本格運用については、明日以降に検討するが、若干遅れている。

(本店武黒) 明日以降も引き続きよろしく。

(本店■■■■) 2号機のダストのサンプリングについて、2点追加された。(書画にて説明) 今朝はここまでで、2点追加された。全体としては大きな変化はないが、Cs は多少まきあげがあったが、今は緩やかになっている状況。今後の予定は、局排の起動から1日たち、もう1日続けて、明日の昼に見て、大きな変化がなければ、環境評価、被ばく評価をして、保安院の報告へ反映する。

(1F 所長) 来訪者について、原子力安全委員の小山田委員が14日に来訪すること、本部は了解済みか？

(本店■■■■) 現在確認中。明朝までに回答する。

(本店武黒) 明朝までに報告願います。

(J-ビレッジ) 明日も T-Hawk が飛ぶ。7:00~11:00で発電所の北側沿岸20km 圏内。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/13(月)の時系列メモ>(情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 所長)天候については昨夜から小雨が続いているが、特段液位に影響するものではない。これから曇りになるという状況です。プラントについては特記事項なし。

(1F 発電)1号機は、FDW系から5m³/hで注水を継続。圧力・温度は安定している。RPV底部ヘッド温度は100℃。SRV排気側温度は110℃である。

2号機は、FDW系から流量5m³/hで注水を継続。パラメータは安定している。

3号機は、FDW系から流量11.5m³/hで注水を継続。RPV底部ヘッド上部温度は現在139.2℃で140℃前後で安定している。

56号機は冷温停止中です。原子炉の冷却を継続しており、パラメータは安定している。

(1F 復旧)2号機立坑からプロセス建屋への移動は継続実施。3号機 T/B 地下からプロセス建屋への移送は昨日17時に停止している。

各水位の昨夜からの変化量は、1号機は変化なし。2号機はT/Bが8mm下降、トレンチが11mm下降です。3号機はT/Bが22mm上昇でOP3810、トレンチは14mm上昇でOP3824です。4号機はT/Bが6mmで上昇しOP3798です。

作業としては、3号機 SFP への注水ですが、FPCラインで9:30～11:30で実施予定。原子炉への注水ラインのポリエチレン化については本日水張り、リークチェックを実施する予定。明日繋ぎ込みを実施する予定。

56号機ですが、6号機 T/B 地下滞留水移送は10時～16時で20 m³/hで6時間移送して合計120m³移送予定。5号機 R/B において、T/B貫通部から水の流れ込みに対する処置の準備作業を行います。

(1F 土木)本日は3,4号開閉所付近ガレキ撤去、野鳥の森周辺のクリコートを継続実施予定。2号機スクリーン角落とし設置、取水口のカーテンウォール撤去を実施する予定です。また、津波対策は引き続き防潮堤設置を行う。

(1F 建築班)1号機のカバーリングに伴うクローラクレーンの組立、走行路の整備、3号機 R/B 内でガラ撤去。4号機 SFP 下部補強ですが支柱の組立、プロセス建屋開口部のコンクリート打設、HTI 建屋では間仕切り解体を行う予定。

(1F キリンチーム)本日は4号機 SFP への外部注水を16時～21時で150t(ヒドラジン含む)予定している。明日も外部注水を予定している。2日間かけて満水にもっていく予定です。

(1F 滞留水チーム)(書画による説明)

セシウム除去装置の状況を報告します。この系統は6個のスキッドから成っております。ろ過水を通水し、ポンプの起動状況など確認試験を実施している。これ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

まで、定格流量までスキッドに通水できることを確認できており、制御プログラム修正後を行いながら、全体の仕上がりを確認していく。

その後、凝集沈殿装置、その他設備との取り合い試験を行い、低レベル水による試験を実施していく予定。

凝集沈殿装置については、全体に海水を張り、ポンプによる水のくみ上げ、タンクの水位調整などの確認試験を実施しております。本日はこのような連動試験を継続することと、連動試験が終われば薬液を注入して薬液の凝集の状態を確認するようなステップに入っていきます。その後、全体装置との組み合わせ試験、最終的には低レベル水、高レベル水でこの設備の機能を確認するステップを踏んでいく。淡水系につきましては基本的には性能確認は終わっているの、上流側の設備はワンスルーの試験ができる状態です。

(原子力復旧班 [REDACTED])

2号機局所排風機運転後のダスト測定を実施したが、セシウム、ヨウ素とも下がっている。最新データはお昼過ぎには入手できるので、その結果を見て報告徴収に使うデータをどれにするか NISA と相談する予定です。

(1F吉田所長)ハッチ開放時には当然モニタリングを実施していくが、そのとき現場作業をストップする必要があるのか検討してほしい。

(原子力復旧班 [REDACTED]) 了解しました。

(武黒フェロー) 作業が輻射しておりますが、作業安全と確実に進めるということをお願いします。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F所長) 本日、全面マスクのフィルターを付け忘れた作業員がいた。約2時間程度現場にいたとのこと。現場のダストを計ったら法定よりかなり下で、WBCで計測しても大丈夫であったが、基本動作のためしっかりやっていきたい。チームで対応するようにお願いしていきたい。

1号機H/Wに2号機の高レベル汚染水を送るために、1号機のH/Wの水を抜く予定。1号機T/Bに落とされたところR/Bの水位が上がった。それにより、1号機R/Wに水が流れて2号機R/W→2号機T/Bへ流れて水位が上昇したものと考えられる。今後、受け入れ先を多くしておきたい。

(1F発電) 1号機は、FDW系から5m³/hで注水を継続。温度、圧力は安定している。RPV代表点温度は104℃、SRV排気側温度は110℃程度。

2号機は、FDW系から流量5m³/hで注水を継続。パラメータは安定している。

3号機は、FDW系から流量11.5m³/hで注水を継続。代表点RPV底部ヘッド上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

部温度は、現在138.4℃で安定。

6号機の滞留水の移送は継続して実施している。

(1F復旧)2, 3, 1号機の順番で、明日11時から13時で原子炉注水ラインのポリエチレン化工事を実施する。

5号機R/Bオペフロの結露対策工事を実施している。

6号機の滞留水移送を120m³移送した。明日は流量を絞って、6時間で60m³移送予定。

(1F土木)ガラ撤去と飛散防止剤散布は継続して実施している。2号機スクリーンの角落としと津波対策の土嚢設置を継続して実施している。

全面マスクのフィルターを付け忘れた件について、今後、作業員同士の指差呼称などで再発防止対策をしていきたい。

(1F建築)1号機のカバーリング準備作業は、物揚場にてクローラークレーンの組み立てを実施する。1号、3号のガラ撤去は継続。4号機SFP下の補強は、支柱の組み立てを継続して実施する。滞留水関係では、プロセス建屋で開口部のコンクリート打設及びHTI建屋で間仕切りの撤去を完了した。

(1F キリンチーム)4号機SFPへ16:36からヒドラジン入れて約150注入する予定である。明日も同様に実施する。

(1F滞留水移送チーム)3号機T/Bからプロセス建屋に明日午前中に移送する。

(1F 滞留水処理チーム)凝集沈殿装置について海水を循環させる運転を定格流量で行ったが問題なかった。今晚、薬液を封入して、調整運転を実施する。セシウム除去装置について各系列の運転を実施中である。各系列を実施したあとに、全体の試験を実施する。当初、15日の予定であったが、数日くらい遅れる。

(1F保安班)本日、マスクのフィルターを着用しなかった作業員が作業していた現場のダストはヨウ素:検出限界未満、セシウム134/137: $1.6 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$ とマスク着用レベル未満だった。またWBCの結果は $2.3 \times 10^{-3} \text{mSv}$ となり内部取り込みは無しと判断される。

(本店復旧班)(資料で説明)滞留水の移送先について説明を実施した。3号機は6月26日までもつ(あふれないということ)。2号機は6月25日までもつ予定。今後どこにどれだけの移送先があるが、確認している。

(本店滞留水処理チーム)(資料で説明)6号機から仮設タンクへの移送を実施してきたが、1万tを超えるレベルである。なお、タンク容量は12200t程度である。6号機の滞留水の増加量は80~240t/dayである。今後、6月15日から処理装置を稼動して、メガフロート(8000t)に移送していく。滞留水の増加量から7ヶ月程度もつ予定である。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

2, 3号機の海水循環型処理装置について、50%の除去効率だったものが、30~数%程度に低下した。原因は、油が入口側のフィルターについていたことより、ゼオライトに油が付着したためと考えられる。上段を油除去装置に変えることを検討している。

(本店復旧班)(資料で説明)1点目、2号機R/Bダスト濃度についてはこちらのとおり。下がったり上がったりしているため、様子を見ていきたい。退避については、環境影響評価を見て評価していく。

2点目、17:20、3号機SFPの代替冷却装置の報告徴収について、6月15日迄に報告するよう頂いた。報告項目は2号機と同様である(耐震性、冷却能力、漏洩防止等)。報告徴収後にユニットを設置して、6月下旬から運用をしたい。

3点目は6月15日に1号機R/B大物搬入口で除染試験を実施したいと考えている。高圧ジェットや掃除機、ポリッシャーなどを確かめ、どれが効果的か確認する。

(本店復旧班)キリンで4号機SFPへ注水しているが、手すりにジグをつけて放水したいと考えている。明後日にホースを敷設して、16日に設置し注水試験を実施する。

(本店保安班)厚生労働省からの指示により、3月中の内部被ばくについて2365人分の評価結果をプレスした。今後、精密測定をして評価していきたい。

(本店保安班)本日午後3号機R/B屋上で空気の採取を実施した。1, 4号機とやってきたが、3号機も実施した。明日分析結果が出るので報告する。

(本店 部長)厚生労働省へ報告した。WBCが終わっていない残りについては来週報告するように指示を受けた。250mSv超えは作業に従事させないように指示をうけた。

(2F)6月8日油漏出した件について、原因と対策を紹介する。原因は高起動変圧器から油が漏れたためである。原因は高起動変圧器から防災タンクに油を排出したが、そのタンクの健全性確認のため水を排水したところ油も合わせて排水してしまったためであった。排水路に0.5m³漏えいし、海に漏えいしたのは0.01m³と評価される。

(OFC)キュリオンとアレバの浄化作業が遅れるとのことだが、6月15日と資料に記載してあり、そのように考えてきたが出来なくなったということか？また、ゼオライトの性能低下により数値目標も全く達成できないと見ているのか？

(武黒)キュリオンとアレバの単体試験を行い、明日から3日間+α程度と考えている。6月15日と比べ約2日程度遅れるものと考えている。性能低下については、海水循環処理装置の話で、系統の設備の試験は今後していく。処理装置の性能は今後確認していく。

(OFC)6月22日の目標に対しては、全く問題ないということでもいいのか？

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(武黒)全く問題ないとはいえない。努力する。

(OFC)6月15日の目標が達成できないのであれば、きちんと報告すべき。

(武黒)詳細な点検をしていく上で、現時点で2～3日遅れると申した次第。申し訳ない。

(Jビレッジ)T ホークが7～14時に飛ぶ予定。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/14(火)の時系列メモ> (情報班)

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 所長)天候は曇りです。夜中は小雨が降っていたが、特段液位等に影響を与えていない。作業では原子炉注水ラインの配管信頼性向上のため(ポリエチレン化)切り替えを行う。そのため、10分～15分程度注水停止となる。

(1F 発電)1号機は、FDW系から5m³/hで注水を継続。圧力・温度は安定している。RPV底部ヘッド温度は97℃。SRV排気側温度は110℃で数日安定している。

2号機は、FDW系から流量5m³/hで注水を継続。パラメータは安定している。SFP水温度は32℃で安定している。

3号機は、FDW系から流量11.5m³/hで注水を継続。RPV底部ヘッド上部温度は139℃と140℃前後で安定している。

注水ラインの切り替えは11時～13時で予定している。

1号から3号のプラントパラメータが安定した状態が長く継続していることから、原子炉への注水量を絞ることを検討している。これについては本店と時期・注水量を調整して、後ほど改めてその結果を報告したい。

56号機については、6号機で引き続き滞留水を仮設タンクに移送します。

(1F 復旧)2号機立坑からプロセス建屋への移送を継続実施。

各水位の昨晚からの変化量は、1号機は変化なし。2号機はT/Bが6mm下降、トレンチが9mm下降した。3号機はT/Bが12mm上昇、トレンチは12mm上昇した。4号機はT/Bが11mm上昇した。

本日は、10時から3号機T/B地下滞留水をプロセス主建屋に移送する予定である。

作業関係では、注水ラインの切り替えですが、11時から2号機→3号機→1号機の順に切り替えていく。56号機ですが、6号機T/B地下滞留水移送は10m³/hに流量を絞って10時～16時まで合計約60m³移送予定である。

(1F 土木)本日は3,4号開閉所付近ガレキ撤去、グランド周辺・正門周辺免震棟周辺などへの飛散防止剤を散布予定。2号機スクリーン角落とし設置、1～4号機のカーテンウォール撤去を実施する予定である。また、津波対策は引き続き防潮堤設置を行う。

(1F 建築班)1号機のカバーリングに伴うクローラークレーンの組立、走行路の整備、1号機大物搬入口付近、3号機R/B内でガラ撤去を実施する。4号機SFP下部補強ですが支柱の組立、プロセス建屋で型枠解体、HTI建屋では間仕切り解体を行う予定である。

(1F キリンチーム)本日は4号機SFPにヒドラジン入りで約150t・満水まで注水

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

する予定である。注水開始は 16 時から 4 時間強。

(1F 滞留水チーム) (書画による説明)

1号機 H/W から CST 間に移送ラインを設置する。環境影響評価に問題がなければ、明日にも滞留水の移送を考えている。

[試運転状況報告] (書画説明)

本日 3:45 からセシウム吸着装置の低レベル滞留水による試運転を実施している。試運転の過程で、セシウム吸着装置入口のポンプの吸込圧力低下によりポンプトリップが発生している。これは他のポンプとの流量バランスに問題がある。そのため、流量バランスを調整しており、その作業は午前中で終わらせたい。その後、接続部の滲みが発生した部分について最終的な手直しをしてインサートビスするための準備を整えていく。

凝集沈殿装置では、薬液注入装置から薬液を入れ、薬液の調整(均一化)を継続して実施していく。

[試運転工程に関する書画による説明]

本日 3:45 から(10³レベル)低レベル滞留水によるセシウム吸着装置の試運転を開始し、流量バランス調整を午前中に終了させる予定。その後、滲みが発生した箇所について手直しを実施してインサートビス、インサートビス後のリークチェック(リークがあつたら再手直し)を明日の夕方までかけて実施する。

アレバの除染装置、凝集沈殿装置は、昨晚の 21 時から起動準備として薬品を入れて均一に混ぜることを明日の昼くらいまでかかる見込み、明日のお昼からアレバの除染装置の試運転を行い、セシウム吸着装置とのセットの運転を実施。その後 6/16 に RO 膜を含む淡水装置と水処理装置の全体の連続運転を考えている。6/17 には(10⁶レベル)高レベル滞留水の水処理を実施したい。

(原子力復旧班) 2 号機建屋環境改善対策に伴うダストの昨晚のデータは全体的な傾向としてセシウムは低下、ヨウ素には十分低いレベルでのバラツキが見られる。最新データは本日 6 時のもので、その結果を基に環境影響評価に使うデータを選定する。

1uR/B カバーリング工事に関するプレスリリースを行う予定(計画の概要、本体工事の着手)。また、3、4 号機の準備工事が始まる旨も併せてプレスする予定。大まかな工程としては、今月末から建屋の上にあるガレキ撤去、7月上旬にカバーのベースの設置、7月の中旬以降、本格的な鉄骨、パネルの設置をしていく予定。また、きちんとカバーリングできるか確認するために仮組みの作業を小名浜港で進めている。

工程の目標としては、9 月末だがなるべく前倒しすることを目標に計画している。

(1F 吉田所長) 昨日 250mSv 超えに 6 人追加となったことをプレスで初めて知った。特に保安班の連絡が非常によろしくない。これはぜひ改善していただきたい

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

い。プレスを聞いていると十分なモニタリングができていなかったというコメントがなされているが、3/11・12 という状態が本当に十分なモニタリングや管理ができた状態であったかどうか、よく考えて報道に望んで欲しい。ああいう報道を聞くと現場の人間がやる気を無くしてしまう。被ばくした人が、そのときどんな気持ちで仕事をしていたか、そういう(状況配慮)のが全く感じられない。ああいう報道の仕方を続けていくのなら、我々は(作業員を)ここから出さしてあげますよ。(保安班 [REDACTED]) サイトには大変ご迷惑をおかけしました。大変申し訳なく思っています。以降気をつけます。

(OFC: 田島政務官)

福島第一の発言、(1F 吉田所長と)同じ思いで見ている。なぜ、そのようになったのか説明してほしい。

(本店広報班) 昨日の夕方、厚生労働省に報告した。記者側の情報入手が早く、記者側からの質問で一部そういうやりとりがあった。

(武黒フェロー) 事前にサイトとの調整がなされていなかったとの所長の指摘もありましたので気をつけて対応してください。

(本店 広報班) 今後気をつけてまいります。厚生労働省に提出すると、すぐに(記者たちが)もってこいというので…、記者から求めがあって、…

(1F 吉田所長) 厚生労働省にもっていったら、言われるのは当たり前だ。だから事前にサイトに言えということだ。

(武黒フェロー) 基本は、やっぱり実際の状況の中での思いと出し方をどうするか本店で考えねばならない。本部全体としてそういう思いで対応するというところで一緒に考えていきたい。

熱中症の問題もありますので、安全第一で、確実に作業を進めていただきたい。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 所長) 特記事項、信頼性向上のため、1、2、3号機注水ライン切替えを行いました。その後のプラントデータ安定。小山田・原子力安全委員会委員が来所したので対応しました。

(1F 発電) 1号機は、FDW系から 4.9m³/h で注水を継続。圧力・温度は安定している。RPV底部ヘッド温度は 97℃。SRV排気側温度は110℃程度で安定している。

2号機は、FDW系から流量 5m³/h で注水を継続。パラメータは安定している。

3号機は、FDW系から流量 11.3m³/h で注水を継続。RPV底部ヘッド上部温度

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

は135℃と若干下がり傾向。2号だけ、注水ラインの切り替えに伴い流量を調整しました。

56号機については、引き続き6号機で引き続き滞留水を仮設タンクに移送します。

(1F復旧)2号機立坑からプロセス建屋への移送を継続実施。

各水位の1号機は変化なし。2号機は今朝からT/Bが2mm下降、トレンチが8mm下降した。3号機はT/Bが8mm下降、トレンチは2mm下降した。4号機はT/Bが2mm上昇。3号機のT/B滞留水移送を10:05より実施しています。明日、1号機のH/WからCSTへの移送を実施予定。SFP代替装置のホースの付設を行います。

56号機ですが、6号機T/B地下滞留水移送を10時から16時で60m³移送実施。メガフロートへの作業も順調です。

(1F土木)本日は3,4号開閉所付近ガレキ撤去、グランド周辺・正門周辺免震棟周辺などへの飛散防止剤を散布しました。2号機スクリーン角落とし設置、1~4号機のカーテンウォール撤去を実施しました。また、津波対策は引き続き防潮堤設置を継続して実施。明日も継続。

(1F建築班)いずれも継続。特記事項なし。

(1Fキリンチーム)本日は4号機SFPにヒドラジン入りで約150t・満水まで注水する予定である。明日は代替注入設備の作業があるので、キリンを西門付近へ移動します。

(1F滞留水チーム)(書画による説明)

2,3号機からプロセス建屋へ移送しているが、16日早朝に上限の管理値に近づくので停止予定。1号機H/WからCST間への約400トン、明日実施予定。

(滞留水処理チーム)(書画説明)

本日3:45からセシウム吸着装置の低レベル滞留水による試運転を実施しており、本日14時に終了。弁操作で安定的に運転できることを確認した。

水のサンプリング、水処理開始前と本日の通水後の各種分析の結果、ヨウ素で10の1乗、セシウムが10の3乗で、除染係数が10の3乗でした。にじみはシール溶接等で処理しています。凝集沈殿装置では、薬液の調整(均一化)を継続して実施していく。順調にいけば、明日午前中に終了予定。その後、セシウム吸着装置と凝集沈殿装置を併せた試験を実施。

(本店復旧班:滞留水移送チーム・XXXXXXXXXX)2号について、ほぼ予定通りの線の上に沿っている。明後日止めるとのことだが、その後水位の上昇状況を監視してみたい。シミュレーション上は、今後HTIに入れていくことを考えているが、3号の状況を見て判断。2号に使うか、3号につかうか、それとも処理が進み全く使

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

わないか決めていく。3号、今朝からプロセスへ送っているが、今のところシミュレーション通り。

高温焼却建屋については傾向変化なし。放射能レベルは、明日データが出てくるので採取後報告。

(本店復旧班: [REDACTED]) 2号機建屋のダスト濃度最新がとれたので報告。セシウム安定、ヨウ素若干上昇。効果について、ヨウ素についての判断は難しいが、後半の数値は低いので、それなりにあると評価しても良いと考える。ヨウ素ばらついているので、保守的に13日の14:00のデータをつかって環境影響評価を行いたい。

(本店保安班: [REDACTED]) 昨日プレスした被爆線量評価状況について、説明不足で改めてお詫びします。本日再度説明したい。

内部被爆について、体内摂取量から吸い込んだ日以降の50年間に受けるであろう放射線の影響を合算して内部被爆量としている。250ミリというのは、一度に被爆したものでなく、50年間の累積値が250ミリであるということ。これに外部被爆が50ミリであれば、合計300ミリとなっている。吸い込んだ日(作業開始日)というのが重要で、今回は3月12日ということと推定して一時評価しており、これが最大と言える。仮に、3月21日に吸い込んだとすると内部被爆量は約半分となる。今回は一次評価なので、今後ヒアリングして特定を進める。

内部被爆250ミリ超えた東電6名とあるが、これは事故当日の大混乱の中で懸命に復旧にあたっていた運転員、保守員の方です。高い内部被爆になった原因については、マスクの着用状況等を現在調査中です。二次評価はJAEAにて実施予定。吸い込み日の確定により人数は減る可能性あり。

そして外部被爆と合算した時に、東電8名となる。

(広報班) 本件についての報道振りと、放射線広報についての現在の取り組みについて説明します。【書画にて説明】

朝日新聞が一面トップであるが、地元紙(福島民報等)は2面でそれなりの受け止めではなかったか。放射線広報の状況については、毎日会見や、HPでの情報提供を行っており、それなりの評価を受けている。その他、週刊誌、月刊誌 w 等にて適宜情報発信を行っている。幅広く取り組んでいることを理解願いたい。

(1F吉田) 今朝の全体会議の質問はそういうことではない。毎日の広報で後手後手に回っているんじゃないかということ。そこを改善してくれ。

(OFC田島) 1F吉田の指摘と同じ。なぜ、現場が最初の情報をNHKで聞くことになるのか。全体会議の場で悪いニュースを共有すべき。また、先ほどの広報の説明、どういう趣旨・意味か。東電の意志が反映した本ということか。紹介している意味は。

(広報班) 放射線の本については、ICRPの内容を踏まえて、正しい情報をジャ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

ーナリスト、有識者の方に理解していただこうと執筆いただいております。

(OFS田島)東電の意志が働いているということか。誤解されないか、そういうことをすると。まさに、東電がやると中立性を欠いていると認める中でそのようなことを行うのは。

(広報班)客観性を期待しているということ。

(OFC)わかんない。

(武黒)今の指摘、ご心配の点、十分考えなければならないこと。放射線を含めて広報のあり方が問題となってくると思うので、本部としてよく考えて取り組んでまいりたいと思う。中立性、客観性ということについても我々が過剰に介入したような形にならないようにするという配慮も努力が必要。

(OFC田島)それよりも申し上げたいのは、こういう会議で早く情報が伝わっていない現状、これが国民が一番不審に思っている元凶ではないか。

(本店武黒)よくご指摘を踏まえていきたいと思えます。広報だけでなく、全体で。

(本店保安班・■■■■)

放射線のことを多くの方へお伝えすることは本当に難しいと思っている。人に与える影響はどうか、わかりやすく伝えることに努力。

昨日測定した福島第一、3号機建屋上空の雰囲気分析結果が出たので、速報としてお伝えする。【書画にて説明】

さきほど、2号の建屋で1/100~1/1000の範囲の値を一生懸命下げようとの話があった。3号の屋根の上は、それよりも1/10という測定結果を得た。この値は1km西に離れた敷地で計った値に比べると100倍高いもの。これらは過去に1号、4号でも行ったが、それよりも少ない値と認められる。原子炉の損傷状況の概要の一部を表すデータではないかと考える。測定点に対する風向き等で変わるので、今後、解析を進める。総論として、現在、福島第一原子力発電所の中の空気に含まれる放射性物質は1ccあたり1/100ベクレルであり、この値から、1/10、1/100、1/1000、1/10000と一万倍に渡る濃度の放射性物質が福島第一原子力発電所の中にあると想定している。今後はこの測定値が下がっていくとくことで、住民の方が20kmにお帰りいただけるということをわかりやすく、評価を続けていきたいと思う。どうぞよろしくお願いいたします。

(本店・武黒)大事なサンプリングだと思います。正確、客観的でなくてはいけないので、要求に応えられるようなサンプリングの仕方を進めてください。

(本店・武黒)先ほどの情報共有のあり方については、本部でも、全体の問題としてよく考えて対応に活かしていきたいと思う。ご指摘ありがとうございました。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/15(水)の時系列メモ>(情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 所長) 天候は晴れです。本日1号機 H/W から CST への水移送を午前中に実施する予定です。線量が高いので十分気をつけて作業するが、作業に支障を来すレベルであれば作業を中止します。

(1F 発電) 1号機は、FDW 系から $5\text{m}^3/\text{h}$ で注水を継続。圧力・温度は安定している。RPV 底部ヘッド温度は 97°C 。SRV 排気側温度は 109°C で安定しています。

2号機は、FDW 系から流量 $5\text{m}^3/\text{h}$ で注水を継続。パラメータは安定しています。

3号機は、FDW 系から流量 $11.5\text{m}^3/\text{h}$ で注水を継続。RPV 底部ヘッド上部温度は 132°C と若干低下傾向を示しています。

1号機原子炉への注水量ですが、本店と相談して $0.5\text{m}^3/\text{h}$ 減少させて $4.5\text{m}^3/\text{h}$ に流量変更することを考えております。10 時頃に流量変更を行う予定です。

56 号機については、6 号機で引き続き滞留水を仮設タンクに移送します。

(1F 復旧) 2号機立坑からプロセス建屋への移送を継続実施。3号機 T/B 滞留水をプロセス建屋への移送を継続実施。

各水位の昨晚からの変化量は、1号機は変化なし。R/B については 4cm ほど低下しております。2号機は T/B・トレンチ $9\sim 10\text{mm}$ 程度下降した。3号機は T/B・トレンチは $8\sim 10\text{mm}$ 程度上昇した。4号機は T/B が 6mm 下降した。

1号機 H/W から CST への水移送は 9:30 頃から準備作業に入ります。

線量が高いので十分気を付けて作業いたします。

その他、1号機 RPV 代替冷却システムの遮蔽の組立、SFP 代替冷却システムの地組、2号機は局所排風機運転継続、3号機は SFP 代替冷却システムのケーブル布設、4号機は SFP 緊急注水設備のホース布設を予定しています。

56 号機については、6 号機滞留水を仮設タンクに移送します。本日 10 時～16 時にかけて平均流量 $10\text{m}^3/\text{h}$ で移送する予定です。

エリアの H,I,J のタンク廻りでタービン(滞留水)の浄化装置のリークテストを本日午前中から実施する予定です。5号機 CS 角室(A/B)の水が抜けてきたので、貫通部の防水・保温の取り外し関係の作業を実施します。

(1F 土木) 本日3号機 R/B 大物搬入口付近のガレキ撤去を予定しておりましたが、かなりヤード作業が輻輳していることから調整した結果、休工いたします。飛散防止剤散布作業は、1・2号機超高压開閉所周辺、正門周辺免震棟周辺などに実施する予定です。2号機スクリーン角落とし設置を継続して実施し、明日から3号機側を実施します。また、津波対策は引き続き防潮堤設置を行います。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(1F 建築班) 飛散防止剤散布作業は本日休工いたします。1 号機大物搬入口付近、3 号機 R/B 内でガラ撤去を実施します。3 号機 R/B1 階北西の建屋内のサーベイを実施する予定です。その他は継続作業です。

(1F キリンチーム) 本日放水の予定はありません。昨日 4 号機 SFP への放水を行いました。16:10~20:52 にかけて実施し、放水量は約 150t です。

(1F 滞留水チーム) (書画による説明)

T/B 水位は十分低下、プロセス建屋の上昇については、シミュレーション通りに推移しており、プロセス建屋への 2,3 号機からの移送の停止は明日朝方の予定は変わっていないというふうに判断しております。

[試運転状況報告] (書画説明)

凝集沈殿装置において、薬液の調整を本日午前中に終了する予定です。12 時以降、試運転を実施いたします。また、20 時頃セシウム吸着装置との連動試験を実施する予定です。

セシウム吸着装置は昨日試運転時の滲みに対する処置は終わっているため、本日は連動試験の準備作業を行います。

(原子力復旧班) (書画による 1 号機注水量変更に関する説明)

注水量 6m³/h から 5m³/h に流量変更後、一旦上昇後崩壊熱の減少によりゆるやかな低下傾向し安定的な挙動を示している。

そのような中で流量をどの程度絞れるのか検討しました。

4 月下旬に実施した流量増減試験時の圧力挙動をモデルを用いて評価した結果、注入量に対するバイパス量(炉心に影響を及ぼさずに格納容器に漏れいする量)が、10m³/h に対し 4m³/h、6m³/h に対し 3m³/h という評価が得られている。この結果から注水量を減少してもバイパス量が増加することは考えられないことから 5m³/h 以下のバイパス量は 3m³/h でなので、3m³/h を最大のバイパス量とする。

4/2 時点では 6m³/h に対し崩壊熱相当量は 3.1m³/h であり、余裕分は 2.9m³/h あった。現在の崩壊熱相当量が 1.5m³/h である。余裕分が 3.5m³/h (=5-1.5)となる。崩壊熱の減衰に基づく評価で 0.5m³/h の余裕がある。この結果から、0.5m³/h 減少させることが可能と考える。流量変更後圧力温度パラメータの監視を行って参りますが、上昇傾向が顕著の場合は 5.0m³/h に戻す対応をしたいと考えています。

(武黒フェロー) きめ細かい管理を発電所をお願いすることになりますがよろしく願います。

(1F 吉田所長) 了解しました。

(武黒フェロー) 本日も安全第一で確実な作業をお願いします。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 所長)最初にお詫びを申し上げます。物場場のところで、クレーン操作員が操作室内で全面マスクを外し喫煙しているのを当社監理員が確認した。本件に関しては企業さんに厳しく是正するお願いをした。ヤード関係作業に関し、放射線管理上の注意が足りないというところがありますので、明日安推連で再徹底をいたします。ご迷惑をおかけしました。

プラントについては、1号機で炉注水量を 5m³/h から 4.5m³/h に絞ったことによるプラントパラメータの大きな変化は認められない。

1号機 H/W から CST への移送は継続実施中(明朝まで)。表面線量は 3mSv/h で想定範囲内であった。

(1F 発電)1号機は、FDW 系から 4.5m³/h で注水を継続。圧力は安定している。17 時の RPV 底部ヘッド温度は 97.9℃で若干の上昇が見られた。RPV 廻りの温度は全般的に約 0.5℃程度上昇している。SRV 排気側温度は 110℃程度で安定している。今後も継続して推移を監視していく。

2号機は、FDW 系から流量 5m³/h で注水を継続。パラメータは安定している。17 時現在 RPV 底部ヘッド上部温度は 107℃、SFP 温度は 31℃で安定している。

3号機は、FDW 系から流量 11.5m³/h で注水を継続。17 時の RPV 底部ヘッド上部温度は 131℃と緩やかに低下傾向を示している。

56号機については、6号機で滞留水を仮設タンクに移送しました。

(1F 復旧)2号機立坑及び3号機 T/B からプロセス建屋への移送を継続実施しております。明朝早い段階で移送を停止します。

各水位について1号機は変化なし。2号機は今朝から T/B・トレンチが 5～7mm 下降した。3号機は T/B・トレンチは 5～7mm 下降した。4号機は T/B が 6mm 下降した。1号機 H/W から CST に 10:33 から移送を開始している。表面線量は 3mSv/h で問題ないレベルで移送継続。明日午前中に H/W の水がほぼ抜けるということなので、その後2号機 T/B から1号機 H/W への滞留水移送準備としてフラッシングの準備を行います。4号機 SFP 緊急注水装置のノズル吊り搬入、リークテストを行ったのち、注水並びにヒドラジンの注水を予定しております。2号機 R/B 局排ですがダクトに水が溜まってきているということで水抜き作業を実施する予定です。放射能レベルも問題なく、水量も1トン未満ということで RW/B と T/B に排水する予定です。その他は継続です。

56号機ですが、6号機 T/B 地下滞留水移送を 10時から 16時まで 10m³/h 移送実施。浄化装置の L/T を実施。明日から数日間はチタン関係のタンクと配管のろ過フラッシング系を実施する予定です。6号機 HPCS-D/G 室から 6号機 RW に 11:55～14:00 まで約 15t 移送しました。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(1F土木)本日のガレキ撤去はヤード調整により休工しております。その他は継続作業を予定通り実施しました。明日も引き続き継続作業となります。

(1F 建築班)ガラ撤去は1号機 R/B 西側外部及び3号機 R/B 内部を実施しております。4号機の SFP 下の補強工事も鋼材の支柱組立を継続で実施しました。明日も継続で実施します。1号機クローラークレーン組立中、操作室での喫煙により作業を中止しております。走行路の整備のみ作業実施。明日も走行路の整備のみ実施します。喫煙した作業員の方ですが現場操作室の放射能濃度は検出限界未満、WBC で0.24mSvと問題ないレベル。放射線教育の再教育を実施していきます。

(1F キリンチーム)本日放水は実施しておりません。明日、代替の放水設備を設置、テストランを実施する予定です。

(1F 滞留水チーム)

2, 3号機 T/B 建屋水位は、昨日のシミュレーション通りです。明日早朝に2,3号機からプロセス建屋への移送を停止する予定です。

(書画による説明)本日は凝縮槽沈殿装置の試運転を13:10から継続して実施しております。あと1~2時間で終わる予定で進めており、その後セシウム吸着装置との連動試験に入ります。

これが終われば淡水装置を含めた全体の浄化運転を実施し、17日には高レベル滞留水処理を行っていくスケジュールです。

(本店復旧班: ■■■・■■■)3号機 SFP の循環冷却装置の報告徴収、本日16時保安院に提出。2号機局所排風機でダクト内に水が溜まっていることを確認した。明日排出する。その手順を説明します。溜まり水は温度差によって発生した結露水である。ダンパ閉操作後にダクトを切り離して排水します。排水先は T/B タイライン室から T/B 地下へ落とすのと、または RW/B のファンネルに流すことを考えている。作業に当たっては2系統ある局所排風機を1系統ずつ停止して排水を行う。

(本店復旧班) (1号機 R/B カバーリング工事の施工方法を模型で説明)

建屋を覆うカバーのうち、屋根部には排気ダクト、内部には照明、カメラ及び非常時用のプール注水配管を予め取り付けられている。施工方法は小名浜 CC で地組されたピースを物揚場からクレーンによって組み上げていく。被ばく量の低減対策として極力原子炉建屋に近づかないような施工法にしている。

建築の鉄骨の建て方ですと柱の接合は通常ボルトで止めるが、今回はカンゴウ結合で行う。

スケジュール的には今月下旬から周辺ガラ撤去、ベース設置、7月中旬頃になります。柱・梁の設置、壁・屋根の組立を実施していく。

(原子力復旧班) (書画説明: 電源関係)

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

275Kv 大熊線 2L 停止に伴う所内電源切り替えについて説明。現在 1,2 号開閉所の建屋の壁に穴が空いており雨が降り込んでいる状態。建屋の修理を行い雨水の浸入を防止する。6/20～6/26 に建屋の修理を行う。その準備として 6/19 電源切り替えのため停電する。負荷は SFP 注入装置、SFP 代替冷却装置、N2 供給設備、2号機 RW 移送に関係するもので、停電時間は 3 時間半程度を予定している。大熊線 2L を停止させて作業を行い、大熊線 3L から電源を供給する。

6/27 には同じように実施。時間は調整中。同じく 6/27 に 1号機 SFP 代替冷却設備とカバーリングの電源のために変圧器を設置します。そのため、N2 供給設備が 13 時から 17 時にわたり 4 時間停電となる。

(2F) 協力企業からの報告ですが、昨日健康診断でレントゲンで結核と見られる方が確認された。磐城共立病院で医師の診断によると結核であることが確認され入院している。感染の拡大の可能性があるかを調べるハイキンという検査があるが結果が出るまで数日から半月かかる見通し。保健所からの連絡を待つて対応していく。この方はバスの運転手とのこと。

(武黒フェロー) 今後のこともありますので、本店 厚生班とも連携して対応してください。

(2F) 承知しました。

(武黒フェロー) 今後もまた引き続き作業を行われる方、安全第一で確実な作業をお願いします。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/16(木)の時系列メモ> (情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 所長) 天候は今晴れているので熱中症対策をしっかりしたい。3号機 T/B からプロセス建屋移送は停止した。1号機 H/W から CST への移送については、継続していて10時くらいまで実施する予定。その後、2号機 T/B 立て坑から H/W への移送準備を進めていく。4号機の SFP への注水について代替設備の設置準備に取りかかる。

(1F 発電) 1号機は、FDW 系から 4.5m³/h で注水を継続。圧力・温度は安定している。昨日 10:06 に 5m³/h から 4.5m³/h に変更した。RPV 底部ヘッド温度は 98.1℃。SRV 排気側温度は 111℃で安定しています。

2号機は、FDW 系から流量 5m³/h で注水を継続。パラメータは安定しています。RPV 底部ヘッド温度は 107℃、SFP 温度は 31℃で安定している。

3号機は、FDW 系から流量 11.5m³/h で注水を継続。RPV 底部ヘッド上部温度は 130℃と安定している。

5,6号機として、双葉線の設置工事を実施する。

(1F 復旧班) 1号機 H/W の移送を停止する予定。

1号機 T/B 水位は変化なし、R/B 水位は 35mm 低下した。2号機の水位は 9mm 低下、立坑で OP3663mm。3号機の水位は 8mm 低下、立て坑水位は 3822mm。4号機水位は 6mm 低下、OP3803mm。

4号機 SFP のノズル搬入及び L/T、その後ヒドラジンを含め注水を実施する。

2号機 R/B 局排ダクトの水抜きを実施する。

大熊線1, 2号機のガイセンポンプの T/R を実施する。

6号機 T/B 地下滞留水の仮設タンクへの移送について10時から16時まで実施する。仮設タンク (H) (I) (J) のうち (H) タンクについて濾過運転を実施し、浄化する作業を数日する。

6号機 HPCSD/G 室の滞留水を昨日移送したので当面移送する予定はない。

(1F 土木) 飛散防止剤散布について、旧事務本館前、濾過水タンク付近にて実施する。ガラ撤去は継続して実施する。カーテンウォールの撤去については 5, 6号機を開始する。

(1F 建築班) 飛散防止剤散布作業は本日実施しない。1号機 R/B 西側、3号機 R/B 内部のガラ撤去を実施する。4号機 SFP 補強工事を継続して実施する。1号機 R/B カバーリング工事を継続して実施する。

(1F 水移送チーム) 2, 3号機 T/B からプロセス建屋への移送を停止した。プロセス建屋 OP5100mm である。2, 3号機の水位については継続して監視する。

(1F 滞留水処理チーム) 昨日開始した凝集沈殿装置の試運転について13:10

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

から20:35まで実施した。その後、セシウム吸着装置及び凝集沈殿装置の試運転を22:40から0:20まで実施し、連動させた試験及び単体試験共に問題無かった。また、0:20にバルブを切り替えて、処理した水を貯蔵タンク側に流し込む浄化運転を開始し順調に運転中。淡水化装置側への通水について水をためてから実施するので正午過ぎになる見込みである。今後、本格運用の実施時期を評価していきたい。現工程よりも早められそうだが、詳細については別途報告する。

(本店復旧班)2号機 R/B 環境改善についての報告徴収に対して、報告書を提出した。影響評価の結果と今後のスケジュールについて、夕方の会議で紹介する。

(本店保安班)6月10日、250mSv を超過した人が2人いたことに対するプレスを実施したが、線量が高めの人1人いたことについて6月10日放射線医学総合研究所精密検査をしており、暫定値という形で報告を受けている。暫定値なのでプレスはしないが口頭で伝える。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 所長)天候は曇りで、明日未明から雨の予想となっている。注視していきたい。

移送関係について、2、3号機の移送は終了している。1号機H/WからCSTの移送への移送は10時前に終了している。2号機縦坑から1号機CSTへ移送する段取りをしており明日実施する。

4号機SFPへ代替放水設備を実施し注水を実施している。

(1F 発電)1号機は、FDW系から4.5m³/hで注水を継続。圧力・温度は安定している。RPV底部ヘッド温度は98.7℃。SRV排気側温度は111℃で安定しています。

2号機は、FDW系から流量5m³/hで注水を継続。パラメータは安定しています。RPV底部ヘッド上部温度は106℃、SFP温度は31℃で安定している。

3号機は、FDW系から流量11.5m³/hで注水を継続。RPV底部ヘッド上部温度は131℃と安定している。

5,6号機として、RHR系による冷却を実施している。

6号機T/B地下移送について日中のみ実施した。

(1F 復旧班)1号機H/WからCSTの移送を完了した。

T/B水位については特に大きな変化はない。

4号機SFPへの注水についてはヒドラジンも含めて注水を行った。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

2号機R/B環境改善工事として、局所排風機A系、B系の水抜き作業を実施し現在インサービスしている。

6号機T/B地下滞留水の移送について、10時から16時まで移送を実施している。

(1F土木)飛散防止剤散布及び共用プール前のガラ撤去は継続して実施している。カーテンウォールの撤去については1, 2号機及び5, 6号機にて実施している。

(1F 建築班)1号機 R/B 西側、3号機 R/B 内部のガラ撤去を実施している。4号機 SFP 補強工事について支柱組み立てを継続して実施している。1号機 R/B カバーリング工事についても継続して実施している。また、明日のカバーリング工事については750tクレーンの組立を実施する。

(1F 水移送チーム)明日、2号機縦坑から1号機H/Wへの移送を実施する。午前中にL/T及び遮蔽設置をし、午後から移送をする予定。

(本店復旧班)淡水化装置について、12:30インサービスした。SPTの水を使って、油処理装置、キュリオン、アレバへの移送を行っている。SPT(B)の水を午前中処理するが、下限に近づくと思われる。その後集中R/Wの滞留水に切り替えて、本格的な処理を開始する予定。試運転のなかで、セシウム吸着塔に6スキッド設置されているが、セオライトでセシウムをとるのはうち4つのスキッドである。そのスキッドの中にポンプが2台ずつ設置されており、1台運転、1台予備である。その、運転中のポンプから水が漏れていると報告があったので、予備機と切り替えて、点検か2台確保している予備との交換作業を今晚実施する。

放射能濃度については、東芝の油分離装置を使い吸着性能を上げる予定があるが、津波のときの海水成分により1桁近く悪くなるだろうと予想している。そのため、 10^5 程度と予想している。

(本店復旧班)2号機への移送が停止され、(水位が)シミュレーション通りか若干下目と考えられる。1号機R/B側水位は下降が続いていて、若干寝てきているが、もう少しすれば寝てくると思われる。3号機は同様に移送が停止され、水位上昇が若干きつくなっている。受け入れ側の水位はほぼ、ぴったし止まっている。

HTI側の水位変動はない。また、HTI通路でボーリングをし調査をしたが、通路側から漏れている情報は確認されなかった。

(本店復旧班)3号機SFP代替冷却について、報告徴収に基づきNISAへ報告を行い、妥当と評価をもらった。

また、2号機 R/B 環境改善についての環境影響評価が出たので説明する。放射性物質の濃度と被ばく線量について評価を行った。8時間東向きの風で風下でどの程度影響あるか評価した。なお、この条件は拡散しにくい条件である。6

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

月13日14時の濃度を用い評価したところ、敷地境界における3ヶ月平均濃度は濃度限度を下回っていると評価された。また、実効線量と空間線量についても十分低い値であった。R/B解放時には環境モニタリングを風下で行う。敷地内で1地点、敷地外で5地点のモニタリングを計画している。

エアロックを開放する時間帯については、作業員の退避は必要ないと考えているが念のため夜間実施する。また開放日は19日を予定している。前日には通知したい。

(保安院)2号機の環境影響評価についての報告書については、現在評価を実施している。また、3号機の冷却システムについては、今後システム設置や運用について現地にいる保安検査官が必要に応じ確認をする。

(本店広報班)朝日新聞の夕刊一面トップにベントや注水が難航していたことについて当社内部資料から確認された記事が出ている。当社スタンスは、現在事故の調査を行っているところであり、結果が纏まり次第お知らせしたいというスタンスである。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/17(金)の時系列メモ> (情報班 ■■■)

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 所長) 天候は曇りです。朝方弱い雨が降っていたが全体に影響を及ぼすものではない。プラントについては2号機立坑から1号機 H/W への移送を本日午前中に準備し、午後より開始を予定している。水処理関係については■■■さんの方から説明してもらいます。...

<水処理チーム:■■■> 昨日浄化運転を開始していたがセシウム除去装置のポンプからの漏水、容器の遮へいの内側に溜まり水があることを確認しました。セシウム除去装置のポンプについては昨晚交換を実施し水張りまで完了している。容器の水たまりは、原因は水素ベント用配管にラプチャーディスクが付いていますが、過大圧によりそれが破れたことにより水が配管から漏えいしたものと確認されたので、取り替え作業を実施している最中です。

昨晚19:30にシステムを停止しましたが、昨晚1:50には凝集沈殿装置をインサースし低レベル水の処理を実施しています。セシウム吸着装置を修理後、本日11:00～13:00かけて、系統、水張り、運転確認、インサースに入っていく。この作業のためには凝集沈殿装置を停止します。その後、13:00～15:00に凝集沈殿装置のインサースをしながら、2台運転に変えていくスケジュール。二つの装置の連動運転が可能な状況になりましたら、本格的な運転を行うためのポンプのテストランを行いまして、全体として高レベル水の処理は17時目途に進められるように準備しております。

本日、事故調査検証委員会(第一班)の視察が午後から予定されておりますので対応いたします。

(1F 発電) 1号機は、FDW系から4.5m³/hで注水を継続実施中。本日8時時点でRPV底部ヘッド温度は98.6℃で安定しております。

2号機は、FDW系から流量5m³/hで注水を継続実施中。本日8時時点でRPV底部ヘッド温度は106℃、SFP温度は31℃で安定しております。

3号機は、FDW系から流量11.5m³/hで注水を継続実施中。本日8時時点のRPV底部ヘッド上部温度は129.6℃で僅かではあるが低下傾向を示している。

56号機側ですが、6号機T/B滞留水を仮設タンクに移送予定です。

また、水処理装置(17時～)の稼働確認後、炉注水の水源を一部淡水化装置に切り替える操作を実施します。現在、トータルで21m³/h注水しているが、このうち淡水化装置の処理水10m³/hを炉注入に使用する。作業する時間(暗くなった場合)によっては、実施しない場合もある。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(1F 復旧班)

2号機立坑から1号機H/Wへの移送を本日実施いたします。3号機SFPへの注水を45ト(ヒドラジン含む)実施します。また、炉注水の水源切替操作を実施する予定です。6号機では仮設タンクに10m³/hで10時～16時まで移送します。2号機環境改善、局排機継続してインサービス中です。

(1F 土木)

本日はグラウンド周辺の飛散防止剤散布、共用プール周りのガラ撤去、1、4号機、5、6号機カーテンウォール撤去作業を継続で実施します

(1F 建築班)

1号機R/B大物搬入口付近、3号機R/B1F内部のガラ撤去を実施します。4号機SFP下部補強では支柱組み立て、1号機カバーリング工事では750トクレーンの組み立て、走行路の整備を継続で実施します。

(本店 保安班)

本日午後に、保安院に250mSv越えに関する原因・対策の報告を行う予定です。報告書にはマスク・メガネ着用に関すること、また、今週発生した全面マスクのフィルタ付け忘れ、喫煙などについても記載しております。本日夕方プレスを予定しております。

(武黒フェロー)発電所と共有しながら進めてください。

(2F)吉田所長からもありましたが、本日事故調査委員が来所します。11時頃から2Fでの説明・視察を予定しており、14時頃1Fでの視察を予定しております。

(武黒フェロー)対応の方宜しく願います。

(武黒フェロー)作業に当たっては十分落ち着いて、時間を守ることより、確実に進めるようにしてください。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 所長)本日の天候は降りそうで降らない曇りでした。

18:40に事故調査検証委員会の方々がJビルッジに向かいました。現場をしっかり見てもらい、説明を行いました。

本日、2号機立坑から移送を行ったが、ポンプ調子が悪いため、明日別のポンプにより再開する予定です。

(1F 滞留水移送チーム)セシウム吸着装置を13:00に再起動し、運転を開始しました。凝集沈殿関係を15:47に起動しました。この二つの装置で低レベルのタンクの水処理を再開している。16時半から保安検査官に設備状況の確認をしてもらい、本格運用前に問題のないことを確認してもらっている。現在は本格運

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

用開始と言うことでポンプの準備をしています。もう間もなく起動できると思います。本格運用後はプロセス建屋の高レベル廃液を処理し、淡水化处理を行って原子炉に戻します。

(1F 発電)1号機は、FDW 系から 4.5m³/h で注水を継続しており、圧力・温度とも安定しています。17時現在の RPV 底部ヘッド温度は 98.8℃、SRV 排気側温度は 111℃です。

2号機は、FDW 系から流量 5m³/h で注水を継続しており、パラメータは安定しています。RPV 底部ヘッド上部温度は 106℃です。SFP 温度は 31℃で安定している。

3号機は、FDW 系から流量 11.5m³/h で注水を継続しており、安定しています。RPV 底部ヘッド上部温度は17時で 129.5℃です。

6号機タービン建屋滞留水のタンクへの移送を継続しています。

(1F 復旧)2, 3号機の移送を停止したことに伴い、水位は若干上昇しています。2号機立坑から1号機 H/W への移送は後ほど説明します。水位関係は、2, 3号機は上昇しており、2号機タービン建屋、トレンチは 15mm 上昇し、トレンチで OP3723 です。3号機は 8~9mm 上昇しており、トレンチで OP3849 です。1号機タービン建屋は変化なく、R/B は 12mm の下降です。4号機は 9mm 上昇して OP4824 です。

本日は3号機 SFP に 49tヒドラジンもあわせて注水を行っています。

明日は4号機にみずはにより 100t、ヒドラジンもあわせて注水を行う予定です。

6号機タービン建屋滞留水のタンクへの移送は、明日も10時から16時に行う予定です。その他作業は継続です。

(1F 土木)飛散防止剤散布は継続です。ガラ撤去は共用プール前を実施しました。1, 2号機および5, 6号機前のカーテンウォール撤去を実施しました。

(1F 建築)飛散防止剤散布は4号機 R/B にて実施しました。明日で1~4号機の作業が終了します。その他作業は継続です。

本日、不具合が1件発生しました。1号機カバーリングの作業員二人のいざこざで片方が鼻出血となりました。その際、マスクが瞬間的にはずれましたが、すぐに装着しました。医師による処置を行い、出血は止まりました。その場所のダストは問題ありませんが、念のため小名浜にて16時半に WBC を受検しています。

(1F 滞留水移送チーム)2号機からの移送を C ポンプにて14:20から開始していましたが、水が流れていないので中断しました。原因については、モータは回っており、電流もメガも健全なので、ポンプか移送つなぎ目に問題があると思われます。2号機立坑には4台のポンプがあり、明日 C から D に切り替えて、午前中に移送を再開する予定です。

(本店復旧)2, 3号機タービン建屋の水位状況について、2号機ポンプ停

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

止により上昇傾向であるが、緩やかになっています。炉注入量に見合った上昇になっている。R/B 側の水位はサチっている。3号機はほぼシミュレーション通りです。浪江のアメダス上は、降水量は0でした。HTI については、大きな傾向変化がなければ報告を割愛します。

(本店環境改善チーム)2号機の環境改善の報告書について、保安院から妥当との判断を頂きました。原子力安全委員会から助言が3つでています。1つ目は、周囲の作業員への周知と環境への影響を低減すること。2つ目は、環境モニタリングを行い適宜報告すること。3つ目は、2号機 R/B、T/B 周辺に高濃度ヨウ素が溶け込んでいるので作業員の被ばくの低減を図ること。環境改善について地元の説明を行っており、明日も引き続き実施します。

ダスト濃度について、昨日の昼頃、吸排気ダクトの水を抜いて、20時のデータを取りました。そのデータとそれ以降のデータを比べると数値は低下しており、データの信憑性は低いと考えられます。ダスト濃度を12時間おきにとり、継続して監視を行います。

(本店復旧)先ほど追加して HTI の変更の報告徴収を提出しました。

(本店復旧耐震)5/16に地震のデータの報告を行い、18日に指示文書もらいました。一つは発電所の地震時の揺れについて、2、4号機の建屋と関連機器の揺れを報告しました。7/29までに1、3号機、8/11までに5、6号機および2Fの報告を行います。もう一つは地震観測記録の中断について、他の装置の調査をすることです。本日は2、4号機の揺れと地震観測装置の調査を報告しました。

2号機建物の揺れについては、耐震壁のひずみがあったが、弾性範囲なので問題ありません。主要な設備については、シミュレーション結果は一部 Ss の応答を上回っているが実力的に問題なく、安全機能に問題はありませんでした。

引き続き1、3号機、5、6号機、2Fの評価を行います。

(本店武黒)1、3号機を加えて全体の評価となるということですね。

(本店環境影響評価チーム)明日、シマウマ1号で4号機上部のダストサンプリングを行います。飛散防止剤散布もあるので、その前後で測定してその効果を確認します。

(本店保安)本日、2名の線量限度超過に関する原因と再発防止対策を保安院に報告してプレスしています。推定原因は中操MCRが効かない状態、限られた時間内での対応、マスクの選択、ヨウ素剤、飲食をせざるを得ない状況にあったことです。また、職員Aはメガネのこめかみのところに隙間があったこと、職員Bは高濃度の場所で作業を行ったことがあります。

(本店武黒)限度超の方へのケアが大切となります。

(本店保安)医療班とともに定期的な健康診断を行います。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(本店武黒)排水関係の報告がないので、会議をブレイクしますが、重要な設備に関する事なので、関係者は待機しています。

作業を継続される方は作業品質の確保に努めてください。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/18(土)の時系列メモ>(情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 所長) 天候は曇りです。今日の予報では、雨は降らない。プラントとしては、3号機T/B建屋地下階からHIT建屋への移送を実施する予定。昨日停止致しました2号立坑から1号機 H/W への移送については、ポンプの調子が悪いということで、別のポンプを手配し、また2号立坑から1号機 H/W への移送ラインを今日、明日で整備する予定。先に、水処理の状況について、[REDACTED]さんから説明致します。

(滞留水移送チーム [REDACTED]) 滞留水移送チームから水処理の状況について説明致します。昨晚20時から水処理装置を使用した高レベル滞留水処理を開始致しました。昨晚、セシウム吸着装置の最初の入り口部分にある油・テクネチウム除去用スキッドの表面線量率が約4.7mSv/hまで高くなるということが確認できています。もちろん、この設備自体は、使用していけば線量が高くなるが、予想以上に早いタイミングで線量率が高くなったということで、水処理装置全体を停止しています。その間、線量以外のパラメータや漏洩検出器の値は異常がなかったということ、ITVでこの装置が置かれているエリアの監視をされていて異常がなかったこと、停止の後に部屋を確認して異常がないことを確認しています。その後、系統内をフラッシングして、低レベルの水を流したところ、線量としては約半分の約2mSv/hまで低下しているということです。装置に高レベルの水が入ってきて、当該箇所を通るようになっていたのですが、入口でスラッジ等の成分が捕獲されて線量を上げてしまっているということ、またスキッドの近くに高レベル水が流れる配管が通っていて、配管の線量も測定値に含まれている可能性もありますので、そういったところを今後調査していかなければならないと考えている。今後の対応としては、線量が高くなっていることに関して、時系列でどのような上昇傾向にあるのか？スキッドの表面線量の分布がどうなっているのか？そして、装置近辺の配管線量との関係、想定した線量上昇と現状との違いなど原因調査を行っていく。また、入口で捕獲されているスラッジ等を考慮した運転方法(パイパス運転、凝集沈殿装置前に置いているセシウム吸着装置を凝集沈殿装置の後ろに置いてみる等)を検討していく予定。

(広報班) この状況(装置停止)については、6月18日0時54分に停止し、パラメータに異常が無いことや漏洩検知警報が発生していないことを6月18日7時33分にマスコミへ連絡した。中央のマスコミには電子メール、福島地域には口頭で説明しています。また、11時の定例会見で報告する予定。

(本店武黒) 11時の会見内容については、みなさん関心が高いことなので、不明なことや今後検討していくことについては、水処理チームと連携して臨んで頂

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

きたい。また、実際復旧の目処がわからないので、T/B建屋側の水をどうするのか、移送先を考えておく必要がある。

(本店復旧)現場を把握した上で検討していきます。

(保安院)水処理装置全体を停止したということですが、フラッシングした低濃度の水は流し続けているという理解でよいか？

(1F所長)はい、結構です。

(本店武黒)全体運転は、継続ということによろしいですね？

(1F所長)はい、その通りです。

(OFC)停止する間にとりあえず何t移送できたのか？

(1F)25t/h×3時間で約75tです。

(1F所長)プロセス建屋の水位は、13mm下降している。

(本店武黒)移送量については、各建屋レベルとの相関を確認しておくこと。

(1F 発電)プラントパラメータについては、1～3号ともに安定しています。

1号機は、FDW系から4.5m³/hで注水を継続実施中。本日8時時点でRPV底部ヘッド温度は99℃、安全弁排気温度は111℃で安定しております。

2号機は、FDW系から流量5m³/hで注水を継続実施中。本日8時時点でRPV底部ヘッド温度は106℃、SFP温度は31℃で安定しております。

3号機は、FDW系から流量11.5m³/hで注水を継続実施中。本日8時時点のRPV底部ヘッド上部温度は128℃で安定し、引き続き継続監視している。

5,6号機側ですが、6号機T/B滞留水を仮設タンクに移送予定です。

なお、水処理装置の方は、現在ホールドとなっています。

(1F 復旧班)2号、3号の滞留水移送は、停止中です。2号機立坑から1号機H/Wへの移送は、ポンプ調達およびラインナップ等のため本日実施致しません。

3号機HTI建屋へ移送する予定で調整中。水位は、2号立坑で22mm上昇し、OP+3745mm、3号立坑で11mm上昇し、OP+3860mmです。2号T/Bで23mm上昇し、OP+3727mm、3号T/Bで11mm上昇し、OP+3846mmです。4号T/BはOP+3836mmで12mm上昇し、1号T/BはOP+4920mmで変化なしです。プロセス建屋は、昨晚から13mm下降し、OP+4997mm。その他作業については、3号SFP循環冷却装置について、トレーラーユニットを搬入。4号は、代替注水設備による注水(約100t、ヒドラジン含む)を予定。6号T/B滞留水移送については、本日も10:00～16:00で予定どおり実施予定。新たな作業として、5号機D/G(A)(B)の電圧変換器の部品取替を本日実施予定。

(1F 土木)飛散防止剤散布、ガラ撤去は、継続実施。1,4号機、5,6号機カーテンウォール撤去作業を継続で実施予定。

(1F 建築班)飛散防止については、4号機原子炉建屋約3200m²を予定。1号機カバーリング工事については、走行路の整備を継続で実施します。ガラ撤去

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

については、1号機R/B大物搬入口付近、3号機はR/B内部。4号機SFP下部補強では支柱組み立ては、昨日完了。HTI建屋外で壁撤去を実施予定。

(滞留水移送チーム)

2号立坑から1号H/Wやプロセス建屋への移送ラインは、昨晚21時30分までフラッシングして、線量を下げています。今日、明日にかけて2号立坑から1号H/Wへ移送するライン、プロセス建屋、HTI建屋への移送ラインの確立を図る。また、不調の移送ポンプCに代わり新しいポンプを入れる計画。また、本日午後、3号機T/B建屋地下階からHTI建屋への移送を予定。

(1F所長)福島県生活環境部の皆さんの立ち入りを予定している。Jビレッジで内容を説明中。10時20分から構内を視察予定。

(OFC)滞留水の除染処理の中で、低レベル水を循環しているとの説明があったのですが、75t処理した水を炉注したということか？

(1F所長)処理した水は、貯蔵タンクに貯まっているという状態です。

(OFC)線量が想定より早く上昇したとあったが、復旧の見込みは？

(1F所長)検討結果が纏まり次第、報告致します。

(OFC)いずれにしても停止する予定があったということか？

(1F所長)停止するタイミングは、線量4mSv/hとしていた。まだ、結論を言える状況ではない。

(本店武黒)想定では、セシウム除去用スキッドを予定していた。今後、移送先の確保も合わせて検討する必要がある。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(小森常務)水処理について関心が高いことから、発電所からの報告の前に、本店より状況を紹介する。

(部長)キュリオン社製のCs吸着装置の提示について説明します。プロセス建屋の地下より、まず東芝製の装置にて油を除去する。Cs吸着装置はSMZ、H1～H4、ATHの6塔で構成され、1番目と3番目の系列を使用している。放射性物質を吸着すると線量が高くなり取り扱いが困難になることから、取替基準について、4mSvになったら容器を取り替えることとしている。今回はSMZがインサービス後4～5時間で4mSvとなった。SMZは、ゼオライトの性能を落とし、油分を除去し、真ん中の容器では性能のよいゼオライトにてCsを吸着、最後の容器では別の物質にてヨウ素を除去する。10⁶レベルの濃い水を通したところ、一番最初の容器の線量が上がってしまった。対策として、アイデアは2つある。ひとつは、容器の中を空にすること、もうひとつはゼオライトよりも放射性物質を吸着しないもの、ケイ砂(一般の砂)と入れ替えるもの。ゼオライト、空、ケイ砂の

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

3つの通水のパターンを繰り返し、見比べて、適正なものを採用する。

(1F)空のベッセルは発電所に届き、取替の準備を進めているところ。

(小森常務)空の場合は、配管とベッセルの線量をよく監視すること。

(部長)空の容器には 10^6 の水が入ったらどうなるか、評価しながら検討することとしている。

(小森常務)発電所から報告をお願いします。

(1F)午後遅くに雨が降りましたが、小雨であり、滞留水に影響はなかった。また、1～3号機のパラメータも現在安定している。3号機 T/B の滞留水の HTI への移送を 13 時過ぎから実施している。

(1F 発電班)1号機は FDW 系より 4.5m³/h で注水しており、圧力・温度とも安定している。17 時時点で RPV 底部ヘッド温度は 99℃、SRV 排気温度は 111℃ で安定。2号機は、FDW 系から流量 5m³/h で注水を継続実施中。17 時時点で RPV 底部ヘッド温度は 107℃、SFP 温度は 32℃ で安定。

3号機は、FDW 系から流量 11.5m³/h で注水を継続実施中。17 時時点の RPV 底部ヘッド上部温度は 127℃ で安定している。4号機はとくになし。

5,6号機側は、6号機 T/B 滞留水を仮設タンクに移送した。

(1F 復旧班)13:31に3号機 T/B から HTI への移送を実施している。2号機は本日移送はなし、明日もポンプ、配管の手配をしているので移送の予定はない。2号機 T/B・立坑は 15mm 上昇し、立抗で OP3760。3号機 T/B は 2mm 下降、立抗は 2mm 上昇したが、11 時から下がりしていない。立抗で OP3862 である。4号機 T/B は 7mm 上昇し、OP3841。1号機 R/B は 5mm 下降し、OP4391 となっている。4号機 SFP は「みずは」にて注水、ヒドラジンを 0.8m³ 注入した。注水は継続中。

明日、大熊線 2L 停止に伴い、炉注ポンプの D/G 切替え、1号機 N2 封入装置は 4 時間停止の予定。詳細は明日の会議で紹介する。また、2号機で明日 20 時にエアロック開放、4号機 DSP 水張りの予定。

6号機の T/B から仮設タンクへの移送を 10時から 16時で明日も実施する。

(1F 土木)飛散防止剤散布、ガラ撤去は、継続で実施した。1～4号機、5、6号機カーテンウォール撤去作業についても継続で実施した。

(1F 建築)飛散防止については、1～4号機は完了。月曜日から 5・6号機 Y/D にて実施する。1号機カバーリング工事については、走行路の整備を継続で実施した。2号機大物搬入口コンクリート撤去、3号機は R/B 内部。4号機 SFP 下部補強では、明日コンクリート打設のための型枠を設置する。HTI 建屋外で壁撤去を実施した。

(1F 滞留水チーム)2号機立坑から 1号機 H/W への移送は、ポンプ不調のため、別の配管とつなぎ替えを行った。20日からの移送に備える。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(本店滞留水移送チーム)処理装置の停止に伴い、滞留水をどう処理していくか検討を行った。現在、3号機は HTI へ移送中。1号機 H/W ライン布設により、2号機 T/B からの移送を再開する。また、PM/B へは2、3号機から移送していたが、上の部分にも送れないか検討している。PM/B は、地下水位の差が 1.5m くらいあるの、もっと入れたいと思っている。また、焼却工作建屋、サイトバンカ建屋にも配管を布設、1 階に処理装置を設置しているところ。水を入れると2~3m Sv、線量があがると予想している。

シミュレーションでは、2号機は水位上昇傾向であるが、やや鈍ってきている。60mm/日であったが、実績を反映し、50mm/日としている。1号機 H/W、PM/B の上の部分、焼却工作建屋・Sb/B への移送により、OP4000 には7/3くらいに到達。HTI へ移送中の3号機も、OP4000 到達は、PM/B、焼却工作建屋等へ移送すると、7/4となる。現在、移送しても問題ないか、保安院と調整中。

(小森常務)しっかりと監視しながら、検討を進めて下さい。

(復旧班) 2号機 R/B 環境改善について、地元13市町村、漁業関係者への説明を実施したが、県への説明はこれから。エアロック開放時間の正式決定は、明日の9時の会議にて決定できればと考えている。

(OFC) 2重扉開放について、開け放しとなるのか。

(復旧班) 予定では、明日20時に微開とし、8時間後の朝4時ころ全開とする。ひとが入り出りできるように全開とする。微開時はセルフエアで入域するが、開放して湿度が下がれば全面マスクで大丈夫だと思う。温度、湿度、ダストを測定して確認を行う。明日朝、もう少し詳細なスケジュールを紹介する。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/19(日)の時系列メモ> (情報班 ■)

～全体会議～

9:00

(1F 復旧班) (資料で説明)セシウム除去装置が昨日不具合が発生した。セシウムを除去するスキッドについて、昨日夜8時に起動したところ、フィルターの線量が予想以上に急上昇した。そのため、旧来の SMZ をどけて、水を詰めたベッセルと砂を詰めたベッセルを用意し本日午後に運転してどのベッセルが良いか確認する。また、線量管理の見極めを実施する。

(小森) 旧来のものは75%で線量上昇があった。今度は50%でH1の上が見つかるのか？

(1F 復旧班) 旧来の SMZ2つと新品1つを用意して SMZ1つ隔離をし、3頭で実施する。1時間から1.5時間で4mSv/h～？。本日午後部分的な流量で状況を確認していく。どのベッセルの付着量が適切か見極めたい。

(小森) ベッセルは交換中か？

(1F 復旧班) 使用済みのものをプロセス建屋南側に置き終わったところである。新しいものを入れる予定。

(小森) 午前中くらいか？

(1F 復旧班) そのように予測している。なお、交換する1塔は隔離して、3塔だけで通水を開始する。今後は、新しいものの特性を取りながら監視していく。

(1F ■) 3号機 T/B から HTI へ明日の朝まで移送する。

2号機については(移送ラインのことと思われる)準備中でL/Tまで実施する。

3、4号機水位は低下、2号機は増加傾向である。

1～3号機のパラメータは安定している。

気温は雨の心配がないことから安心できる。

大熊線の2Lの電源切替え作業が始まっており、N₂注入ライン及びMPの電送ラインが停止する。また、13時より炉注入の電源をD/Gに切替える。

2号機の環境改善の件で、扉の開放を行うかジャッジをしたい。開放した際は、モニタリングに注意して作業したい。

4号機のウェルとDSピットの水張りを約90t実施する予定。

本日、体調不良者がでてしまった。発電所に入る前のミーティングの段階で体調不良となったとのこと。体調管理を十分に行っていきたい。

明日から反面マスクの運用をする予定。

水処理メンバーはがんばっているが不眠不休の状態であるのでローテーションを考えてほしい。

(1F 発電班) 1号機はFDW系より4.5m³/hで注水しており、圧力・温度とも安定している。RPV 底部ヘッド温度は99℃で安定。2号機は、FDW系から流量5m³/hで注水を継続実施中。RPV 底部ヘッド温度は106℃、SFP温度は32℃で

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

安定。3号機は、FDW系から流量11.5m³/hで注水を継続実施中。RPV底部ヘッド上部温度は125℃で少しずつ下がっている

6号機建屋の滞留水について移送している。

(1F復旧班)3号機T/BトレンチからHTI建屋へ移送を継続中。明日の朝迄移送する予定。

水位については、昨日17時より、1号機は変化なし。2号機はT/Bトレンチとも23mm上昇。3号機はT/B13mm下降、トレンチ9mm下降。4号機はT/B10mm下降した。

大熊線2Lの所内電源切替えを実施している。炉注入装置の電源については、午後からD/G切替えをする予定。1,2号機のコンプレッサー及びN₂注入が停止する。

2号機の二重扉開操作を20時からする予定。

4号機のウェル及びD/Sピットへの水張りを3時間で90tの予定。

6号機T/B滞留水の移送は10～16時で約60m³する予定。

(1F土木班)タンク設置、ガラ撤去、飛散防止剤散布は継続して実施する。カーテンウォール撤去は1～4号機側で実施している。先ほど発生した体調不良者はタンク関係の下請け作業員である。

(1F建築班)1号機R/Bカバーリングの準備作業を実施する。走行路の整備とグロウラークレーンの設置を継続して実施する。R/B大物搬入口周辺のガラ撤去を継続して実施する。3号機R/B1階南側通路のガラ撤去も継続して実施する。4号機SFP下部の補強工事も継続で実施する。

(1F水移送チーム)2号機縦坑から1号機H/Wへの移送ラインのL/Tを実施する。3号機はHTIへ移送している。

(本店復旧班)2号機R/B環境改善について昨晚福島県への説明が終了した。それにより、関係各所全てに説明が完了した。本日20時を目途に西側のエアロックの開操作を実施する。プレスは11時に実施する。そこでエアロックの開放時間と至近のダストから評価した環境影響評価を公表する。

エアロックの開放についてはダストの舞い上がりを防ぐため、山側(西側)エアロックを微開して徐々に空気を入れることとする。8時間キープし、明日4時に全開する。全開した後、人が入り建屋内の温度やダストサンプリング、内側大物搬入口の状態の確認を実施する。午後には、大物搬入口の開放作業を実施する。

(■■■■部長)水処理チームの応援について、現場の状況が厳しくなっている。そのため、協力企業殿へ手伝ってほしい旨お願いしている。設備管理部■■■■と■■■■殿へサポートの配置をお願いしたい。

(1F■■■■)専門側の人倒れるというのは一番のリスク。

(1F■■■■)4時の段階で開放度合いを変えるとあるが何か判断はあるのか？

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(本店復旧班)特に不要。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(1F)水処理の進捗状況について報告する。SMZのスキッド表面線量が上昇するとのことで対応しているが、入口で放射性物質を多く捕獲している可能性があるため、ゼオライト内容物の種類を変えて、昨日から本日にかけて圧力容器の交換を実施した。実際は中身として水だけを入れたもの、従来を入れているもの、シリカサンドを入れたものなどで上昇傾向を確かめる。システム全体の起動の再チェックを行い、間もなく注水を行う予定。結果は明日全体会議にお伝えする。

2号機R/B西側エアロック開放を20時に微開する。4時に全開にする。直後に1階に入城してダスト及び線量測定を実施する。

プラントパラメータは変動なし。

3号機のT/B滞留水についてHTI建屋に移送を継続している。

明日9時に地震と爆風の影響を受けた開閉所の修理のため、大熊線2号線を停止する。

(1F発電班)1号機はFDW系より4.5m³/hで注水しており、圧力・温度とも安定している。RPV底部ヘッド温度は99℃で、D/W中の温度は110℃である。2号機は、FDW系から流量5m³/hで注水を継続実施中。3号機は、FDW系から流量11.0m³/hで注水を継続実施中。RPV底部ヘッド上部温度は124.5℃で少しずつ下がっている。電源切替の影響で3号機注水量が若干少なめとなっている。

5,6号機はパラメータは安定している。

(1F復旧班)3号機T/BからHTI建屋への移送は継続しており、今晚水位を見て停止する。水位について、1号機は変化なし。2号機T/Bは16mm上昇、トレンチは20mm上昇、3号機T/Bは6mm下降、トレンチは5mm下降、OPは3848mmである。4号機は1mm下降である。

今日から明日にかけて、2号機で環境改善のため20時からR/Bエアロックを微開する。明日4時に全開とする。

2号機立て坑から1号機H/Wへの移送は明日から移送する。

大熊線2ラインの停止は電源切替したので明日9時に停止する。

4号機原子炉ウエル及びD/Sピットの水張は明日9～19時に行う予定。

6号機T/B滞留水の移送は本日10～16時で60m³移送した。明日も同様に移送する。

(1F土木班)タンク設置、飛散防止剤散布は継続して実施している。ガラ撤去、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

5箱撤去し、計321箱撤去した。3号機のスクリーンで2カ所角落としを設置終了した。カーテンウォール撤去は1～4号機側で実施している。本日、3名傷病者発生したが3名とも宿舎に戻り落ち着いている。

(1F 建築班)1号機 R/B カバーリングの準備作業を実施している。走行路の整備とR/B大物搬入口周辺のガラ撤去を継続して実施している。2号機エアロック開放後、明日大物搬入口の開放をするので、本日周辺のガラ撤去を終了した。3号機 R/B のガラ撤去も継続して実施した。

(1F 水移送チーム)2号機立て坑から1号機H/Wへの移送ライン設置及びL/Tを実施した。明日移送する予定である。

3号機は本日24時に水位監視しながら停止する予定。

(1F)朝伝えた、水処理の体制について、明日からサポートを頂けるとのことでありがたい。

(本店復旧班)環境影響の昨日の実績を速報でお知らせする。4号機のR/B上部でダストを12:30、14:30で2回サンプリングした。なお、飛散防止剤散布の前後でサンプリングしている。効果としては、特別差が出ているような状況ではなかった。

(本店復旧班)2号機R/B環境改善だが、現場に確認したところ予定どおり20時から入れるとのこと。今セルフエア装備等していると思われる。

微開の定義は、扉の開いた先端がくさびで22cm位隙間がある状態を示す。その根拠は、R/Bの体積が65000m³あるが8時間喚起することとし、1時間あたり8000m³と計算で求めたものである。

(本店復旧班)モニタリングの情報発信について説明する。

19時から線量率のデータ採取を始めている。現在3～6kmの範囲で電力支援チームと2Fのチームの協力で5地点で測定している。サイト内ではMPと西門付近で測定を実施している。ダスト採取もしていて、同様なチームで採取する。測定については、明日一杯予定している。結果は明後日以降報告する。

線量率は通常の連絡方法で行う。なお、気象データと線量率は1時間ごとに連絡する。

(OFC)エアロックだが、16億ベクレルと聞いているが、核種がどれだけという予想数値はあるか？SPEEDYによる予測は行うのか？行わないなら理由を教えてください。

(本店復旧班)放射性物質の量は、ヨウ素131、セシウム134、137の合計で1.6×10⁹ベクレルになると予想している。

(OFC)3種類以外の核種は出てこないのか？

(本店復旧班)分析をしているが、現状ガンマ線核種の代表的なものとして3核種で評価している。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(OFC)3種類以外は出ないのか？

(本店復旧班)分析結果について詳細な確認は出来ていないが、線量評価上重要であり有意になるものとして3核種を評価している

(OFC)それ以外何が出るのかよくわからないのか？

(本店復旧班)これまでの他の地点の結果からすれば、他の核種はほとんど検出されていない。

(武黒)明日の朝でよいから、データで説明すること。

(OFC)確認できていなくても開けるのか？

(本店復旧班)放出される他の核種はあると考えている。長時間かけて測定すれば微量な核種を確認できるが、今回のように測定時間が短いなかで分析していると判別できない。それは放射線測定の特徴であり、検出限界以下といわれるものである。つまり、検出されないが、放出されないということではない。緊急時マニュアルに記載されているものである。他の微量核種について確認しても、十分小さいものであるので評価する必要はないということ。

(OFC)よくわかった。

(保安院)SPEEDYを回して評価を行っている。

(OFC)いいです。

(武黒)R/Bエアロック開放時には連絡を密にすること。また水処理について、今後どうするか明日の会議で共有すること。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/20(月)の時系列メモ>(情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

(1F [REDACTED])2号機環境改善で二重扉の開放を実施した。20:51微開し、5時に全開した。水処理について、昨日 SMZ を3種類入れて試験を行った。

(1F)昨日20:48～20:51にかけて原子炉建屋へ入り、西側エアロックを微開した。松の廊下北側から2名入域して、西側エアロックを開けている。二重扉内側エアロックを全開し、外側エアロックを微開した。

R/B内に入域したが、入ってすぐマスクが曇ってしまった。湿度を測定したところ、99.9%であった。また、北側エリアのダスト測定をしている。

本日、朝5時に全開をした後に5:00～5:12にかけて社員4名で西側エアロックから入域した。湿度を測定したところ60～70%に低減している。なお、大物搬入口の湿度は滞留しているのか高かった。大物搬入口については、午後開を予定しており、開すれば湿度が低減すると思われる。なお、全開したあとにR/Bに入域したところ、エアロック開操作前と違いマスクが曇ることはなかった。床面については、濡れており滑りやすい状況であった。また、大物搬入口の緊急脱出口の開放を今朝行っている。

線量はR/Bで5～6mSv/h、入口付近で11.9mSv/h、機器ハッチ下で27mSv/hであった。

(本店)8時間の換気があったとのことで、モニタリングポストの線量率の結果を報告する。各地点とも線量率は横ばいで有意な変化は見られなかった。風向は西よりの風であった。

(1F [REDACTED])サイトのMPも有意な変化はなかった。

(1F滞留水処理チーム)昨日、セシウム除去装置の入口側圧力容器の充填物を変えながらの運転をしている。19:30運転を開始し、23:45まで運転した。充填物が水だけの場合は11.5mSv/h、従来のものは7mSv/h、シリカサンドは4.85mSv/h まで上昇した。フラッシングした後はそれぞれ0.40mSv/h、1.74mSv/h、0.36mSv/h となりかなり線量が落ちた。SMZの入口圧力容器がかなりの放射性物質を捕獲していたと予想していたが、水のみを通水により線量が上昇している傾向がある。昨晚のデータに基づき系統全体を定格100%で水を流しながら線量上昇傾向、フラッシング効果を確認し、上流側のフィルターに入れる充填物を何にするか運用方法を決めていきたい。

(1F [REDACTED])フラッシングをして線量が戻ることが確認できた。今後、運転方法を考えていきたい。

(本店復旧班)(資料で説明)フラッシングで下がることを確認できた。今後、交換頻度についての運用方法を決めていきたい。

(1F発電)1号機はFDW系より4.5m³/hで注水をしている。温度、圧力は安定し

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

ている。RPV底部ヘッド温度は99℃、D/Wの中の温度は111℃である。

2号機は、FDW系から流量5m³/hで注水しており、温度、圧力は安定している。

3号機は、FDW系から流量11.0m³/hで注水しており、RPV底部ヘッド上部温度は124.5℃で緩やかに低下しており、安定している。

8:58大熊線2Lの停止点検作業の設置線取付までを完了した。炉注水ポンプ負荷については昨日仮設ラインでの供給に切替えているので本日の停止はない。

(1F復旧)3号機T/BからHTI建屋への移送は0:02に停止した。

各号機の水位については、2号機は20mm上昇、3号機は10mm上昇、4号機は6mm減少だがこれから上昇に転ずると思われる。

2号機立て坑から1号機H/Wへの移送を午後から実施する予定。

大熊線の2ラインの停止を9時予定(停止したかは不明)。

4号機原子炉ウェルとD/Sピットへの水張を9~19時にかけて実施する予定。

5号機海水ポンプモーターが順調に組み立てており、今週末にT/Rが実施できる見込みである。また、原子炉建屋の環境改善は順調である。

6号機の滞留水移送は10~16時にかけて移送する予定。

(1F土木)タンク、飛散防止剤散布、ガラ撤去は継続して実施する

(1F建築)飛散防止剤散布については、5、6号機ヤード側で実施する。1号機R/Bカバーリング工事は継続で実施する。2号機の環境改善として大物搬入口の開放を2:30(14:30?)実施する。4号機プール下の補強工事を継続して実施する。3号機建屋内のガラ撤去及びT/Bのアーケードの撤去を実施する。

(1Fキリンチーム)マンモス2号の輸送を実施する。現在千葉県東金にあり、9:30出発し、小名浜CCに到着する。明日小名浜CCを出発し、1Fに到着屋頂到着する予定。その結果、1Fにはコンクリートポンプ車が合計6台待機することとなる。輸送には警察に先導して頂く。

(本店復旧班)水位の変動状況だが、3号機からHTI建屋へ約800t移送していたが、今朝移送が停止した。

2号機T/Bから1号機H/Wへの移送については、今日午後夕方くらいから約1000t移送する。

プロセス建屋ではさらに上の方に入れたいと考えている(プロセス建屋への移送はまだ余裕があると言いたいと思われる)。

焼却工作建屋及びサイトバンカ建屋の止水工事が終わっているので移送できる準備が整った。

2号機の水位は今朝方3820mmで今日の夕方17時には3840mmに達する見込みである。今後、復水器、プロセス建屋、焼却工作建屋及びサイトバンカ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

建屋への移送を考慮すると、OP4000mmに達するのが7月3日になる見込みである。3号機については同様に7月4日になる見込みである。

(本店復旧班)千葉工業大学からクインチというロボットを運ぶ。(動画鑑賞)

(2F)1Fの安定化センターについては2Fの緊急対策本部を使用する。そのため、2Fの緊急対策本部は移動する。

(OFC)フラッシングについて、想定していた理由が違っていたのか？それに伴い日程を見直すことを考えているのか？

(本店復旧班)放射性物質を補足していると予想していたが、実際の補足については長期間運転してどのくらいで吸着塔の交換頻度になるか予測してマニュアルを決めるということになるので、もう一回データを取ることで判断ができることになると思う。

(武黒)質問は時間がかかるのかということだが。

(本店復旧班)今日中に判断したい。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(1F ■■■)特記事項を紹介します。水処理関係はこの後■■■の方から説明させていただきます。プラントは安定しておりますので、今後炉注入量を絞れるかどうかというステップに入っていきたいと考えている。朝 5:00 時二重扉開放、14:30 に大物搬入口の開放をしました。

2号機立坑→1号機 H/W 1000m³ 移送します。13:37 から開始。

プロセス建屋の水位低下が確認され、移送に余裕ができました。

4号機 DS ピット水張りを明日まで継続して実施します。

(1F ■■■) (書画説明)

セシウム除去装置前段 SMZ スキッドの容器の内容物3種類について通水試験を実施した。10:45～14:45までの4時間通水(100%流量通水)。4時間通水による各々の線量は、①滞留水のみは14mSv、②SMZは15mSv、③シリカサンドは7mSvであった。フラッシング後(フラッシング停止2時間後)の線量は、①滞留水のみは2mSv、②SMZは8mSv、③シリカサンドは2mSvに低下した。高レベル滞留水の通水による影響が大きいのではと考えている。高線量配管が線量率計近傍に配置されていることも線量上昇の原因に考えられる。

系統のDF(暫定値)は10の5乗程度である。確定したら、報告します。

(本店) (書画説明)

線量上昇の原因は、高レベル水通水による影響とフラッシングで除去できないSMZで捕獲した放射性物質が影響しているものと考えている。今晚から、①滞留水2ライン、②シリカサンド2ラインでの100%流量通水試験を行い、今後の運

(非管理メモ)

本資料は、本部門卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

用を検討していく。また、サンプル水の分析評価を実施する。フラッシングの暫定基準 12mSv/h として、下流側 H ベッセルは容易に線量率が下がらないということで管理基準を従来通り 4mSv/h で管理する。

また、被ばく低減を目的としたベッセル交換時のフラッシングタイミングなども評価していく。

(1F ■■■) 今の方針で進めていきます。

(1F 発電班) 1号機は FDW 系より 4.5m³/h で注水しており、パラメータは安定している。RPV 底部ヘッド温度は 99°C で安定している。2号機は、FDW 系から流量 5m³/h で注水を継続実施中。パラメータは安定している。3号機は、FDW 系から流量 11.0m³/h で注水を継続実施中。RPV 底部ヘッド上部温度は 124.5°C で緩やかに低下・安定している。1~3号機の炉注水量の低減を現在本店と検討中です。0.5~1m³/h 毎の低減を予定。1,2号機は 3.5m³/h まで、3号機は 9m³/h まで徐々に絞っていく。明朝 10 時以降に流量低下操作を行います。

1号機作業で、LN2 タンクの配管を破損した。弁操作で窒素漏えいは止めました。今後ガス抜きを実施する。

5,6号機のパラメータは安定している。水素トレーラーですが 1~4号機 4台、5号機 3台ありますが、56号機の 1台目を除染が完了したので郡山に持っていきまして目標の 10000 以下を確認しております。今後順次実施していく。

(1F 復旧班) 各建屋の水位ですが、2号機は低下、3,4号機は上昇した。3号機立坑で OP3862 であった。

1号機代替冷却設備のトランス受電のため、N2 注入装置が停止します。12 時~17 時で予定しています。

2号機水位計監視用カメラ設置の事前調査のため現場に入城します。

6号機 T/B 滞留水移送を 10 時~16 時で 60m³ 移送しました。仮設タンクは満杯の状況ですので、明日以降一旦の滞留水の移送は停止します。

(1F 土木班) 継続作業を実施しました。

(1F 建築班) 2号機建屋環境改善で、R/B の大物搬入口開放を実施しました。14:20 に外側扉を、14:30 に内側扉を開放しました。作業員の被ばく線量は 2mSv でした。飛散防止剤を 5号機南東で実施、カバーリング工事は継続実施。1号機ガラ撤去では先ほど報告ありましたように配管を損傷させてしまいました。今後は養生を適切に実施した上で作業を行います。

(滞留水チーム) プロセス建屋の水位が低下したことを受け、3号機からプロセス建屋への移送を明日予定しております。

(キリンチーム) マンモス 2号を小名浜 CC に搬入を完了しました。明日 1F に到着する予定です。

(原子力復旧班・安全評価 T) 1~3号炉注水量を絞る件について、1, 2号につい

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

ではノズルの場所から、3号についてはアニュラス下部から炉に入っていると推定しているが、3号については不確定要素高い。従って、1~3号について優先順位は設けず、注入量を絞っていきたい。1, 2号は流量が少ないので、0.5m³づつ、3号は1m³づつ絞る。3号機については温度変化がこれまで見られるので、各ステップ24時間くらい時間をおいて進めることを考えている。

また、どんな状態になったら戻すかという点、3号機はRPV下部の温度計が上昇を示し平行に達しない状態になった時、1ステップ戻す。1, 2号機は、これまでの作業の挙動を異なった場合、1ステップ戻す。

(原子力復旧班・■■■■) 3号機のSFプールですが、先日のサンプルの際、PHが11.2 とやや高アルカリを示していた。3号のプールは大量のがれきがプールに入っているため、コンクリートからカルシウム分が溶け出してきたものと思われる。アルミの腐食が進むことが懸念されるので、今後、弱酸のホウ酸の注入を検討している。2%程度の濃度で、FPCラインを使って注入。今月26日、27日のプール水の注水に併せて実施する予定。効果の確認は、プールの循環冷却ができた際に確認する予定。

(原子力保安班) 内部被ばく関係の報告を厚労省、保安院に報告し、プレスしている。6月13日に報告したものの続報との位置づけ。3月に入域された方のうち、まだ確認できていないのは212名、連絡取れていない方が数十名いるが引き続き調査を進める。今回の報告は1次評価の位置づけであり、摂取日を3/12としており、ほとんどの方にとっては高めの数値となっている。よって、線量高い方は、JAEAにて精密に検査をしていただく。4月に入域された方については、6月末までに報告を求められておりますので、引き続き精力的に進める。

内部被ばく分布については、今回の報告にて社員1名が外部・内部ひばく合計250ミリを超えており、先日報告の8名を併せて9名となった。

(環境影響評価・■■■■) 2号開放に伴うモニタリングについて、お礼、お詫び及びお願い。

昨夜20時から今朝方にかけて、空間線量は極めて安定しており、作業に伴って環境に影響を及ぼしていることは認められなかった。そのことで、気が緩んだ点があったかもしれないが、今朝8時のデータで、双葉町の山田地区、発電所から北西に約5kmの地点、夜間の値 27.5 に比べ、45.0 と高くなっている測定結果があった。この結果について、私共に連絡いただいたのが午前中であったが、この数値の違いに対しての問題意識を深く持つことができずに放置してしまった。申し訳ありません。ただ、この45が観測された時点で、他の地点のモニタリングの値に大きな変更がないので、この 45.0 は別の地点で計測されたものではないかと推測している。今朝8時のモニタリングは夜とは別のチームが行っていたこと、実際に観測したチームに確認したところ、私どもが考えていた地

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

点とは30m違っていたことを確認した。これは私共の指示が誤っていた。当該地点は山林が近傍にあるので、もし、樹木の近くで測っていれば、そこに積もっていたものが検出された可能性がある。その点は、明日、明るくなってから現場の確認を行う予定である。私共の指示の誤りにより、変化が確認された時に、それに対する対応が遅延したことについて深くお詫びします。2Fの皆様には、明日、再度モニタリングをお願いしたい。

(本店武黒)環境への影響に関わるデータですので、十分に説明する必要あります。迅速に正確に。是非確実に。

(本店電気班)2号機の大物搬入口開放されたので、原子炉水位、圧力、D/W 圧力ようやく校正にとりかかる前提条件ができた。6/22に原子炉水位と原子炉圧力に取りかかりたい。格納容器圧力容器については、計器が2Fにあるので、サーベイをしながら作業可否を判断するが、6/23を予定。ともに計画線量は3m/SVとする。

(本店??班)福島第二に供給しております岩井線2Lの停止について。新福島変電所2号タンクの3次側から岩井線2Lが出ているが、3次側設備の一部の改修工事を行う。被災した避雷針の修理、所内変圧器の高圧装置の修理を行う。6/23の9時~17時を予定。この間、富岡1L、2L、岩井1Lの三回線供給となる。岩井線2L停止により、所内の停電は発生しない。DG6台、電源車17台も準備済み。

(OFC・田島)45の紙、もう一度出してください。27.5と45の話だけ言っていたが、その他の地点の数値が違うのはいいのか。

(本店・■■■■)この程度の変化はあり得ると考えている。ずっと位置を固定して測っている訳ではないので。27.5と45の違いは大きいので、何か特別な要因があったと考えている。

(OFC・田島)まだ原因はわからないということか。

(本店・■■■■)推測では、木が多く茂っている地点では木の葉に付着した放射性物質の影響を受ける例があったので、そうではないかと推測している。明日、27.5と45を測定した点、及び周辺について丁寧に測定し、明日、説明できるようにしたい。

(OFC・田島)では、現時点で、2号を開放したことにより27.5はだいたいいくつ位になると思っているのか。

(本店・■■■■)そんなに変わらないと思っている。ただ、検出器が変わったとか、多少の変化がでることも考えられる。

(OFS・田島)今まで27.5でやってきて、なぜ、昨日だけ同じ測定をしなかったのか。

(本店・■■■■)27.5の最初の測定時間は、6/19の19時より開始し、一時間ごとに

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

計測してきた。放射線の影響を受ける場所なので、作業員はサンプリング後交代し、現地を引き上げている。19時から7時までは同じ点で測定した。朝8時測定に行ったモニタリングは別のチーム、別の車で行った。

(OFC・田島) それをもう1回、今日の夜いくというのか。

(本店・■■■■) 本日はもう暗いので、明日の朝に実施。

(OFC・田島) それは明日のデータしか取れない訳ですよね。

(本店・■■■■) この地点は、毎週1回、空間線量を取っており、大きく線量が変わることはなく、同じ地点に行けばその値が出ると思う。また、山田地区の手前のモニタリング2カ所についても変動が認められていないので、2号の開放による影響はないと考えて良いかと。

(OFC・田島) 気が緩んだといっているが、よくわからない。一番外してはいけないところで外していますよね。本当に。

(本店武黒) 精密な測定とか、関係者の聞き取りとか、しっかりと対応をお願いします。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/21(火)の時系列メモ>(情報班 ■■■)

～全体会議～

9:00 (1F ■■■)プラントパラメータは安定している。そのため、10時から給水流量を0.5m³または1m³ずつ絞る操作を実施する予定。
2号機の滞留水について1号機H/Wへの移送を今夜まで実施する予定。
3号機の滞留水については、プロセス建屋に余裕ができたため、本日夕方から移送する予定。
1号機SFP代替冷却で電源工事があるため12時から17時までN₂供給が停止する予定。
(1F水処理チーム)(資料で説明)0:50に処理を開始したところ、7:20に凝集沈殿装置の中に濾過水を供給しているポンプがあるが停止した。そのため、凝集沈殿装置全体が停止している。また、それが止まることにより系統全体が止まっている。原因は確認中であり、状況がわかり次第連絡する。
また、セシウム(除去)装置が停止したことにより、状況を確認しながら、ベッセル交換の前倒しを検討していきたい。
(本店復旧班)アレバの装置が止まってしまったが、キュウリオンの装置の循環運転でフラッシングモードに入れるので発電所と調整して運用を決定したい。
(1F発電)1号機はFDW系より4.5m³/hで注水をしている。温度、圧力は安定している。RPV底部ヘッド温度は99℃。
2号機は、FDW系から流量5m³/hで注水しており、温度、圧力は安定している。
3号機は、FDW系から流量10.8~10.9m³/hで注水しており、RPV底部ヘッド上部温度は123℃安定している。
また、本日10時から1号機を4.5m³→4m³に、2号機を5m³→4.5m³に、3号機を10.8m³→10m³に変更する。温度の挙動がおかしい場合は元に戻す。
5, 6号機は冷温停止中であり、パラメータの変動はない。
(1F復旧)2号機立て坑から1号機H/Wへ移送を継続しており、夜まで実施する予定。3号機T/Bから集中R/Wプロセス建屋への移送を15時から始める。水位については、1号機は変化なし。昨日17時から2号機T/Bは53mm減少、トレンチは52mm減少、3号機T/Bは11mm上昇、トレンチは14mm上昇、4号機T/Bは6mm上昇している。3号機のトレンチはOP3876mmである。
1号機SFP代替冷却装置の電源トランス盤の設置で12時から17時までN₂供給装置が停止する。
2号機原子炉注水の監視カメラを〇〇する。そのため、R/B1階に入域し、環境測定、計装ラック前の調査、1, 2階の除染を実施する。
4号機はウェルとD/Sピットの水張を19時まで実施し、これでほぼ一杯となる。
5号機は6月24日の海水ポンプT/Rに向けて着々と工事を実施している。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

6号機は滞留水を10時から16時で60m³t移送する予定。これでほぼタンクが一杯になる予定。

(1F 土木)タンク、飛散防止剤散布、カーテンウォール撤去、テラポット、海上作業は継続して実施する。ガラ撤去は本日配管撤去準備があるので実施しない。

(1F 建築)飛散防止剤散布については、5号機T/B側で5900m²実施する予定。1号機R/Bカバーリング工事はクレーン組立、走行路の整備を継続で実施する。1、3号機のガラ撤去は継続して実施する。4号機プール下の補強工事を継続して実施する。HTI建屋のコンクリート打設を実施する。

(1Fキリンチーム)マンモス2号を小名浜CCから1F構内に移動させる。

(本店復旧班)2号機立て坑から1号機H/Wへ移送しているが、ポンプの性能が思ったより良く、想定よりも水位が下がっている。そのため、夜まで移送すると予定しているが、少し早めに一杯になると思われる。サイトで水位監視をお願いしたい。夕方前には終わると想定している。

3号機については、プロセス建屋の水位がかなり下がったので、夕方から移送を開始する。

(本店復旧班)2号機R/B開放に伴い、環境モニタリングを実施していたが、モニタリング地点が誤っていたことについて報告する。測定場所は双葉高校から少し進んだ山田地点で測定をする予定であった。電力支援チームは神社石碑前で測定をしていたが、朝8時に来た2Fのモニタリングチームは橋のたもとで測定をしていて、110mほど位置が異なっていた。本来は石碑の前で測定すべきであった。

橋のたもとから歩いて、5m間隔で再測定をした。その結果、50μSv/hを中心にと±5μSv/hであった。電力支援チームの測定した27.5μSv/hについては確認できなかった。石碑前の道路南側で45μSv/h、道路の中で30μSv/h、道路北側で36μSv/hであった。電力支援チームに確認したところ、道路北側の測定であったため、27.5μSv/hが36μSv/hに、45μSv/hが50μSv/hになる。それぞれの差は前回17.5μSv/h、14μSv/hと確認できた。原因は、電力支援チームは5月8日の1号機の際の地図を使用していたと前回経験者に確認した。2Fチームへの地図は簡単な地図であり、橋を目印にした。最初は同じ地図であったが、支援チームは詳細なものを使用した。

双葉から道路に向かう道路の写真ですが、道路の脇に雑草があるがそれが線源となっている。今後モニタリングの際は良く確認する。

(本店広報班)昨晚本店記者へ説明した。マスコミから状況がわかったらメールを欲しいとのこと。本日9時にメールをした。また福島事務所では9時の定例記者レクでも説明している。それらにおいては併せて水処理の件も説明した。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(1F 吉田) 雷と激しい雨があり、1号機の水位が上昇傾向がある。

1, 2, 3号機の炉注流量を下げた。パラメータに大きな変化はない。

2号機立て坑から1号機 H/W への移送は終了した。

3号機は水処理が順調のためプロセス建屋へ移送をしている。

水処理が順調であれば明日2号機からプロセス建屋へ移送する。

(1F 発電) 1号機は FDW 系より $4.5\text{m}^3/\text{h}$ (正しいのは $4\text{m}^3/\text{h}$ と思われる) で注水をしている。温度、圧力は安定している。RPV 底部ヘッド温度は 99°C 。

2号機は、FDW 系から流量 $4.5\text{m}^3/\text{h}$ で注水しており、温度、圧力は安定している。

3号機は、FDW 系から流量 $10\text{m}^3/\text{h}$ で注水しており、RPV 底部ヘッド上部温度は 124°C 安定している。

1～3号機の炉注流量について、パラメータに変化がなければ明日10時を目処にさらに絞り操作を実施する。

5, 6号機は冷温停止中であり、パラメータの変動はない。

(1F 復旧)

水位については、2号機が減少、3, 4号機は上昇傾向である。今後3号機はプロセス建屋への移送が始まっているので減少すると考えられる。

明日、1号機 SFP 代替冷却装置設置のため、R/BFPC 室に入域し調査をする。

2号機では仮設の原子炉水位計の取付作業をする。

4号機はウェルと D/SP へ明日8～15時で注水する予定。

4号機 SFP へ明日15時～20時で約150t注水する予定。

5号機 DGSW ポンプの T/R を明日実施する。また、ASW ポンプは M 単を実施する。

6号機の滞留水については明日 60m^3 移送する。それでタンクが一杯になると思われるので、メガフロートの手続きについて指導をお願いしたい。

(1F 土木) 作業について継続している。

(1F 建築) 飛散防止剤散布については、5号機 T/B 東側で 5900m^2 実施した。

明日は、6号機 T/B 東側について天候を見て実施する。

1, 3号機のガラ撤去は継続して実施している。

4号機プール下の補強工事については型枠組立を完了した。

HTI建屋のコンクリート打設については本日完了した。

(1F 滞留水移送チーム) 2号機プロセス建屋へ移送を明日午前中に実施する。

A, B ポンプ合わせて $20\text{m}^3/\text{h}$ である。なお、3号機についても $20\text{m}^3/\text{h}$ で移送

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

中である。合計40m³/hで移送する。

(1F 滞留水処理チーム)今朝7:20に装置が停止した。凝集沈殿装置の中に薬液を注入する設備があるが、そのろ過水ポンプが停止したためである。ポンプの循環ラインのバルブ開度調整がうまくいっておらず、負荷かかかき、過電流となってしまった。12:16再起動して安定して運転している。

セシウム除去装置関係は、定格100%で運転しており、4ライン通水している。1, 3番の圧力容器交換作業をした。系統フラッシングをしたところ1番は5 mSv/h から1mSv/h 以下となった。3番は3mSv/h から1mSv/h 以下となった。それぞれ、3時間のフラッシングを行った。明日2, 4番のベッセル交換及びフラッシングを実施する。本日 H スキッド作業について初めてであったが、今後効率的に行うように、作業状況を改善していく。

(1Fキリンチーム)マンモス2号が11:59に1F に到着した。

(1F 復旧班(本店長期冷却チーム))2号機で原子炉水位計の設置や N₂ 供給装置の設置をするため、本日原子炉建屋内に東芝と調査のため入城した。13:15~13:25の間に東電7名、東芝3名の体制である。計画線量は6mSv に対して最大 5.52 mSv、最小 2.16 mSv であった。3班に分かれて現場調査を行った。1班はまず南東階段を調査したところ、階段上部で24mSv/h、温度21℃、湿度56%であった。階段下りにつれ、体感でも温度が高くなってきたことを感じた。水は赤茶けた汚い水であった。窒素封入接続先としてFCSテスト弁Bラインの線量をはかった。はしご下で42mSv/h、上ったところで33mSv/h であった。そのまま歩いていって北西階段を下りて階段下の線量を測定したところ430 mSv/h であった。南西階段と同じ位置に水がきていて、同じ赤茶けた水であった。

2班は計装ラック前の線量を測定したところ24mSv/h、ラック中で42mSv/h であった。ラック近くでモップがけをして試したが線量は変わらなかった。ダスト及びスミヤの結果は明日出る予定。FCSA 系テスト弁での線量は22mSv/h であった。第三班は、北西階段まできて2階にあがった。上がったところで44.2mSv/h であった。格納容器圧力計計測ラック盤の線量は33.1mSv/h、ラック前の床は濡れて乾いたように見えたが79.1mSv/h であった。

(計装チーム)2号機原子炉建屋の環境改善がされれば原子炉水位・圧力計を設置する予定であったが、格納容器圧力計の設置にあたっては明後日の予定であったが、ラック前床面線量が80mSv/h 弱であったため、計画線量3mSv で実施しようとしたが、これでは難しいと判断し、予定を見直すこととした。

1階の原子炉水位・圧力計ラック内は42mSv/h であるが、今日遮蔽を設置したため、明日3mSv 以内で実施できると判断し、明日設置を実施する。

(本店復旧班)(資料で説明)3号機は夕方雨がかった影響もあり、シミュレーショ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

ンに比べ鈍い反応であったが、至近データを確認したところ下降に転じていると
とがわかった。今後、処理装置が順調に運転が継続すると想定すると、このよ
うになる(資料を提示)。なお、処理量が1200tだが保守的に0.9倍をしており、
定格1200tで進んでいけば更に下がっていくと推定される。

(本店復旧班)1号機の代替冷却について、当初仮設のラインを設置しようとし
ていたが、線量が高かったため、難航していた。今回 FPCHx 室の線量が 2~3
mSv/h と低いことがわかったため、ポンプと熱交換器を活かして2次系を仮設と
することを考えている。明日、明後日にかけて健全性確認を実施する。SFPの水
サンプリングも合わせて実施する。

(本店復旧班)2号機環境改善に伴う、モニタリングについて16時野口統括から
■■■■部長に改善要請、及び口頭での報告徴収指示があった。6月8日に2号機
の本作業実施に伴い報告徴収を求められ、6月15日に報告している。R/B 開
放を行った際に、測定方法が統一されていなかったことから、NISAとしてはモニ
タリングの妥当性について再度検証し、再発防止対策を実施するよう6月29日
までに報告が求められている。

(本店保安班)指示を受け止めて、再発防止対策について十分検討する。また、
明日1号機 R/B 上部についてシマウマを用いダストサンプリングを予定してい
る。

~全体会議終了~

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/22(水)の時系列メモ>(情報班 ■■■)

～全体会議～

9:00

(1F 吉田)本日は、一日晴れで気温は30℃を超える予定であるため、熱中症対策をしていきたい。日中作業について場合によっては制限をかけることを指示している。

昨日、炉注流量を減らしたが、1、2号機のパラメータは安定しており、3号機も安定はしているが若干パラメータが振れている。

移送関係として、水処理は試運転が順調なので、プロセス建屋の水位が下がっている。そのため、2号機の水の移送を実施する。3号機の移送は継続である。

(1F 発電)1号機は FDW 系より $4\text{m}^3/\text{h}$ で注水をしている。温度、圧力は安定している。RPV 底部ヘッド温度は 100°C 。SRV排気側温度は 112°C であり、昨日と比べ 1°C ずつ上昇したが安定している。

2号機は、FDW 系から流量 $4.5\text{m}^3/\text{h}$ で注水しており、温度、圧力は安定している。RPV 底部ヘッド温度は 108°C である。

3号機は、FDW 系から流量 $10\text{m}^3/\text{h}$ で注水しており、RPV 底部ヘッド上部温度は 124.5°C で安定しており、昨日と変わらない。しかし、RPV 上部フランジ部及び支持スカートは温度は 30°C 高くなった状態である。RPV 全体としては安定しているが、その2点の挙動を監視していきたい。

また、本日 10 時から1号機を $4\text{m}^3/\text{h}\rightarrow 3.5\text{m}^3/\text{h}$ 、2号機を $4.5\text{m}^3\rightarrow 4\text{m}^3$ に変更する。

5、6号機は冷温停止中であり、パラメータの変動はない。

(1F 復旧)3号機 T/B の滞留水はプロセス建屋へ移送している。プロセス建屋の水位は 131mm 低下した。

水位については、1号機は変化なし、2号機T/Bは 32mm 上昇、トレンチは 32mm 上昇、3号機T/Bは 12mm 減少、トレンチは 6mm 減少、4号機T/Bは 3mm 減少している。

1号機SFP代替冷却装置の設置について、R/B3階 FPC ポンプ室の現場調査を実施する。

1号機 N_2 封入装置の流量調整弁の位置を調整するので瞬停する。(理由は封入装置を停止しても調整が必要の無いようにしたい)

2号機へ原子炉建屋に仮設の水位・圧力計を設置する。

4号機はウェルとD/Sピットの水張を8～15時まで実施する。

4号機 SFP へ15～20時に約 150t 注水を実施する。

5号機は補助海水ポンプ電動機のM単(モーター単体試験)を実施する。また、DGSW ポンプの T/R を実施する。

6号機は滞留水を10時から16時で $60\text{m}^3\text{t}$ 移送する予定。これでほぼタンクが

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

一杯になるので移送を一旦中断する。

(1F 土木)タンク、飛散防止剤散布、カーテンウォール撤去について継続で実施する。また、ガラ撤去準備を実施する。

(1F 建築)飛散防止剤散布については、6号機T/B東側で実施する予定。1号機R/Bカバーリング工事を継続で実施する。1, 3号機のガラ撤去は継続して実施する。4号機プール下の補強工事としてコンクリート打設のための配管敷設を実施する。また、HTI建屋前のガラ撤去を実施する。

(1F滞留水処理チーム)昨日12:16稼働して順調に運転している。H(1,3と思われる)スキッドNo.1ベッセルを交換済み。本日はH2,4のNo.1スキッドの圧力容器を交換予定。セシウム除去装置について、一旦装置を止めてフラッシングをして効果を確かめる。この会議の後、準備が整い次第フラッシングをする。

(武黒)フラッシングの予定時間は？

(1F滞留水処理チーム)2~3時間を予定している。

(本店復旧班)2号機R/Bの環境改善がされたので、水位・圧力計の復旧ともに2号機への窒素封入について検討している。現在、注入ホースは松の廊下でとぐろを巻いている状態である。建屋の線量はさほど高くはないので、明日ホースを中に持ち込んで、繋ぎ込みを実施する予定。N₂装置の試運転をするので関係各所との調整をして実施したい。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(1F 吉田)本日の天候は晴れで温度が高かったが、熱中症の発生はありませんでした。明日は未明から午前中に雨の予報です。

1, 2号機の炉注水量を変更しました。1号機は4m³/hから3.5m³/hに変更し、現在は3.4m³/hです。2号機は4.5m³/hから4.0m³/hに変更しましたが、ハンチングがあり、現在3.5m³/hとなっている。温度が安定しているのでこの状態で監視を継続します。

2, 3号機滞留水をプロセス建屋へ移送しており、水処理システムは現在フラッシングを継続しています。

2号機の原子炉水位計の校正を行いました。水張りにてエアが入ったため、うまくいかなかった。明日再チャレンジします。

(1F 発電)1号機は圧力・温度安定しており、RPV底部ヘッド温度は100℃、SRV排気側温度は113℃でした。

2号機は、FDW系から流量3.5m³/hで安定しており、パラメータはRPV底部ヘッド上部温度が108℃と昨日と変化なし。SFPの温度は32℃で安定しています。流量が3.5m³/hを下回る場合はパラメータを監視します。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

3号機は、昨日10時に流量をしぼって、17時で底部ヘッド上部温度は125.1℃で絞る前と変わっていません。フランジ部の温度は190℃まで上昇したが、現在150℃程度に落ち着いている。明日まで傾向を監視します。

5, 6号機は冷温停止で変化ありません。

(1F 復旧) 2, 3号機は集中ラドプロセス建屋への滞留水の移送を継続しており、明日も継続します。1号機の水位は変化なし。2号機タービン建屋は1mm減少、トレンチは変化なし。3号機タービン建屋は6mm減少、トレンチは5mm減少。4号機は2mm上昇です。集中ラドは水処理を停止しているため、70mm上昇しています。

1号機 SFP 代替冷却設備の準備のため、FPC の熱交とポンプを点検しました。2号機原子炉の仮設水位計と圧力計の校正を行いました。N₂ 封入のつなぎこみを実施しました。4号機 DSP への注水を9時半から14時まで行い、明日で完了する予定です。

5号機 D/G 海水ポンプのテストランを行い、そのままインサービスしました。補機海水ポンプは24日に向けて点検中です。

6号機タービン建屋滞留水の移送を10時から16時に60m³実施しました。移送タンクが満杯になったため本日をもって一旦中止します。今後は、メガフロートへの移送のため、本店にて手続きをお願いします。その他作業を継続しています。

(1F 土木) クリコート散布を5250m²実施しました。明日、5号機南側法面等を実施する予定です。ガラ撤去は共用プール海側にて実施します。スクリーン設置を3, 4号機北から順次実施する予定です。タンク設置、防潮堤、カーテンウォール撤去を引き続き実施します。

(1F 建築) 飛散防止剤散布は6号機東側にて実施しました。明日は5, 6号機西側にて実施する予定です。4号機 SFP 下のコンクリート打設を開始します。8回のうちの1回を実施します。1, 3号機ガラ撤去、1号機カバーリングの準備工事を継続します。

(1F 水処理チーム) 10時にシステムを停止し、10:20からフラッシングを開始しています。H2の1とH4の1の容器取替を実施しました。H2の1の取替は完了し、H4の1は作業中です。

一番下流の AGH のスキッドの線量が運転中に上昇し、フラッシングをしても線量が下がらなかった。確認したところフラッシング中も差圧が適切に出ていない。H4 スキッドの弁の開閉状態が正しくありませんでした。各バルブの開閉状態の確認を行っています。

システム全体としての放射能除去については、アレバと凝集沈殿装置とで性能を発揮していたと考える。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(本店水処理チーム) セシウムの除去装置の前段にある油を除去する SMZ について、1, 3 系統を空(水)、2, 4 系統に砂を入れて、昨日 12:16 から本日 10 時まで 22 時間弱運転を行った。思ったよりも線量が上がっているのは一番後ろの AGH (基本的にはヨウ素を除去する) で、運転停止後に 15mSv/h あった。フラッシング後は 11mSv/h までしか下がらなかった。H4 の 4 系列目バルブ開閉表示が誤っており、本来閉めておかなければならないバルブが開いていた。1 塔目から 4 塔目に直接入っていた。対策として、本来のライン構成(開閉表示)を確認し、運転を再開する。

AGH については、明日以降運転を停止してフラッシングを行う。順番をちゃんとすることによりこれ以上線量が上がることはないと考えられる。線量が上がればフラッシングを行い、線量が高くなったベッセルを交換する。

今日はこの 2 つのベッセルを活かして、この 2 つのベッセルを交換しています(書面にて説明)。

(本店武黒)バルブの表示が逆になっていたことは、運転上問題となりますので、慎重に確認するようお願いいたします。

(本店復旧滞留水) 本日 14 時に報告徴収 1 件を提出した。集中ラドプロセス建屋への移送に係る報告徴収です。OP5100 を上限としていましたが、地下水との関係と、いままで良好であるので、OP5600 まで移送できるよう変更して提出し、保安院に受理されました。仮に OP5500 まで入れたとして、水処理が全く進まない場合は、6/25 日昼位が移送の限界となります。水処理側と連携しながら移送操作を行います。

(本店武黒) 本日は暑かったが適切に対処していただいた。引き続きよろしく願います。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/23(水)の時系列メモ>(情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

(1F 吉田)天候は小雨となっている。午後にかけて雨が降ることが予想されている。水処理装置については、0:43から運転を開始している。

1, 2号機のプラントパラメータは安定している。また、3号機もデータは安定している。なお、3号機については若干暴れているデータがあるが全体として安定しているため、炉注流量を0.5m³/h絞る。

2, 3号機共にT/B滞留水をプロセス建屋へ移送している。

(1F 発電)1号機RPV底部ヘッド温度は102℃。SRV排気側温度は115℃である。

2号機は、RPV底部ヘッド温度は107℃である。SFP温度は32℃である。

3号機は、FDW系から流量10m³/hで注水しており、RPV底部ヘッド上部温度は124.5℃である。炉注水流量の最終目標は9m³/hであるが、本日は9.5m³/hにする。

5, 6号機は冷温停止中であり、パラメータの変動はない。

6号機は昨日60m³移送して、タンクの空き容量がなくなった。当面移送はしない予定。なお、6号機T/Bへは水位変化から一日60m³流入してきていると思われる。

(1F 復旧)2, 3号機T/Bの滞留水はプロセス建屋へ移送している。

水位については、1号機は変化なし、2号機T/Bは13～15mm低下しており、トレンチ水位はOP3742mm、3号機T/Bは5～8mm12mm低下しており、トレンチ水位はOP3868mm、4号機T/Bは15mm低下しており、水位はOP3839mmである。1号機R/Bの水位は11mm上昇しており、OP4475mmである。プロセス建屋水位は78mm、HTI13mm上昇している。それは通路からの漏れ込みだと思われる。

3号機の炉注流量を絞る操作を10時から予定している。

2号機ではN₂注入装置の繋ぎ込み及び仮設水位計の設置のため、R/Bへ入域する。

4号機はウェルとD/Sピットの水張を9:30～14時まで実施する。

5号機は昨日ASWポンプ電動機のM単を実施したため、明日のT/R準備作業をする。

6号機は本日から地下滞留水の移送ができないため、今後メガフロートへの移送が期待されている。

(1F 土木)飛散防止剤散布は4号機山側で実施予定だが、天候を見ながら決定する。ガラ撤去は共用プール周辺で実施する。タンク設置、カーテンウォール撤去については継続で実施する。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(1F 建築)飛散防止剤散布については、5、6号機西側5300m³実施する予定。1号機R/Bカバーリング工事を継続で実施する。1、3号機のガラ撤去は継続して実施する。4号機プール下の補強工事としてコンクリート打設を実施する。

(1F滞留水処理チーム)(資料で説明)系統全体のバルブ調整について完了した。そのため、0:43再起動確認をした。現在は定格100%で運転している。各容器の線量が上昇したので交換を検討していたが、表面線量が低下傾向であるため、これまでのデータを分析し、判断したい。

(本店復旧班)昨日20時、2号機N₂封入にあたっての報告徴収をもらった。提出期限は6月24日である。報告内容は4点であり、1点目はN₂封入作業手順、期待される効果、2点目は押し出される放射性物質の周辺環境への影響、3点目は水素が急激に減少した際の影響、4点目は接続する工事にあたっての作業員の被ばくについてである。これらについては、遅滞なく対応したい。作業としては本日配管敷設を行う。来週は関係箇所への説明を実施する。

(本店復旧班)昨日1号機R/Bカバーリングにおける報告聴取をもらった。提出期限は6月23日である。カバーリングを実施した際に建屋内、作業環境へ悪影響がないか、カバーそのものまたは内部で火災が発生した際の処置、カバーの地震や津波に対しての構造強度、外部から見えている情報が見えなくなるのでSFP等観測できるかについて報告する。

(武黒)5、6号機の地下水関係について夜の全体会議に報告すること。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(1F 吉田)午前中若干雨が降ったが、その後曇りから晴れたりした。

1号機 SFP 冷却について、FPCポンプ、熱交換機が使える。今後、冷却が可能になると思う。

4号機ウェルD/SPへの水張を終了した。それにより、周辺雰囲気の水張低減が見込まれる

水処理だが、0:43起動して13時まで運転した。その後フラッシングをして、14:40再起動した。

2、3号機ともプロセス建屋へ移送をしている。

(1F 発電)1号機はFDW系から流量3.5m³/hで注水しており、RPV底部ヘッド温度は102℃で昨日と変わらない。

2号機は、FDW系から流量3.5m³/hで注水しており、RPV底部ヘッド温度は108℃で昨日と変わらない。

3号機は、FDW系から流量9.5m³/hで注水しており、RPV底部ヘッド上部温度は125.8℃であり、流量を絞る前とほとんど変わらない。今後パラメータを監視し、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

安定している場合は、明日0.5 m³/hさらに絞る予定。

5号機は明日海水系のインサービスを予定している。

(1F復旧)2, 3号機T/Bの滞留水はプロセス建屋へ移送している。

水位については、2号機は9mm低下しており、トレンチ水位はOP3733mm、3号機はトレンチ3mm、T/Bで5mm低下している、OP3865mmである。4号機T/Bは4mm低下しており、水位はOP3835mmである。

1号機においてFPCの調査を10:45~14:30に実施した。

2号機ではN₂注入装置の繋ぎ込みを完了したので、今後注入が可能になる。

同じく2号機では、仮設水位計の設置のため、水位計の水張りを行ったが、ただし、インサービスした際に水頭圧が理論上の水頭圧より低いため、原因を検討中である。場合によっては明日も現場作業を実施する。

4号機はウエルとD/Sピットの水張を15:29に完了した。スキマーサージタンクが反応したことからウエルとプールが繋がっていると考えられる。

5号機は明日14時から海水系ASWポンプ(C)のT/Rを実施する。

6号機は地下滞留水の移送はしていない。

(1F土木)飛散防止剤散布は5000m³実施した。ガラ撤去は共用プール周辺で実施している。タンク設置、カーテンウォール撤去については継続で実施する。

(1F建築)4号機プール下の補強工事としてコンクリート打設を実施した。明日は足場配置代えを実施する。飛散防止剤散布については中止した。1号機R/Bカバーリング工事を継続で実施している。1, 3号機のガラ撤去は継続して実施している。

(1F)本日原子炉建屋に入域しN₂封入のためのホースを接続した。接続箇所が上部にあったため、ホースを紐で引っ張り上げて接続をした。被ばくについては、東電4名及び東芝1名が約30分間作業にあたり、最大で4.8mSv、最小で2.6mSvの被ばくであった。本作業により、N₂封入準備が整った。

(1F)1号機のFPC本設設備について点検した結果について報告する。東電4名及び日立22人、3班体制で作業を実施した。日立の最大被ばくが3.6mSv、東電の最大被ばくは3.23mSvであった。FPCポンプ(A)(B)、電動機(A)(B)、熱交換機(B)について外観目視点検、ハンドターニング等点検を行ったが、全て異常なし。FPCポンプ(A)のドレンラインからオーバーフロー水をサンプリングした。また合わせてRCW側の水もサンプリングした。

FPC側の水の線量は2.6×10⁴mSv/hであり、通常10²オーダーなので高い数値となっている。RCWの水の線量は2.2×10¹mSv/hであり比較的低い値であった。

作業にあたり、昨日FPC熱交換機室でサーベイを行った。作業を行う、FPCポンプ側で2mSv/h、熱交換機側で2~3mSv/hであった。部屋の角の線量が1

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

mSv/hであったため退避エリアも確保された状態で作業をした。

(1F)水処理について、昨晚0:43に起動して、12時間稼働し約600t汚染水を処理した。本日、1時間の浄化運転の後、14:44に再起動をし現在処理中である。SPT(B)タンクに移送をし、現在約2500t程度溜まっている。これについて、今晚から丘の上にあるバッファータンクに移送し、明日海水と淡水に分けるプロセスを実施する。

セシウムを処理するベッセルについてH2のNo1を交換した。

(本店復旧班)先日、千葉工大のロボットについて紹介したが、5号機への水位計設置について行いうまくいっている。明日、そのロボットを使い、2号機北西コーナーの階段から水位計をセットする予定。これで2号機側の原子炉水位の測定が可能となる。残っているのは3号機の原子炉水位計である。併せて準備を進めていく。

6号機側の滞留水についてFエリアに12200t貯めて、浄化装置で処理を行っているが、地下水の関係から滞留水が建屋側に入っていることもあり、メガフロートへの移送を検討している。今週から水産庁や全漁連等へ説明を行う予定である。メガフロートへの受入について大きなコメントはない。

(本店復旧班)明日、朝6時から2号機原子炉建屋の開口部から出ているダストについてサンプリングをするためTホークを飛ばす予定。一度、2号機を飛んだが流量計が不調のため改良をしていた。本日準備が出来たため、建屋側の測定は24日から25日にかけて行う。

(本店保安班)風量が出ているかどうかについて測定を行う。それを測ることにより放出率を出すことを考えている。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/24(金)の時系列メモ> (情報班 ■■■)

～全体会議～

9:00 (武黒フェロー) T-HAWK 墜落に関する情報が入りましたので、保安班から紹介をお願いします。

(本店 保安班) 本日7時頃、2号機R/Bのブローアウトパネル付近のダストサンプルを実施するためにT-HAWKを飛行・サンプル採取していたが、R/B屋上に不時着したとのこと。煙や炎はあがっていない。けが人もなし。チーム構成はT-HAWK チーム3名、オペレーション4名、東芝3名です。

(武黒フェロー) 今後の対応について検討してください。(原子力復旧班) 屋上の外観調査を行います。

(武黒フェロー) この件、続報があればその都度対応いたします。

(1F 吉田所長) 天候は晴れで蒸し暑い、最高34℃となる予想。熱中症対策には十分に配慮していきたい。プラント状況ですが、炉注水は継続しており、パラメータは安定している。本日3号機注水量を9m³/hまで絞る予定。滞留水関係は2,3号機からプロセス建屋への移送を継続実施。水処理は順調に処理中。午前中10時～12時でセシウム除去装置の交換のため、一時停止。その後フラッシングを予定。

(1F 発電) 1号機はFDW系から流量3.5m³/hで注水している。RPV底部ヘッド温度は103℃で安定。

2号機は、FDW系から3.5m³/hで注水している。RPV底部ヘッド温度は110℃である。SFP温度は34℃で(若干上昇傾向を示しているが)安定している。

3号機は、FDW系から流量9.5m³/hで注水している。RPV底部ヘッド上部温度は126℃である。本日10時に0.5m³/h下げて9.0m³/hにする予定。

56号機は5号機海水系及び原子炉補機冷却系、SFP冷却系を復旧していく予定。このことにより現在原子炉とSFPをRHRS系で半日交替で冷却しておりますが、独立で冷却が可能となります。

(1F 復旧班) 2,3号機からプロセス建屋への滞留水移送を継続実施している。水処理の方も継続しておりますので、2,3号機、PM/Bの水位は低下している。水位について1号機は変化なし、2号機は11～12mm低下しており、トレンチ水位はOP3721mm、3号機は6～9mm低下しており、トレンチ水位はOP3859、4号機は10mm低下しており、OP3825です。

PM/Bは24mm低下してOP4775、HTI/Bは14mm上昇してOP3059です。

3号機の炉注流量を絞る操作を10時から予定している。

その他作業については、1号機でクローズドサイクルのB系水位の確認、2号機水位計の水張りがうまくいっていないが、片付け作業でR/Bでの入域作業がある。R/B滞留水監視カメラを設置するためロボットを使用して作業します。3号機

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

ロボットによる R/B 線量調査を実施します。3,4 号機 S/B でケーブル布設を新規で行う。その他は継続となります。

5,6 号機は海水系ポンプと ASW ポンプ C のテストランを 14 時から実施する予定。D/G-5A 循環ポンプの試運転を実施。6 号機タンクエリアの浄化運転を実施します。その他は継続作業となります。

(1F 土木) 飛散防止剤散布は免震棟周辺等を実施します。ガラ撤去関係は共用プール前を実施します。タンク関係の設置・点検を実施します。防潮堤の設置、カーテンウォール撤去工事を引き続き実施します。

(1F 建築) 6 号機ヤード北で飛散防止剤散布を実施します。4 号機 SFP 下部補強工事では足場配管盛替を実施します。1,3 号機ガラ撤去、1 号機カバーリング工事は継続で実施する。

(1F 滞留水処理チーム) 昨日午前 1 時から稼働し、約 21 時間処理して滞留水 1000 トンを強を処理した。昨夜 SPT タンク B から海水淡水化装置前の受けタンクに移送しています。朝までにおよそ 600 トンの処理水を移送した。

本日、水処理装置を 10 時に停止し、浄化運転の後、キャニスターを 2 塔交換します。海水淡水化装置を稼働します。

(1F 吉田所長) 補足ですがアピールが弱かったが、本日 ASW ポンプ C がいきると非常に大きい話でして、冷却の信頼性が上がるということで一つすすむということをご理解いただきたい。

その他、お願いとして連日滞留水がいつあふれ出すかといった報道がなされているが、現場ではそうならないように必死で頑張っている。広報はその辺をくみ取って、工夫してほしい。

(武黒フェロー) 水位計水張りがうまくいかない件について本店から何かありませんか。

(本店 原子力復旧班) これに関しては夜の全体会議で報告しますが、現場の温度が高く、配管内の水がすぐに蒸発してしまう状況です。

(2F) 先日、2F で結核患者が発生した件について、排菌検査を行った結果、やはり若干排菌反応があった。保健所の指示により、濃厚接触者 29 名について 2 ヶ月後にレントゲン撮ることになった。この範囲で済むことになったので、その以外の方は特段の対策は不要になった。

(本店武黒) 29 名の方のケアをよろしく願います。

(OFC 田島) 先ほど、1F の広報についての要望の話があったけれども、必死でやっているということが前提だが、そのことと、海洋汚染がどうだとか地下水汚染がどうかというのは別のこと。私が見ていても、新聞等の報道で先に知ると混乱する。真実なのかどうなのかということについて、この全体会議の場で解説しても

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

らうのはどうか。例えば、昨日の朝刊には汚染水処理のパフォーマンスが1/20だとかいう記事、昨日の夜TV23時に地下水汚染の話がかなり詳しくされていた。東電の広報は事前にどの程度把握しているのか。解説をお願いします。

(本店広報班)報道があった段階で、記事解説等の対応をしている。即応性という観点から多少の遅れがあるかもしれませんが、そういう形での対応をしている。

(OFC田島)すると、どうしても報道の後になるということか。毎日、2回の全体会議に参加してもそのような情報が全くないので、どう考えていいのか混乱する。

(細野補佐官)1/20の話は、弁の不具合であり既に解消されているとの理解。大体、直前にそういったことがわかるので、この夜の全体会議で必ずしも共有されていないのは事実であり、そこを改善していく必要はある。もう一つ感じるのは、トラブルの発生は報道されても、トラブルの解消は報道されなく、トラブルばかりが目立つ印象を持ってしまう。これだけ回復しているというのも積極的に出していかないと、国民に正確な情報が伝わりませんし、何よりも、現場で頑張っている皆さんの士気が下がるということにもつながりかねないので、広報の大きな課題だと思う。従って、情報共有をしっかりとすること、前向きな広報もしっかりやっていくということが大切。是非、みなさん協力いただきたい。

(OFC田島)3週間前にも申し上げたが、広報の一つ手前のこの会議が一日2回行われている中で、いいニュースも悪いニュースも明確に報告してもらわないと、私たちも、それを頭に入れないと国民に説明できない。先ほどの冷却信頼性が一歩あがったということももちろんアピールしてもらって結構だが、1/20の話も本当に一時的なのであれば、その話が出た直後にこの全体会議の場で前後関係について解説して欲しい。汚染水処理、地下水汚染の話は、国民が一番心配していることではないか。報道のどこが正しくて、どこが正しくないかこの会議で報告して欲しかった。以上です。

(本店武黒)ご指摘の点、その感度で会議を運営をできていないので、今後にかしたい。

(本店広報)T-HAWKの話は、本日9:00から行われている福島事務所でプレスレクで状況を説明することといたします。本店でも11:00のレクにおいて説明する予定です。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00 (1F吉田所長)天候は晴れで30℃を超える暑さでした。熱中症と思われる症状で医務室に2名運ばれました。そのうち1名は磐城共立病院で点滴治療を行っております。脱水症であろうとのこと。熱中症対策として、クールベストの着用、作業前2時間程度の休憩を実施しておりましたが、作業開始後1時間程度で具合

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

が悪くなった。今後も管理のやり方をきめ細やかにやっていく必要があると考えます。プラント関係で特記事項としまして、T-HAWK については 2 号機 R/B 屋上に不時着しているのを確認しました。

2 号機 R/B でロボットによる滞留水レベル計設置を実施したが、思うように事が運ばなかった。再チャレンジする予定。

5 号機 ASW、RCW、FPC と冷却系の信頼性が向上した。RCW がいきたことで負荷をこれから負わせていく予定。また、クローラクレーンも組み上がったので後ほど説明する。

炉注水では 3 号機で 9.5 から 9m³/h に変更している。

水処理関係では、10:00 にシステムを停止し、12:50 に再起動している。

(1F 発電) 1 号機は FDW 系から流量 3.5m³/h で注水している。パラメータは安定している。RPV 底部ヘッド温度は 103℃で安定している。

2 号機は、FDW 系から 3.5m³/h で注水している。パラメータは安定している。RPV 底部ヘッド温度は 108℃である。

3 号機は、FDW 系から流量 9.0m³/h で注水している。RPV 底部ヘッド上部温度は 127.3℃で若干上がり傾向、監視していく。

56 号機は 5 号機海水系及び原子炉補機冷却系、SFP 冷却系を復旧した。これにより原子炉及び SFP を各々独立して冷却を開始している。

(1F 復旧班) 2,3 号機からプロセス建屋への滞留水移送を継続実施している。

2,3 号 T/B 建屋水位は低下しており、2 号機はトレンチで OP3713mm、3 号機はトレンチで OP3855、4 号機は 4mm (5mm?) 低下して OP3820 です。

PM/B は 28mm 上昇して 4803mm (OP6020?)、HTI/B は 7mm 上昇して 3066mm (OP3792?) です。

1 号機 N2 供給装置コンプレッサー PS-1 から供給しておりましたが、100℃に上昇したことから PS-4 に切り替え操作を実施した。PS-1 は脱気運転で様子見する。

2 号機水位計関連では資機材片付け作業のみ実施しました。また、3 号機ですがロボットによる R/B 線量調査を実施しております。大物搬入口付近が高く 140、150、180mSv/h 近くというデータが出ている。

3,4 号機 S/B 照明復旧ですが、環境調査を実施しました。明日本格的な作業を実施する予定です。

5 号機では ASW-C を 14:16 からインサービス、RCW を 15:00 からインサービス、FPC-B を 16:35 にインサービスしました。常用系の燃料プールの除熱機能が復旧しました。

D/G-5A/B の補機関係のテストランを予定しております。

(1F 土木) 明日スクリーン角落としを 1 号機で実施予定。その他飛散防止剤散

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

布等の定例作業は継続で実施します。熱中症患者は点滴により起きられるように回復されました。

(1F 建築)6 号機ヤード北で飛散防止剤散布を実施しました。明日は集中 RW の南側と西側で散布の予定です。その他継続作業です。(書画説明)1号機カバーリング工事で750tクレーンが1台目組み上がりました。ブームの長さが70m、70mで140mあります。これをもう1台組み上げて来週からカバーリングの本体工事を実施する予定です。

(キリンチーム)(書画説明)T-HAWK の状況を報告します。2号機 R/B 東のへり、中心より南側に頭を北側に向けるような形で落下しておりました。T-HAWK に大きな損傷、炎上の形跡もありませんでした。また、一部の報道で R/B の損傷についてありましたが、損傷は見受けられませんでした。今後 T-HAWK チームで対応を検討していく。

(1F 滞留水処理チーム)2号機 R/B にてロボットによる滞留水水位計設置作業を実施したところ、昨日5号機で実施したモックアップ通りにはいかなかった。まず、踊り場が狭く、折り返しができなかったこと。また、センサーを付けたケーブルを落とす作業をしたところ、ケーブルを落とすリールが滑り(空回り?)、うまくケーブルが落とせなかった。この2点が問題となっております。この件を踏まえて千葉工大さん...の協力を得て、今後再チャレンジしたいと考えています。

(水処理チーム)本日10:00にシステムを停止して、ベッセル交換のためにフラッシングを実施しました。フラッシング終了後12:50に再起動しております。交換対象は、H2 スキッド-No.2 ベッセルと H3 スキッド-No.2 ベッセルの2塔を交換しております。また、12:00 から海水淡水化装置を起動した。これまで水処理装置で昨日の実績で1100ト、本日24時までで1000ト、17日に処理開始してから本日の24時で約4000トの処理実績となります。

明日は各スキッドの表面線量を見ながらベッセルの交換を行っていく予定です。

(1F 吉田所長)海水淡水化装置の稼働により、原子炉に戻すというタイミングをはかっていたい。

(本店武黒)T-HALK の重さは何キロですか。

(本店建築)7.9キロです。

(本店武黒)これからも建屋への損傷はないことが推測されますね。

(本店復旧班)T-HALK の建屋損傷と今後の対応について(書画にて説明。)

本日、ハネウエル社にコントロール端末に残っているデータと、キリンチームの写真で照会したところ、不時着時にバッテリー等に問題なかったが、エンジンの回転数がアイドリングレベルまで低下して飛行していたことが判明。これにより通信系でなくエンジン側の問題。ハネウエル社の見解は、過去に同様なトラブル

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

ルがあったとのこと、今回も同じ事象であるとの結論。これが起きる確率は、1/2800とのこと。これを回収できれば再度飛行できるとのリコメンドを受けている。最後に、明日、県警の要請で防波堤南側から計測飛行を予定しているが、ハネウエルの見解と飛行エリアが沿岸部ということで予定通り行う。
(本店武黒)落下ということがあったので、万が一、人身災害等、よく配慮して行ってください。

(本店復旧班)回収については、構内で使っている200tのクレーンにのってアクセスすることは可能だが、無人作業は困難。とるとすれば、人を乗せたカゴを使ってやるのが想定されるが、線量の問題もあるのでよく検討したい。

(本店・水処理)キュリオン社のセシウム吸着棟などの今後の運用方針について。SMZスキットが線量あがったのは、非常によくセシウムをとってしまったが、その理由は、その付近に非常に高線量の配管があったこと、もうひとつはメディア自身がセシウムをとってしまったが、これを避けるため、ベッセルの中身を水とシリカサンドに変えている。これによりあまり線量が上がらないことを確認している。これによる後段へのHスキットへの影響を調べた結果、シリンダサンドいいこと確認した。

後段のAGH、ヨウ素を取り除くスキットですが、線量が上がったのは、弁の開閉表示が誤っていて、開いているところにセシウムが流れてしまったことが原因。現在、バルブを締めて問題ないこと確認している。

当面の方針ですが、基本的には水処理運転をしながら、稼働率、交換時の被ばく量データを蓄積しながら、PDCAを回しながら最適な運転方法を確立したい。高線量のセシウム、海水も入っている特殊な水であり、これが重要と考えている。当面、午前中に2時間装置を停止して、その中で1時間かけてフラッシングする。運転中に交換を行うということで、一日最大でも3分程度の入れ替え作業を行う。SMZについてはシリカサンドに交換。交換するベッセルの選定は前日のデータを用いるが、初期と言うこともあり、エキスパートチームで対応する。交換条件は、SMZは10mSv、Hベッセル4mSv 超えた場合交換。AGHベッセルについては、線量が上昇したケースもあるので、0.5mSv ミリ以上の場合は停止する。当面の運転工程は、これから1週間ほどで、SMZ4棟の交換、Hベッセルは一日2棟以上。線量を確認しながら実施します。

(本店リモートコントロール)ロボットによる3号機の線量測定を行いました。(書面にて説明。)前回よりも上がっているところが多いように感じるが、ロボット2台による測定なので地点が異なるなど、精密さは欠いている。窒素封入機を設置する候補となっている場所について、前は40ミリ、今回は61ミリであり、3号機ガラ撤去の効果は確認できなかった。今後、掃除機で少ないゴミをとったり、鉄板を敷いたりして線量低下を試みる。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(本店武黒)線量の発生源は床だけとは限らないので、よく周囲を確認すること。

(本店復旧班)今朝の会議で、OFC田島政務官から質問のあった地下水バウンダリーの件について(書画にて説明)。ステップ2にて地下水遮蔽壁の検討、その後の中期的な課題で遮蔽壁を〇〇(?)という記載になっている。現在、特別対策チームが海への流出防止の観点から検討を進めており、その結果、このようなバウンダリーの対策が現時点で最も有力な対策であると考えており、現在、設計を進めて、それによる概算、課題や制約を調べている。但し、東京電力として、現在、これを実施の有無を決定したものでない。あくまで設計等の検討。

(本店中長期対策チーム)22日に、1号機カバーリングの報告聴取を受け、昨晚報告書を提出している。いくつか質問事項あったが、私どもとしては概ね回答したと考えている。このまま順調にいけば、週末に評価をいただけると思う。28日くらいから作業開始か。

(本店復旧班)2号機の水位関係の評価について(書画にて説明)。原子炉圧力は12キロパスカルであろうと推定しているが、本来、圧力計が一定になるところが低下傾向を示している。2号機は基準〇〇(?)が約150℃に熱せられていて、たちまち沸騰してしまっている状況と考えられる。原子炉水位については、圧力が下がっており、60キロパスカル。天辺まで水が張られていれば、水透圧だけで65キロパスカルはあることになり、下がっているということは一部が蒸発していること。恐らく、原子炉水位も、指している点よりも下回っているだろう。整理すると、原子炉水位は、TAF マイナス6299よりも下にあると考えられるだろう。原子炉圧力は12キロパスカル程度。原子炉水位については、現在指示している TAF マイナス1500はかなり高い数値であろう。水位、圧力は継続して監視する。

なお、3号機は環境が整い次第取りかかる予定。

(本店復旧班)停電作業のご紹介。来週27日、28日に、大熊2Lの開閉所建屋修理工事を行う。27日は、仮設の1、2号 M/C(B)が停止し、これにともない、SFP 注入装置、代替冷却装置、N2 供給装置、2号移送ポンプの停止。28日は、早朝切替を行うが停電はないが、若干重要免震等で停電が発生する予定。

(本店環境影響評価チーム)放射性物質の大気への放出量評価のため、建屋への空気の流入量の調査を、1、2号の二重扉と大物搬入口で実施予定。明日、本店チームが伺い、計画について説明させていただく。

(本店武黒)熱中症対策等、大変ご苦勞ですが、引き続きよろしく願いいたします。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/25(土)の時系列メモ>(情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

(1F [REDACTED] ユニット所長) 1,2u はそれぞれ 3.5m³/h で注水しており、パラメータは安定しております。3u は昨日の 10 時から 9m³/h で注水しており、パラメータは安定して推移しております。

滞留水関係では 2,3 号機からプロセス建屋への移送を継続して実施しております。その結果、T/B 及び立坑の水位は順調に低下しております。

また、水処理関係では昨日同様ベッセルの交換を予定しております。

天候は小雨模様です。気温は低めですが、アノラックでの作業が多くなりますが、この点に注意して作業を行います。

(1F 発電) 1 号機、2 号機とも FDW 系から流量 3.5m³/h で注水しております。

RPV 下部ヘッド温度は 1 号機が 103℃、2 号機は 108℃で安定しております。

3 号機は、FDW 系から流量 9.0m³/h で注水しております。RPV 底部ヘッド上部温度は 129.2℃です。若干上昇傾向ですが安定に推移しております。

5 号機ですが、SFP 冷却機能が確立し、原子炉及びプールの冷却を順調に実施しております。

(1F 復旧班) 2,3 号機からプロセス建屋への滞留水移送を継続実施しております。水処理の方も継続しております。建屋水位(昨日 17:00 からの変化量)ですが、2 号機 T/B は -15mm、トレンチ水位は -17mm で OP3696 です。3 号機 T/B は -10mm、トレンチ水位は -8mm で OP3847 です。4 号機 T/B は -5mm で OP3815 です。また、1 号機の R/B ですが -25mm で OP4466 です。PM/B は -36mm で 4767mm (OP5984)、HTI/B は +11mm で 3077mm (OP3803) です。

その他作業ですが、大熊線 2L の架線修理ですが開閉所壁修理のみが残っておりまして明日完了する予定です。2 号機 SFP 循環冷却装置ですが出口流量計と入口流量計の差が大きくなってきたということで本日流量計の二次計器の取替を実施します。装置の停止はなく流量差大のトリップ回路はジャンパーして行います。3 号機ですが SFP へのホウ酸水注入準備として本日タンクの水張り並びに…。明日より注入を行います。4 号機も SFP の冷却関係工事がありまして 5 階の足場組立を行います。3,4 号機 S/B 照明ケーブル布設作業を行います。5,6 号機ですが 5B-D/G の空気圧縮機の T/R、5A/B-D/G の軽油配管の N2 耐圧を予定しております。その他は継続になります。

(1F 土木) ガラ撤去関係は共用プール前を実施します。飛散防止剤散布は天候が雨ということで本日中止とします。1,2u のスクリーン角落とし設置を行います。また、タンクの設置、防潮堤の設置、カーテンウォール撤去工事を引き続き実施します。

(1F 建築) 何れも継続となります。1u カバーリング工事は走行路整備を実施し

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

ます。1,3号機ガラ撤去・搬出、4号機SFP下部補強工事は型枠工事を実施します。飛散防止剤散布は天候の状況を見て判断したいと思います。

(キリンチーム)SFP注水の信頼性向上工事の一環として実施してきました仮設ホースの淡水供給ポンプ廻りの水張り・リークチェックを行います。

(水処理チーム)本日、10時からベッセルH4-No.2、H1-No.3の交換のため、フラッシングを行います。SMZとAGHは表面線量のトレンドを確認しながら、交換を検討していく。

(本店 原子力復旧班)2号機N2供給設備に関する報告徴収に対して、報告書を昨年23:55に提出しました。今後は本日午前中に報告書提出のプレスを行いまして、関係各所へのご説明、保安院の評価、など条件が整った時点で速やかに窒素の封入を開始したいと思います。

(環境影響評価チーム)放射能放出量を確定するための建屋風量測定を行います。本日1,2uの大物搬入口とエアロックのR/B開口部の風量測定を実施します。9:30最終調整に入ります。こちらからは■、■の2名がそちらで作業させていただきます。ご協力お願いいたします。

(本店 広報班)昨日からのプレス対応状況を報告します。まず水処理関係ですが、「やっと」とかいろいろ形容詞がついておりますけれど、プラントの溜まり水の処理が開始されたと概ね状況について報道されております。6/17の2時間ほど停止した件について当時十分説明できていなかったことについて朝日新聞、産経新聞の方で問題視するような記事の出方になっております。昨日夜通報連絡用紙が全て公開されておりますが、その中で3点ほど記事化されております。1点目がベントの際の環境影響評価のところ公表されていなかったこと、こちらに関しては既に放射線量が当時十分わからない状況での重大事故での値を使ったということと、当時も環境影響評価をやっていて然るべきポイントではこれぐらいの線量になるということについては口頭では伝えたということになっております。2点目は炉心損傷の程度に関しては15日の段階で50%、70%といった程度の数値については話していなかったようですのでフォローが必要だと思っております。それから傷病者の数についても、これまで持病、周辺区域でのケガについては公表しておりませんでした。その差があるということで東京新聞から一部報道しております。

(武黒フェロー)今後も精力的にフォローお願いします。技術サイドでやるようなことは迅速に連絡をお願いします。

(武黒フェロー)本日は小雨でアノラックを着ての作業が多くなります。熱中症対策を万全にしてください。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

～全体会議～

19:00

(1F)プラントは1～3号機ともパラメータ安定している。滞留水の移送は2, 3号機から集中R/Wへ継続して実施中。水処理設備はベッセル2基取替を実施。いくつかの事象があり時間がかかった。後で説明をする。

(1F発電班)1号機、FDW系から流量3.5m³/hで注水しています。RPV下部ヘッド温度は103℃、SRV116℃で昨日と変わらず安定。2号機は3.5m³/hで注水、RPVは108℃で昨日と変わらず。3号機は、流量9.0m³/hで注水しており、17時現在でRPV底部ヘッド上部温度は129.5℃です。朝から若干上昇ですが、継続監視します。

5号機ですが昨日からSHが連続運転。SFPもFPCによる冷却開始で原子炉及びプールの冷却は順調です。6号機は特記事項なしです。

(1F復旧班)2, 3号機の立坑から集中R/Wへの移送は継続して実施中。この結果、少しながら水位は下がっている。プロセス主建屋から焼却建屋への移送ラインのL/Tを実施した。滞留水処理装置だが、16:10にトリップしたが、16:35から運転を再開している。詳細は後ほど。

大熊線2Lの架線作業終了。明日14時に開閉所まで受電する予定。明後日から負荷の受電を徐々に開始する。明日の作業としては3号SFPへ45t注水を予定している。5B D/Gは来週のT/Rへ向けての作業中。Fエリアのタンクの浄化運転は継続している。

(土木)ガラ撤去は共用プール廻りで3箱分撤去。明日も継続。飛散防止剤散布は雨のため中止。明日は野鳥の森を予定しているが、天気を見て調整する。角落としては1号と2号を本日ですべて終了。明日から3, 4号を実施する。タンクの設置は計画通り実施。明日も継続する。

(建築)飛散防止剤散布は集中R/W廻りヤードを実施。1号カバーリング作業のための走行路の作業実施。1号, 3号のR/B大物搬入口のガラ撤去を実施。明日も継続する。

(保安班)本日の海水サンプリングで一部有意な変動があった。1～4号取水口北で、Cs137が変動。カーテンウォール撤去作業をしており、舞い上がりによるものと考えられる。様子見していく。パトロールの結果は特に異常なし。

(水処理)10:00にシステム停止し、ベッセル交換(H4-No.2, H1-No.3, H2-No.3)のためフラッシングを実施し、バルブ切替を行った。油分離装置を出た後に処理水のタンクがあり、レベル計が超音波式と差圧式の2系統あり、超音波水位計がレベル低下傾向を感知し、システムをトリップさせた。吐出圧力等パラメータが変わっていないことから、問題ないと判断し、レベル計1系統をバイパスし16:35にシステムを再起動した。

(本店復旧班)補足です。水位計は2系統あり、OR回路で低い方の信号で下流

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

を停止させる。超音波式の指示が徐々に下がってきたのが原因。超音波式は現在バイパス中、点検時期にフラッシングして、超音波式に代わるものを設置したいと思う。リーク検出やITVでの監視でも漏洩がないと確認したことから、水漏れはないと判断し、差圧式のレベル計のみで運用している。

(保安班)1号機と2号機の R/B の大物搬入口とエアロックの開口部の流量測定を行ったので速報で報告する。1号機は3ポイントで実施。2号は6ポイント計画していたが、4ポイントで実施。暫定だが1号の大物搬入口の流量は2~4m/sでエアロックではほとんど流量がなかった。結果がまとまったらまた報告する。

(武黒フェロー)他に報告事項なければ今日の会議はこれまで。「ご安全に」。

~全体会議終了~

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/26(日)の時系列メモ> (情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00 (1F) 朝方から小雨が降っている。作業や滞留水への影響はさほど大きくないと思う。

1～3号機のプラントパラメータは安定しているが、2号機 RPV 底部ヘッド上部温度が本日未明に10℃程ステップ状に変化している。炉の変化に伴い変化したというよりも、計装系の変化によるものと思われる。

作業関係は2, 3号機 R/W への移送を継続している。プロセス建屋の水位は若干上昇している。本日はベッセル取替を計画している。

大熊線の2号線の工事に伴い開閉所まで受電するが所内電源への影響はない。

(1F 発電) 1号機は FDW 系から流量 3.5m³/h で注水している。プラントパラメータは安定している。RPV 底部ヘッド上部温度は 102℃である。

2号機は FDW 系から流量 3.5m³/h で注水している。RPV 底部ヘッド上部温度は 108℃から 119℃に変化した。その後指示がふらついているが、現在は 119℃で安定している。他パラメータの変化はない。

3号機は、FDW 系から流量 9.0m³/h で注水している。RPV 底部ヘッド上部温度は 129℃で、昨日より若干下降傾向である。

(1F 復旧班) プロセス建屋の水位は、昨日ベッセル交換に時間がかかったことから上昇している。

2号機の計装系の温度については計装で確認する。

大熊線2Lの工事に伴い開閉所までの受電を行う。明日の午前中に他の切替を実施する。

3号機で10時から FPC へのホウ酸水注入を約45t行う。

5, 6号機の F エリア H タンクの浄化運転を継続している。

5号機は明日明後日で D/G の確認運転があるので、機関内部点検等作業を実施する。

(1F 土木) ガラ撤去関係は共用プール前を実施する。飛散防止剤散布は天候を見ながら実施するが、実施する際は野鳥の森周辺で行う。

3, 4号のスクリーン角落し設置を行う。また、タンクの設置、防潮堤の設置、カーテンウォール撤去工事を引き続き実施する。

(1F 建築) 何れも継続となる。1uカバーリング工事はクレーン走行路整備を実施する。1, 3号機大物搬入口のガラ撤去・搬出を実施する。

(水処理チーム) 10時からベッセル交換のため、フラッシングをする。

セシウム吸着装置の先頭のフィルター交換を実施する。作業時間は4～5時間程度。昨日は停止時間7時間となったが、850t処理をした。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(本店広報班)6月24日夜に NISA から通報連絡の公表があった。新聞から問題視されているものは、格納容器ベントの際に当社が実施した環境影響評価についてであるが、問題になるものではない。また、CAMS データに基づく炉心損傷評価について公表が2日遅れたことについて問題意識が持たれている。丁寧に説明していく。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(1F 吉田)天候は雨で明日の午前中まで雨になる見込み。

2号機のRPV底部ヘッド上部温度は、上がった状態で今安定している。

3号機のSFPにホウ酸水を45t注入した。

大熊線2Lの受電が終了した。明日、電源の切り替えを実施する。炉注入ポンプの非常用への切替、N₂停止、2号機滞留水移送が停止する。

滞留水処理については、10時に停止し、18:25に処理を再開した。

明日、淡水を注入するか詰めているところである。

(1F 発電)1号機はFDW系から流量3.5m³/hで注水している。プラントパラメータは安定している。RPV底部ヘッド上部温度は102℃である。

2号機はFDW系から流量3.5m³/hで注水している。RPV底部ヘッド上部温度は120℃付近まで上昇したが、現在は安定している。

3号機は、FDW系から流量9.0m³/hで注水している。RPV底部ヘッド上部温度は130.6℃で、若干上昇傾向である。

3号機のSFPへホウ酸水を約45t注入した。

(1F 復旧班)水処理については、10時に停止した。

2号機のトレンチ水位は-13mm、T/B水位は-10mm、OP3858mmである。

3号機はトレンチ及びT/B共に水位は-4mmで、OP3833mmである。

1号機原子炉建屋水位は-9mmでOP4417mmである。

プロセス建屋の水位は、75mm上昇している。

HTI建屋の水位は8mm上昇している。

3号機SFPへのホウ酸水注入は45t、で明日も45t実施する予定。

大熊線2Lの復旧として、明日9時に切り替え行う。また、その前の8時に炉注ポンプのD/G切替を実施する。

6号機はタンクがいっぱいなのでタンクへの移送予定はなし。引き続き浄化運転を実施している。

5号機はD/G(5B)〇〇ポンプ運転とか内部の確認を実施した。明日はD/G(5A)を実施する予定。

FPCが起動したのでダクトの位置をかえて建屋の結露対策を実施中。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(1F 土木) ガラ撤去関係は共用プール前を実施した。明日も継続実施。飛散防止剤散布は予定通り終了した。

3, 4号のスクリーン角落し設置を行いすべて終了した。また、タンクの設置、防潮堤の設置、カーテンウォール撤去工事を引き続き実施している。

(1F 建築) 1u カバーリング工事はクレーン走行路整備を実施する。1,3号機建屋内周辺のガラ撤去・搬出を実施している。明日、5, 6R/B及び開閉所西側ヤードに飛散防止剤の散布を行う。

(1F水処理チーム) 10時に停止し、1時間フラッシングをした。SMZ3つの圧力容器の交換し、残り2棟は運転中取替えできるので、今晚取替を実施する。

18:25に定格となった。

(1F吉田) しばらくキリンを用いた注水は無し。そのため、キリンチームが撤収した。

(本店復旧班) これから循環冷却を行う予定だが、2点を確認し進めていく。

1点目は水処理システム全体が稼働可能かどうか。

2点目は濾過水が炉注水の2日分貯まっていることであるが、現在1500t弱位貯まっているので、2日以上という条件は満たしている。

キュリオンのセシウム吸着能力の不足分はアレバで補い $10^4 \sim 10^5$ オーダーのDFを確保している。

処理装置の運転の考え方は先日紹介したように、交換可能なベッセルHについては、処理性能を維持するため一日4体実施する予定。

当面はフラッシングを実施するが、フラッシングの間隔については、セシウム吸着評価や作業員の習熟度を踏まえ長くする方向で進めていく。

SMZのベッセルは油を除去するためにシリカサンドを詰めたもの3体を交換した。

AGHのベッセルはセシウム吸着しているから来月上旬から中旬に交換する予定である。

AGHのベッセル交換等により80%の稼働率で1000t処理となる予定。

淡水処理は400t/dayで実施して、本日10時停止迄に5410tの水を処理している。1日1000tの処理を目指している。

(本店復旧班) 6月24日に淡水処理装置が起動して1500m³水を処理した。それにより、概ね2日以上以上の炉注水量が確保されたため、明日の午後大熊線電源の切替があるので、ポンプが正規の電源で稼働した際に循環冷却運転を進めていく予定である。

淡水化処理した水は容量5000tのタンクに入れる。そこからくみ上げて炉注水用のタンクに入れる。当面は濾過水と処理水を併用していく。現在16t/hで入れているので、濾過水 3t/h、処理水 13t/hで実施する。今後、実際の処理水を

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

移送する先のバッファータンクの設置工事は7月上旬に完了する予定。

(武黒)循環冷却については明日の午後からか？

(本店復旧班)大熊線2Lの電源切替後、正規の電源で稼働したところを見計らって実施する。

(武黒)確実に安定的に行われることが重要。課題も多くあると思われるので、取り組みを進めること。

(1F吉田)現場は何が起こるか分からないため、予定がずれる可能性があることから、広報は伝える際に工夫をお願いします。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/27(月)の時系列メモ> (情報班 ■■■)

～全体会議～

9:00

(1F 吉田)天候は雨である。天気予報では午前中にやむ予定である。気温は低い、湿度が高いので作業を慎重にやらないといけない。

大熊線の2L受電に伴い、所内電源切替を午前中に順次実施している。そのため、N₂と移送は一時的に停止する。

水処理装置から出てきた淡水を原子炉に注水する準備をしている。

2号機RPV底部ヘッド上部温度は130℃(119℃と後で訂正)で安定している。

5AD/Gが起動する。そのため、更に電源が強化される。

(1F 滞留水処理チーム)H4棟のベッセル交換について、水処理を継続したまま実施する。午前中から交換作業をする。

(1F 発電)原子炉注水ポンプの電源はD/Gに切替えを実施した。

1号機はFDW系から流量3.5m³/hで注水している。プラントパラメータは安定している。RPV底部ヘッド上部温度は101℃である。

2号機はFDW系から流量3.5m³/hで注水している。RPV底部ヘッド上部温度は119℃で安定している。

3号機は、FDW系から流量9.0m³/hで注水している。RPV底部ヘッド上部温度は130℃で安定している。

5号機の5AD/GのT/Rを午前中に実施する。

(1F 復旧班)

2号機立て坑から集中R/Wプロセス建屋への移送を9:02に停止した。3号機の移送は継続している。

17時を基点とした各建屋の水位については、2号機T/Bは8mm減少、トレンチは11mm減少、3号機T/Bは1mm減少、トレンチは1mm上昇、4号機T/Bは1mm上昇、プロセス建屋は2mm減少である。

3号機SFPへ15時からホウ酸水注入を約45t実施する。

所内電源切替のため、仮設M/C切替を9時～14:30で実施する。また、2号機SFP代替冷却設備の停止、窒素封入設備の停止、IAコンプレッサーの停止をしている。炉注水ポンプについては、D/Gへの切替をして瞬停程度の停止があった。水位監視カメラも停止するため、その前後で水位を計測する。

水処理装置の原子炉注入ラインの循環注水を15時を予定している。

4号機SFP代替冷却準備として、4階ガラ撤去、5階の足場設置をする。

1, 2号機から5, 6号機のM/C受電試験がある。

5AD/Gについてオーバースピードトリップ試験まで実施する。

(5号機)オペフロの結露対策としてダクトの盛換を実施する。

6号機T/B滞留水については、本日もタンクの浄化のみ。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(1F 土木) 無人化施工によるガラ撤去関係は共用プール前を実施する。飛散防止剤散布は濾過水タンク周辺で行う。タンクの設置、防潮堤の設置、カーテンウォール撤去工事を引き続き実施する。

(1F 建築) 飛散防止剤散布は5, 6号機R/B西側ヤードで実施する予定。1uカバーリング工事は走行路整備を実施する。3,4号機建屋周りのガラ撤去・搬出を実施する。プロセス建屋の開口部閉塞、HTI建屋の開口部設置をする。1, 4号機のサブドレン復旧を実施しており、2, 3号機周辺で配管敷設を行っている。

(1F 滞留水処理チーム) 2号機の移送について9:02に(A) (B) ポンプを停止した。3号機は雨の関係があるので、2台運転することとする。なお、15時から2号機立て坑から2台運転を計画している。

(本店広報班) 循環冷却開始、3号機のホウ酸注入をトピックスとしている。東京新聞でスラリーの話題が出ているが、6月17日の道筋のところできかくを暖めていたものと思われる(意味不明)。循環冷却については、午後の統合会見で考慮したい。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(1F 吉田) 天候は小雨と霧であった。

先ほど16:20に循環冷却が構成され、流量が出た。17:55、淡水を移送しているポンプの先に弁があるが、カナフレックスの配管継ぎ手部からリークがあった。そのため、ポンプを停止し濾過水からの冷却にしている。外の条件が悪いため、これから継ぎ手のつなぎ方について慎重に仕切り直しをして、明日再チャレンジをする。

大熊線2Lの切替は予定通り完了した。

5号機5AD/Gは試運転して問題なかった。電源として復帰した。

(1F 発電)

1号機はFDW系から流量3.5m³/hで注水している。プラントパラメータは安定している。RPV底部ヘッド上部温度は101℃である。

2号機はFDW系から流量3.5m³/hで注水している。停電後に若干温度が上昇し、RPV底部ヘッド上部温度は123℃である。

3号機は、FDW系から流量9.0m³/hで注水している。RPV底部ヘッド上部温度は130℃で安定している。

5号機の5AD/Gについて100%負荷までT/Rを実施し問題ないことを確認した。

(1F 復旧班)

2号機立て坑から集中R/Wプロセス建屋への移送を一旦停止し、17:07に再

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

起動した。3号機の移送については17時からポンプ2台運転にした。

1号機は水位変化はない。2号機T/Bは17mm上昇、トレンチは23mm上昇、3号機T/Bは1mm減少、トレンチは1mm減少、4号機T/Bは12mm減少した。

3号機SFPへ15時～17:18にホウ酸水注入を実施した。

循環冷却装置については、17:55にポンプ吐き出し側で漏洩があったため停止している。

明日は2号機で20時からN₂封入を開始する予定。

1, 2号機M/Cから5, 6号機M/Cへの増強工事は無事に終了した。

明日は5BD/Gの起動試験を実施する。

5, 6号機オペフロの結露対策については順調である。

(1F 土木) 無人化施工によるガラ撤去関係は共用プール前を実施した。明日はT/B海側を実施する。飛散防止剤散布は中止で、明日は天候を見ながら実施する。タンクの設置、防潮堤の設置、カーテンウォール撤去工事を引き続き実施する。

(1F 建築) 飛散防止剤散布は5, 6号機R/B西側ヤードで実施し、本日で予定されていたものすべて完了した。luカバーリング工事は、明日750tクローラークレーンの移動を実施する。

(1F 滞留水処理チーム) 本日、H1～4のセシウム吸着塔のベッセル4体について水処理を止めずに交換を実施した。明日もセシウム吸着塔4体について交換する。

(1F 滞留水処理チーム) 2号機及び3号機からのプロセス建屋への移送については、合計ポンプ4台で移送を実施している。現在、流量計50m/hで処理しているが、この状態でもプロセス建屋水位が4～5mm上昇している。明日の状況をみて3号機の移送ポンプを2台から1台にすることを本店と相談して決めて生きたい。

(本店復旧班) (資料で説明) 循環冷却装置が漏えいした場所についてははっきりと確認していないが、移送ポンプ下流側の流量調整弁近傍の接続部が外れたという情報である。

(1F 吉田) (資料で説明) バルブと配管取合いのフランジから先のところにカナフレックスの継ぎ手があり、そこから漏れている。

(本店復旧班) 明日説明する。

(武黒) 外れた原因や流量を確認して対策をしっかりとる必要がある。

(本店広報班) 本件については会見中に伝えた。流量調整を行ったところホース継ぎ手部が外れたことについて17:55作業員が発見した旨プレスした。

(本店復旧班) (資料で説明) 1号機のPCV圧力が大きく下がってきた原因につ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

いて。5月下旬に大雨が降ったときに PCV 圧力が大きく下がった。窒素封入を停止した際も PCV 圧力が下がった。つまり、前述した除熱を促進するような活動、雨、炉心注水量を増やす、崩壊熱が減衰した際に、PCV 圧力を下げる要因と考えている。

崩壊熱については、減ってきているが短期間に下がる要因ではない。PCV 圧力と降雨量の関係について検討したところ、だいたい関係があるものと考えられる。

今後、降雨があった場合は除熱され、D/W と大気の差圧が小さくなるので静定に向かうが、ただしインリークがあるので負圧にならない上、N₂ を封入していることから水素爆発の件も問題にはならない。今後雨天時には、降雨の影響を考えて窒素封入停止や炉注水量の操作を行う。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<6/28(火)の時系列メモ> (情報班 ■■■)

～全体会議～

9:00 (1F 吉田所長) 天候は雨で降ったり止んだりが続いている状況である。明日は雨が上がる予想である。温度 28℃と高く及び湿度が高いので熱中症対策に力を入れていく。プラント状況としては昨日残念ながらリークのありました循環注水冷却運転ですが、昨日当該部を見まして、元々工場で作ってきたホースをかしめるジョイント部分から外れてしまったので、かしめ力が不足していたのではないかと考えている。最初の運転のとき、エアーが混入しており圧力変動があったのではないかと原因を考えている。本日当該部分の取替等々をやって循環注水に移行していく。詳細は■■■の方から説明します。

本店側にお願ひがある。現状の設備は運転が非常に難しい。設備と運用方法がうまく整合していない。また、バッファタンクができていないという状況での運転なので無理がある。今十分に淡水が溜まっているので、ろ過水位側を止めて処理水だけを注水するというシンプルな運用にする。現状の設備では処理水とろ過水の流量バランスを取りながらの流量調整はできないシステムである。

昨日 D/G-5A の試運転を実施した。本日は D/G-5B の試運転を実施する予定である。

水処理は本日 10 時～11 時 30 分にシステムを停止してフラッシングを実施する予定。

滞留水移送は 2,3 号機からプロセス建屋に移送継続中である。

(1F 発電班) 1～3 号機のパラメータは安定しております。炉注水の状況ですが、1 号機は FDW 系で 3.5m³/h 注水し、RPV 底部ヘッド上部温度で 101℃、SRV 排気側温度で 112℃です。2 号機も FDW 系で 3.5m³/h 注水し、RPV 底部ヘッド上部温度は 121℃で安定しています。3 号機は 9.0m³/h で注水し RPV 底部ヘッド上部温度は 130℃で安定しております。

5,6 号機は、D/G-5A は昨日 T/R を実施し、本日 D/G-5B を T/R を予定しております。

(1F 復旧班) 1～4 号機ですが、2 号機立坑、3 号機 T/B からプロセス建屋への移送は継続実施中です。各建屋水位ですが、1 号機は変化なし、2 号機 T/B は 13mm 低下、立坑は 17mm 低下しております。3 号機 T/B は 40mm 低下、立坑は 13mm 低下し、OP3820 (最高位) です。4 号機 T/B は 6mm 低下しております。今日の作業ですが 4 号機では DSP への水張りを 9:30 から予定しております。処理水の炉注水ライン復旧を実施する予定です。(炉注水ライン復旧について書画で説明) ラインはシリーズに吐出弁、電動弁、流量調整弁があり、吐出弁と電動弁の間にあるホース継ぎ手部が外れ水漏れに至った。継ぎ手部はコネクタで接続されており、また養生されておりよく見えない。推定原因は移送ライン内

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

にエアーが溜まっていて、流量調整弁での調整の際、エアーによる圧力変動が生じ、ホース接続部のカシメ不足もあり、その衝撃でホースが外れたものと考えられる。漏れた水の線量を測ってみたところ、BG と同等のレベルで有意となる汚染はなかった。対策としては、今後操作に際しては、上流側の圧力変動を気にしながら流量調整を慎重に行う必要があります。

(1F吉田)7/4 にバッファタンクを設置して、そこから直接注水するのが本来の設計であるが、現状は複雑である。バッファタンクができるまで処理水 16m³/h を直接注水するよう運用した方がいいと本店側と相談したい。

(本店 原子力復旧班)非常に運転しにくい設備で申し訳ない。全量を処理水で炉注水することも一つの考え方であると考えます。現状の運用は、仮に処理水側の水が止まった場合でもろ過水側から注水できるすぐにバックアップでき、最低限の水を流して逆流を防止できるようにしております。全量を処理水から注水するとなると、もし注水できなくなった場合に高台の注水ポンプにキャビテーションを起こすとか壊れる可能性があるので監視を強めることが必要となります。サイト側負担は大きくなりますが細かく流量を監視していく必要があります。そのあたり調整させていただきたい。

(武黒フェロー)インサービスまでに運用については十分に検討し、決定してから運転に移行してください。

(1F復旧班)5号機6号機の状況です。5号機については、5(B)DGの確認試験を本日行います。また、6号機の T/B 滞留水ですが、本日も浄化運転を実施します。メガフロートへの移送は6/30開始を目標に準備。

(1F 土木)飛散防止は濾過水タンク周辺で行う、ガラ撤去関係は1号 T/B 海側ヤードを実施、カーテンウォール撤去は1, 4号を行い、5, 6は本日行いません。引き続き防潮堤の設置を継続。

(1F 建築)1u カバーリング工事は走行路整備、及び大型クレーンの移動を実施する。1号、3号周辺のガラ撤去継続。4号機プールした補強については、2回目のコンクリート打設を予定。

(1F滞留水処理チーム)今朝方から定常運転を行っていますが、10時から一旦停止して、バルブの系統構成を切り替えて11:30にインサービスに戻す予定。切り替えるのは H スキットの取り替えのためですが、スキットの取り替え自体は11:30以降に淡々と進めていきます。

(水移送チーム)昨日17時から、2号 T/B 立坑、3号 T/B 地下から、それぞれポンプ2台でプロセス建屋へ移送している。水処理は 50m³/h の定格で運転していますが、この状態で、3.2mm/h のプロセス建屋の上昇が認められています。よって、プロセス建屋への移送は約 62m³/h で移送しているものと推定しています。この状況で水処理が止まると、プロセス建屋の水位が 16mm/h で上昇することが

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

想定されるので、10時で水処理が止まった際には、3号機のポンプ2台の停止操作をします。2号は継続。また、3号立坑とT/B地下の水位差が現状75mmありますが、これは3号機T/B地下から2台運転で移送した結果と思われるので、ポンプ停止後の水位変動を見ながら、今後の移送について本店と検討していきたい。

(本店武黒)水処理、T/B 建屋からの水移送、炉注水と複雑に連携しているので、相互間でよく連絡を密にして対応してください。

(本店保安班)本日予定している2号機への窒素封入に関する環境モニタリングについて報告。実施に関しては保安院に計画書を提出しているが、現在、細部の確認と上申の準備をしていると聞いているが、その結果をいただいた後に実施。今回は約3~4トンの炉心への水の注入によって、1時間に2000m³の蒸気が発生しているという環境の中に、1時間に13m³の窒素を入れるということで、環境森田リングとしては状態に大きな変化を与えるものではない状況と理解。念のため、ダストサンプリングを実施します。封入当初はこまめにモニターで対応をお願いしております。その後、プラントが安定する2週間程度、風下報告で1日1回実施する予定。

(本店広報班)循環冷却停止の件、昨日夜の本店会見で報告しています。本日11時、18時の会見にて、原因と復旧状況について説明します。

(OFC 田島)昨日17:55に循環冷却が停止した件、何時にどういやり方で本店とOFCに連絡いただきましたでしょうか。教えてください。

(1F吉田)このTV会議にて、その直後に全員にコールしています。

(OFC)本店は何時ですがそれを知ったのは、保安院に向けた異常事態連絡様式がありますが、その発信時刻は18:54。大体1時間後ですが、これが最初ですか。

(1F吉田)通報連絡という意味では、その内容を確認した後それを出している。ただし、情報としては、この会議体でちゃんと発生時刻直後に共有している。別の話。けじめをつけて議論しないと。

(本店)TV会議で共有したのは17:58。

(OFC)17:58ですか。3分後ということですが、OFCは。

(1F吉田)OFCも通じてますから、聞いてらっしゃれば受信されているはずですよ。

(OFC)わかりました。

(本店武黒)本日は雨模様ですが、循環冷却装置の復旧等多くの作業があります。安全第一にお願いします。

~全体会議終了~

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

～全体会議～

19:00

(1F 吉田所長) 天候は午前中に雨から曇り、晴れという状況です。今、雨は降っておりません。明日も天候は良さそうで気温が上がりそうなので熱中症に引き続き気をつけてまいります。プラントの特記事項ですが、循環注水につきましては 15:55 再スタートして処理水から 14m³/h、ろ過水から 2m³/h を注水しております。現場確認したところ、移送ポンプ出口フランジ部に滲みがあることを確認しましたので現在養生をしております。予備品があるので修理対応は可能な状況です。5号機 5B-D/G は試運転が終了し待機状態となっております。

(1F 発電班) 炉注水の状況ですが、1号機は FDW 系で 3.5m³/h 注水し、RPV 底部ヘッド上部温度で 101℃、SRV 排気側温度で 112℃です。2号機も FDW 系で 3.5m³/h 注水し、RPV 底部ヘッド上部温度は 122℃で安定しています。3号機は 9.0m³/h で注水し RPV 底部ヘッド上部温度は 129.7℃で安定しております。

5,6号機は、原子炉、SFP の冷却を行っておりパラメータは安定しております。

(1F 復旧班) 1～4号機ですが、2号機立坑からプロセス建屋への移送は継続実施中です。3号機 T/B からプロセス建屋への移送は本日 9:58 に停止しております。明日の昼から再び移送を計画しております。各建屋水位(朝7時から変化量)ですが、1号機は変化なし、2号機 T/B は 7mm 低下、立坑は 10mm 低下しております。3号機 T/B は 21mm 上昇、立坑は 4mm 低下しております。4号機 T/B は 6mm 低下しております。プロセス建屋は 11mm 低下となっております。2号機 N₂ 封入を本日 20 時から開始する予定です。3号機 SFP への注水は 14 時から 30 分で計画しております。4号機 SFP 代替冷却システム工事では R/B5F への足場の設置を明日午前中に終わらせまして、午後から 5F に入って線量測定からの状況確認を実施します。「みずは」による SFP 注水を計画しております。ポリエチレン管のリークチェックをかねて満水まで実施する予定です。共通で滞留水処理設備、RO の処理水のバッファタンクの水張り・リークチェックを実施予定です。

5,6号機ですが、5B-D/G が本日インサービスとなっております。また、6号機の滞留水ですが浄化運転を継続しております。本日滞留水関係でタンクのマノメータが外れて水漏れが発生しております。詳細を説明します。(書面で説明) マノメータをガムテープにより固縛していたが、ガムテープの粘着力低下によりガムテープが剥がれマノメータが外れてしまった。本日 12 時頃当社社員が発見して、マノメータの止め弁を閉止して水漏れを止めました。漏れた水は BG と同等で汚染は認められなかった。他のマノメータも含めインシュロックで固縛した。5号機 RHR 系全停について連絡します。5号機 RHR A 系の補機の電源の切り替えに伴い、RHR ポンプを一時停止するという連絡です。日時は 6/30 10 時～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

12時の2時間を予定しております。内容は仮設R/B MCC 5Dから今RHR A系を運転しておりますが、B系電源からA系の補機に電源を供給している状況にあります。それを7/6にB系RHR試運転に合わせてB系本設ケーブルに切り替えるので、A系の電源を停止してA系の方に切り替える作業を実施します。R/B MCC 5Cについては絶縁抵抗が落ちているので、別の電源から供給してA系を運転できる状況にもって行きます。RHR停止に伴う炉水温度の上昇ですが変化率としては1.8°C/hとなっております。26日現在で39.7°Cですので2時間経過しても43°C程度で非熱としては問題ないものと評価しております。

(1F土木)飛散防止について土木分は本日で終了いたしました。明日は片付けです。ガラ撤去関係は1号T/B海側ヤードを引き続き実施いたします。カーテンウォール撤去は5,6号機の方を撤去いたします。

(1F建築)1uカバーリング工事はクローラクレーンの移動が完了しました。ガラ撤去は1,3,4号機で継続して実施しております。4号機プールした補強については、8分割で打設するコンクリートを本日2分割まで打設を完了しております。

(1F滞留水移送チーム)明日水処理装置のフラッシング終了後3号から移送を開始します。3号機T/B水位、プロセス建屋の水位を見ながらポンプの運転台数を決定していきたいと思っております。

(1F水処理チーム)本日もセシウム吸着塔を4塔交換しました。明日も4塔交換する予定です。本日はフラッシング後線量低下後系統だけ切り替えてシステムを運転させるというやり方で実施しました。明日は停止をかけないといけないので、1時間のフラッシングのあと+αの停止を予定しております。停止期間を短くする工夫を少しずつ経験を積みながら実施していきたい。

(1F保安班)海水の分析で若干の変動が見られましたので報告いたします。まず3号機バースクリーン前面のシルトフェンス内側のセシウムが若干上昇している。ヨウ素については横ばい。4号機バースクリーンのシルトフェンス内側でもセシウムが若干増加し、ヨウ素は変化なしという状況です。現場の作業状況ですが、特に変わったことはないということで、雨水の影響も考えられるので、明日の定例分析で注視していきたいと考えております。

(本店復旧班)2号機への窒素封入の件について。本日17時に保安院より報告書妥当との評価受領。追加指示なし。よって予定通り本日20時より開始する予定。封入量は13ノルマル m³/hで純度は99%以上のものが供給されます。発生装置から、仮設ライン、本設ライン、FCS系ラインから格納容器へ入れる。封入装置は旧事務本館前にある。2重事故への体制については、本店では[]班長、封入チーム、安全評価チーム、環境影響評価チーム。サイトでは[]のもとに各G、本店からの支援メンバーを加えた体制。監視については、監視項目は、格納容器の圧力、タービン建屋滞留水の水位、立坑滞留水の水

(非管理メモ)

本資料は、本部門卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

位、窒素濃度、封入量、封入圧力を継続監視。1時間までは10分毎、2時間から5時間の間は1時間毎。5時間経過後は問題なければ通常の監視に戻す。環境モニタリングは、10分毎の採取。ダストサンプリングは構内道路上で1時間、3時間、5時間で予定。停止の判断については、格納容器の急激な圧力変化、環境モニタリングの有意な変動、タービン漏洩水の増加が継続し排出できないなどの場合は封入停止します。

(本店武黒)モニタリング結果というのは、通常のモニタリングポストを指しているのか、それとも今回やるモニタリングを指しているのか。

(本店復旧班)基本的にモニタリングポストを考えている。

(本店武黒)数値的な目安ははっきりしているのか。

(本店復旧班)一応2マイクロ程度を考えているが、状況をみて判断する。

(本店武黒)予め数値を決めておくことは確実な運営になると思うので、その点は発電所とよく協議してください。

(1F吉田)特に停止の判断は、私なのか本店なのか。

(本店復旧班)本店でやる予定です。

(OFC田島)窒素封入はいつ終了するのでしょうか。

(本店復旧班)窒素は封入したらそのまま継続します。

(OFC田島)20時から入れてすぐ作業は終わるということでしょうか。

(本店復旧班)バルブ一つひねる作業なのですぐ終わります。

(本店武黒)本日は原子力事故の対策の担当大臣になった細野大臣、福山官房副長官、園田政務官がお見えになっているので一言いただきます。

(細野大臣)昨日総理から指名を受けました。大臣には就任しましたが、これまでの政府の体制は基本的に維持するつもりです。つまり、海江田大臣が全体の統括をし、私が実務的な役割を担います。但し、大臣になると時間的制約もあるので、福山官房副長官、園田政務官にサポートいただくこととなった。

(福山官房副長官)100日余り、作業にあたっている皆様、緊張感の中作業されたと思います。そのご労苦には心から敬意を表しますが、まだまだ長い戦いが続くと思いますので、国民に安心してもらえよう、ご奮闘をお願いしたい。しっかりと海江田大臣を支えて参ります。

(園田政務官)事故以来、ご尽力いただき、心から感謝いたします。本日から細野大臣を支え、皆様と一緒に収束に向けて進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(本店武黒)ありがとうございます。頂戴したお言葉、我々も胸に刻んでまいります。本日は東京電力も株主総会があった交代があったのでこの機会に挨拶をさせていただきます。

(西沢社長)本日正式に社長に就任しました。今後とも事故の収束に向けて

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

全力を傾けていきたいと思えます。私も全体会議では細野大臣のカウンターパートとしてしっかり頑張りたいと思えます。なお、後任の事務局は内藤常務にやっていただくことになりました。

(相澤本部長)1Fのみなさん、ここにいる全員のがんばりの成果を確実にするよう、お国と一体となって頑張つてまいります。よろしくお願ひします。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<6/29(水)の時系列メモ> (情報班 ■■■)

～全体会議～

9:00

(1F 所長) 天候、くもり。30度。今日も熱中症対策をする。昨晚より、2号でN₂注入を実施しているが、パラメーター異常なし。想定範囲内で原子炉内温度上昇。循環注水ラインのポンプの吐出側ホースフランジに2ヶ所ピンホールあり。本日、午前中、交換予定。現場で品質が良くないと感じる。循環ラインのチューブは再度、見直す必要あり。本店さんと共に見直したい。よろしく。

(1F 発電班) 1号 RPV 底部ヘッド上部温度は101度。SRV 排気温度は111度で安定。2号 RPV 底部ヘッド上部温度は123度。SFP温度は33度。N₂封入を昨日21時頃から開始しており、D/W圧力が想定内で上昇中。3号 RPV 底部ヘッド上部温度は130.1度。5号燃料プールは24.6度、原子炉水温度は39.6程度であり、5、6号共に冷温停止中。

(1F 復旧班) 滞留水移送は、2号で継続中。3号で昨日9:58移送を停止したが、本日再開。水位は1号変化なし。2号 T/B で13mm 減少。2号トレンチで11減少。3号 T/B で17mm 上昇。3号トレンチも15mm 上昇。4号 T/B で8mm 上昇。3号トレンチで OP3831mm。プロセス建屋水位92mm 減少。

3号プールに FPC で 14 時から 30 トン注水予定。4号はみずはで注入するが、PE 管でリークチェックしたついでに満水まで。4号は5階まで足場を敷設し、午後入域予定。滞留水循環ラインバッファタンクの水張り・リークチェックとにじみ箇所の修理を実施。6号地下浄化運転継続中。6月30日のメガフロート移送に向かって準備完了。

(1F 土木) 1号 T/B 海側のガラ撤去。56号のカーテンウォール撤去。

(1F 建築) カバーリング工事のクレーン移動完了。今日、重油タンク移動。1、3号のガラ撤去継続。4号機SFP補強 3/8 段目の対応。

(1F 水処理) 定例の10時からフラッシング(1 時間)後、交換。10から14時停止。

(本店武黒) 7月4日以降、バッファタンクができて楽になるが、2重化も含めて検討しておくように。安定化センターができるので、対応をよろしく。

(本店復旧班) 2号の N₂封入ですが、昨日、20:06から開始。データ採取の頻度は5時間までは高めて、それ以降は通常頻度に。格納容器の圧力100kPaを超えたら停止。滞留水は水位が上昇傾向になれば、30mm。

2号機は1号に比べてサチッている。2号機も同じように圧力が寝てきている。

滞留水はプロセス建屋に移送中なので、低下中。N₂は濃度 99.9%一定で13m³。

(環境影響評価 T) MP は 2μ Sv/h を上限に管理していたが、それ以下で一定に推移。5号機の南側で21、23、1時でダストサンプリングを実施。最初高めだったが、これまでトレンドの範囲内。ヨウ素も検出限界値の範囲内。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(本店復旧班)D/W 圧力変化の要因ですが、 N_2 は非凝縮性ガスであるため、蒸気凝縮が減り、壁への熱伝達等が減ったことによると考えられる。今後も監視。

(影響)MP の監視は夜の変動 $2 \mu Sv$ で監視したが、変動がなかったため、今後は通常のトレンド監視へ以降。

(本店武黒)RW 水位の差し引き分で考えているのか。

(本店復旧班)T/B からの移送分で考えている。

(本店滞留水 T)6 号からメガフロートへの水移送は関係箇所の了解済み。予定通り、明日、6 号からメガフロートへ移送。午後予定。関係各所へ連絡する。

(本店広報班)本日の報道の状況。株主総会、循環ライン、N 封入であった。9 時から福島事務所でピンホールを説明済み。本店側もまもなく伝える。

(小森常務)安定化センターですが、7 月 1 日にメンバー、6 月 28 日に幹部が現地入り。移行期間中も安定化に向けた仕事は滞りなくやっていきたい。

(本店武黒)熱中症大切。ご安全に。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(1F 吉田)晴れで $30^\circ C$ 越す猛暑であった。

色々なトラブルが多数発生した。草刈中に鎌で自分の足を切ってしまった災害や、マスクにフィルターを付けられない状態で免震棟から出てしまった。また、塩水タンクにキャップを付け忘れてしまい漏えいしてしまった。また、水処理運転中にタンクのレベル確認をしたことにより、水がオーバーフローした。全般的に注意力が抜けていると感じている。危険な現場であることを認識して行動をしっかりとるように周知徹底した。

また、本日4号機オペフロに初めて入域した。

(1F 発電班)1号は流量 $3.5 m^3/h$ で炉注水をしており、 $3.0 m^3/h$ まで一時的に低下したため 14 時及び 18 時に流量調整した。RPV 底部ヘッド上部温度は 17 時で $102^\circ C$ である。2号機は流量 $3.3 m^3/h$ で炉注水をしており、RPV 底部ヘッド上部温度は $130^\circ C$ である。昨日 20 時に D/W N_2 封入しているが、D/W 圧力が 10.6 KPa から 18 時で 27.5 KPa に上昇した。継続監視していく。3号は流量 $9 m^3/h$ で炉注水をしており、RPV 底部ヘッド上部温度は $130.5^\circ C$ である。

5、6号は共に冷温停止中。

(1F 復旧班)滞留水移送は、2号で継続中。3号で処理設備を起動すれば移送を開始する。水位は1号変化なし。2号 T/B で 14mm 減少。2号トレンチで 14mm 減少。3号 T/B で 10mm 上昇。3号トレンチも 10mm 上昇。4号 T/B で 6mm 上昇。3号トレンチで OP3841mm。

3号プールに FPC で約 30 トン注水した。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

4号はリークチェックをかねて SFP 代替で注水した。

3号機 SFP の代替冷却装置の工事があり、午前中に1次系の水張をして午後 T/R をして問題なければインサービスを実施する。

4号機 SFP 代替については、据付準備を実施する。

みずはによる SFP 注入をバックアップラインの運転確認をするため実施する。

RO 処理の水張及び L/T を実施する。

5号機 RHR 補機電源盤の切替工事を実施するため、明日10時から12時に RHR を停止する。

6号機 T/B 滞留水について関係各所の了解を得たので、メガフロートへ移送を明日13時開始する。

6号機の滞留水貯蔵タンクの浄化運転は継続。

(1F 土木)明日はガラ撤去について実施しない。また、明日56号のカーテンウォール撤去を実施する。草刈中自分の足を鎌で切ってしまった。また、免震棟をフィルターなしで出ってしまった。

T/B 滞留水の循環ラインの塩分貯槽タンクから漏水があった。

(1F 建築)1号機カバーリング工事のため、11:30に重油タンク移動を完了した。

3号のガラ撤去継続。4号機SFP補強についてはコンクリート打設を実施する予定。HTI 建屋の1階のコア抜きを実施する。飛散防止剤散布の片付け中に足をワイヤで擦ってしまった災害があった。

(1F 滞留水処理チーム)午前中に交換を行い再起動したところ、一旦水の漏えいを起こしていたので停止をしていた。先ほど再起動をかけたところであるが、電源の異常で手動停止をかけた。詳細については別途連絡する。停止時間は18:59頃だったと思う。

(1F 滞留水移送チーム)3号機からの移送については、滞留水処理が安定してから再開したいと思う。夜中になった場合は明日朝にしたい。

(1F 保安班)シルトフェンス周辺のセシウムが上昇したことについて、本日も測定したところ3号機は横ばい、4号機は低下傾向であるので、何かが漏れているのではなく、雨水の影響だと思われる。継続監視する。

(武黒)タンクのレベル確認は作業管理上の問題であるので、安定化センターの関わりを含めて検討する必要がある。

(本店復旧班)3点報告する。1点目は4号機のオペレーティングフロアの状況について。2点目は2号機 N₂ 封入の監視強化を解いたあとに、MP7 で2 μ Sv/h を超える変動が出たことについて。3点目は2号機原子炉建屋の水位について以前ロボットで実施したがうまくいかず、再度トライする件について。

(本店復旧班)4号機 SFP 循環冷却システムについて資料で説明。4号機のSFP循環冷却を構築するにあたって、新しい配管を敷設する際にサイフォン効果

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

でプール水が逆流する恐れがあるので、5階にある逆止弁を閉める必要がある。

(1F復旧班)南側エリアに入域した。最大線量は燃交台車で0.6mSv/hであった。プールの表面は3.7mSv/h、表面から50cm離れたところで1.3mSv/hであり、それほど高い線量ではなかった。

当該逆止弁はプールのチェッカープレートの中にあるため、確認したところ、特殊な弁でありジグが必要であったため開閉操作は出来なかった。

もう一方の逆止弁についてもガラが堆積しており状態の確認ができなかった。

プールからは湯気が出ていたが熱いという感じではなかった。足下が悪いので注意する必要がある。

(武黒)水の色が濃い色であるがなぜか？

(1F復旧班)なぜかは不明だが、バスクリンがかかったような色であった。

(1F吉田)飛散防止剤はかけたか？

(1F建築班)飛散防止剤は緑色ではない。白色である。

(本店復旧班環境影響評価チーム)MP7は2号機の南西にあるが、風向きは南南東または南であったため、風上側にはなかった。そのため、N₂封入で何かが出てきたものではないと考えられる。5時間の対応後、MPに変化なし。MP7,8は変動が大きい。

(武黒)明日でもいいので、全体のトレンドを用意すること。

(1F吉田)分かっているのであれば、事前に言うべきである。後だしの話になるので事前に説明しておくべき。

(本店復旧班)2号機の原子炉建屋の滞留水について水位計をロボットを使って実施しようとしたが、テストのときはテスト用の古いセンサーを使ってやっていたが、本番では新しい水位計センサーにしたため、ケーブルにワックスを塗っていたようで滑ってしまいうまく投入できなかった。明日5号機でテストをして、明後日午前中に2号機に投入したい。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<6/30(木)の時系列メモ [REDACTED]>

～全体会議～

9:00 (1F 所長) 天候は晴れ。本日気温が30℃を超えるので熱中症対策に力を入れたい。

滞留水の処理は昨日夜9時過ぎから連続運転をしている。定格50t/h に対して40t/h になっている。現在処理は継続している。

循環注水はホース取替え後、継続して行われている。

特記事項として3号機のSFP代替冷却について午前中水張 L/T、午後T/Rを実施する予定。

メガフロートへの移送については午後に実施する予定。

NHKのニュースを見ると3、4号機SFPの代替冷却が困難だと報道があったが、どのような説明でそうなったか全く理解できないが、広報は訂正をお願いしたい。

(1F 発電班)

1号は流量 3.7m³/h で炉注水をしており、RPV 底部ヘッド上部温度は102℃である。2号機は流量 3.5 m³/h で炉注水をしている。一時的に 3.8 m³/h まで上昇したので朝9時に調整した。RPV 底部ヘッド上部温度は129℃である。D/W へ N₂ 封入しているが、D/W 圧力が10.6KPa から19KPa 程度上昇し29KPa で安定して推移している。3号は流量 9 m³/h で炉注水しており、RPV 底部ヘッド上部温度は130.5℃である。

5、6号共に冷温停止中。

(1F 復旧班) 滞留水移送は、2号縦坑からプロセス建屋で継続中。3号でT/B からプロセス建屋への移送を8:56に再開した。水位は1号変化なし。2号 T/B で20mm 弱減少。3号 T/B で11mm 上昇。4号 T/B で7mm 上昇。プロセス建屋水位は50mm 減少。

3号機SFP代替冷却で午前中水張、午後T/Rで問題なければインサースする予定。

4号機みずはによる SFP 注水を実施する予定。

共通でRO処理水についてバッファータンクの水張を明日まで実施する予定。

5、6号機メガフロートへの移送を実施する予定。

(1F 土木) ガラ撤去は本日実施しない。5、6号機カーテンウォール撤去は継続で実施する。RO濃縮水の閉止フランジについて、昨日23時過ぎに閉止を行った。今後は点検を行い、必要な箇所についてシール強化を行う。

(1F 建築) 4号機カバーリング準備を実施する。4号機 SFP の下部補強は継続で実施する。HTI建屋南側のコア抜きを実施する。

(1F 滞留水処理チーム) 昨日は水処理システムが起動して止まった事象が2回

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

あった。

1回目は起動したあとに処理水タンクのところで漏えい警報があったため一旦停止した。18:30過ぎ再度起動したが～～となり停止した。21:15から再起動して現在運転中である。

1回目は凝集沈殿装置があるが、系統流量が出なかったため、後ろ設備に異物がないか観察していたが、水位が一気に上昇した。流れの悪い理由は計画的に調査をする。

2回目は凝集沈殿装置のプログラムが改良されていて、一部の弁が自動で切り替わるようになっているが、作業の関係で手動にしていた。手動の弁を起動の前に自動に戻していなかったことから、自動モードの状況が不成立で受けタンクのポンプが起動しなかったためオーバーフローした。漏えいにはならなかったが、手動で停止をかけた。事前の検討をどうしていくか改善をかけていく。

本日の予定はセシウム吸着塔4塔を予定通り交換する。フラッシングをして交換する。作業時間は約2時間程度。

また、再循環に使っている淡水化装置の過程で出てくる濃い塩水を保管するタンクが満タンのため、一旦淡水化装置を止める。貯蔵タンクには水がたまっているため原子炉への注水は継続する。

(1F滞留水移送チーム)8:56、3号機T/Bからプロセス建屋への移送について、ポンプ1台運転を開始した。現在、2号機2台、3号機1台で移送している。プロセス建屋の水位上昇が多い場合は、2号機の移送ポンプを2台から1台にするよう計画している。3号機は1台継続を考えている。

(1F)メガフロートへの移送について関係各所への調整ありがとうございます。また、明日5、6号機S/Bで緊急時の医療設備が開設する。多大な協力に感謝する。また、事故調査委員会の先生が見えるとのこと。

(1F滞留水処理チーム)9時、淡水化装置の停止に入った。

(武黒)水処理設備の流量がでない設備的な問題や、運転管理体制の問題の2つがある。本店のバックアップチームも含めて深掘りをする必要がある。

(本店復旧班)3号機SFP代替冷却が運転する。スキマーサージタンクから水をひいて冷却する。仮設で設置したのは図中の赤と青の箇所である(資料で説明)。午前中水張を実施し、午後耐圧漏えい試験を実施し、16時からT/R及びインサービスする予定。

4号機のSFP代替冷却も検討しているが、SFPのサイフォンを防止しなければならない。昨日、弁の状況を確認したが、1弁は閉できるが、1弁はがれきがあった。7月中には出来そうである。

(本店復旧班)2号機N₂封入におけるMP7の反応について。窒素封入を開始してから安定しているが、MP7が2μSv/hの変動があった。南から風が吹いてい

(非管理メモ)

本資料は、本部門卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

るので建屋は風上側にあることから、窒素封入による影響ではないと考えられる。風下側でダストを測定しているが、これまでと同じ数値がでている。特にN₂封入の影響はみられない。

(本店復旧班)N₂封入によるPCV圧力変化について、30日0時にさちった。1.3日かけて20KPa上昇した。要因は窒素の凝縮阻害効果や漏えい量が思ったよりも小さかったものと考えている。1号機の実績はさちるまで3.5日かかり40KPa上昇した。そのため2号機は1号機よりも速くさちった。漏えい量に関しては、今後要因を詰めていく。

(武黒)漏えい量については概算値で結構なので報告すること。

(本店広報班)3,4号機のNHK報道だが、3号機は本日から試運転、4号機は目処が立たないという報道になっている。4号機については配管の調査を行ったと説明しているが、NHKだけは目処が立たないと捕らえているようである。新聞は前進という捕らえ方であり、NHKだけが後ろ向きな報道になっている。

水処理については各紙取り上げられているが、1部防波堤でテルルが見つかったと報道している。記事の内容そのものは説明のとおりであるが、見出しは刺激的に記載されている。本日の午前はメガフロートについて、午後は250mSv/h超えについて公表する。

(OFCタジマ)ダストのグラフについて、今出ている量を示しているのか？こちらで教えてもらっているのは、下から舞い上がっているものと聞いているんだが？

(本店復旧班)仰るとおり、データには巻き上がっているダストが多く含まれている。プラントから出ているダストについては現在評価中である。

(本店復旧班)福島第二の敷地境界データも監視しているが、1Fの測定結果と比べ差はあまり変わっていない状況なので、この値が原子力プラントから放出されている放射性物質とは考えていない。過去において放出された放射性物質が堆積されている影響と思われる。ただ、プラントから出ているのは0ではないと考えているので、これから見積もる予定である。

(武黒)評価結果については逐一報告すること。

(OFCタジマ)こちらで聞いているのは、3月18日からの3ヶ月間でセシウムが半分になっているとのこと。事故前の西門の数値と比べると1万倍から10万倍となっている。巻き上がっているものを図っていると思っているが、新たにプラントから出てきているのは全くわからないということでもいいのか？

(本店復旧班)概算としては掴んでいるが、各号機からの放出量については幅が広いので、それを縮める努力をしている。そのため、公表するには時間を頂きたい。

(細野)今の数字は大事な数値であるので、政府としてもどれくらい出ているのか正確に推定して国民に出来るだけ早く公表する。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(民主党アライサトシ)作業に従事している皆様ご苦労さまです。今の作業は歴史に残る作業である。疲労のピークに達しつつあるだろうが、日本のため作業をしっかりとって欲しい。民主党のプロジェクトチームでは補償スキームを検討しており、その法案が今月議論されると期待しているが、遅れ気味である。その補償スキームが軌道にのれば、第二次補正予算として数兆円計上される。政府が積極的にバックアップするようにしているので、作業をしっかりと今後も進めて欲しい。

(細野)医師の派遣等含め政府はあらゆる協力を惜しまない。もし課題や問題が明らかになった場合は速やかに報告してもらい、一緒に努力するようにしたい。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(1F 吉田所長)天候は晴れ、暑い一日でした。本日は熱中症の方が2名出まして、病院に搬送するほどではありませんでした。医務室で点滴治療で回復されました。少しでも体調が悪かったら戻るように言っており、重症になる前に手当てできている状況です。プラント状況ですが、朝の特記事項でも伝えましたがメガフロートへの移送を実施しました。移送用のホースに若干の滲みが確認されましたので養生を実施しております。明日、ホースの交換を予定しております。3号機 SFP 代替装置を 18:33 にインサービスしております。水処理関係では、吸着塔交換後に再起動したところアレバ装置にトラブルが発生した。そのためシステムが自動停止し現在も停止中である。

滞留水移送に関しては、2,3号機とも1台のポンプでプロセス建屋に移送中です。

(1F 発電班)炉注水関係 1号機はFDW系にて3.7m³/hで注水し、パラメータは安定しております。RPV底部ヘッド上部温度は102℃で安定しております。2号機はFDW系にて3.5m³/hで注水している。3.5～3.8m³/hで緩やかに変動はみられるが安定している。RPV底部ヘッド上部温度は129℃で安定しております。N2封入によるD/W圧力は昨晚から29.6kPaから変化していません。

3号機はFDW系にて9.0m³/hで注水し、パラメータは安定しております。RPV底部ヘッド上部温度は130.5℃で安定しております。

5,6号機は冷温停止中でパラメータは安定しております。

(1F 復旧班)2号機立坑からプロセス建屋に15:59からポンプ1台で移送開始しました。3号機T/Bからプロセス建屋へは1台で移送継続しております。

6号機仮設タンクからメガフロートへの移送は19時に終了しております。またT/Bから仮設タンクへの移送も19時に終了しております。明日はメガフロートに10時から25m³/hで移送を予定しております。また、仮設タンクへの移送も10時から

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

10m³/h で予定しております。明日の作業関係ですが、循環注水ラインの水源を処理水からろ過水に切り替えて、7/4 から実施されるバッファタンクからの注水に向け、ホース布設を実施する予定です。

建屋水位関係ですが、1号機は変化なし。2号機は T/B、立坑とも 14mm 低下、3号機は T/B が 10mm 低下、立坑が 2mm 低下、4号機 T/B で 3mm 上昇しております。4号機みずはによる SFP 注水(満水まで)は完了しております。また、4号機 5階に入域し、ダスト測定を実施しました。結果は明日でと思います。

(1F 土木班)1号機 T/B 海側のガラ撤去を実施しました。5,6号機カーテンウォール撤去を実施しました。本日防潮堤の設置を完了いたしました。

(1F 建築班)1号機カバーリング工事を継続実施しました。4号機カバーリング準備工事では重機移動を実施しました。明日はクレーンの組立を実施する予定です。

(滞留水移送チーム)2号機及び3号機からプロセス建屋への滞留水移送ですが、しばらくポンプ1台での移送を続けます。

(滞留水処理チーム)(書画による説明)

本日 13:35 にセシウム吸着塔交換後のシステム再起動を実施したところ、14:30 に凝集沈殿装置の重故障 ANN 発生とともにシステムが自動停止しました。現場確認状況から処理水タンクレベル低低インターロック動作によるものと考えております。現在システムを稼働して制御状態を確認中です。レベル設定値に問題がある可能性がある。

(大循環注水のバッファタンクの説明)淡水 5000 トンタンクにため炉に注水していますが、システムの信頼性向上、冗長化を図るため、バッファタンク設置し、一旦処理水をバッファタンクに 1000 トンためてから炉に注水いたします。また、カナフレックスホースは曲がり部分から漏水する脆弱なものですので、ホースを金属製など見直しも検討いたします。

7/1 から処理水を止め、ろ過水からの注水に切り替えを行います。7/4 からはバッファタンクから炉に注水いたします。

(武黒フェロー)水処理装置については、アレバ装置を調査中で、大循環を停止し、ホースの強化、バッファタンクからの注水に向け対応する。ということでよいのか？

(1F)その通りです。

(原子力復旧班)コスモクリーナーチームから書画で説明

明日、R/B1F 南西にロボット(ウォーリア)を入れて、床清掃を行います。これは作業員の被ばく低減のため、線量の高い床の小石などを除去するものです。

(リモートコントロールチーム)5号機にてロボット(クインス:水位計設置に使うロボット)がブームが左右動かなくなった。原因は現在調査中です。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(本店保安班)4月に入城した人の線量の報告です。(書画で説明)

4月から従事した人の総数は4325名で6/25までWBCを受けた方は2242名と半数です。被ばく線量の最大値は外部被ばくが40.6mSv、内部被ばくが100mSv未満でした。外部及び内部被ばく線量を合計しても100~150mSvに該当するものが1名でした。

(環境影響評価チーム)(書画で説明)

2 μ Sv/h変動に関する補足説明で、他のMPも1 μ Sv/h程度の変動はあること、おそらく風下なったため2 μ Sv/h程度の変動がみられたものと思われる。また、2Fの測定値と比較してもあまり差がみられないので、1Fではプラントからの影響は小さくとみられる。

(1F吉田所長)地震発生しました。(19:23)

(武黒フェロー)M4.9です。

(1F吉田所長)震度3と出ました。

(1F安定化センター■■■■)(書画で説明)

原子力復旧班が7/1をもって1F安定化センターに機能移転します。今まで本館2階本部に控えていたメンバーが安定化センターに異動し、今後は総合計画Gメンバーが窓口となります。

(武黒フェロー)各所にペーパー(書画)は配られているのですか。

((1F安定化センター■■■■)これから配ります。

(武黒フェロー)引き続き作業をやられる方、安全第一に努めて頂きたいと思えます。

~全体会議終了~